

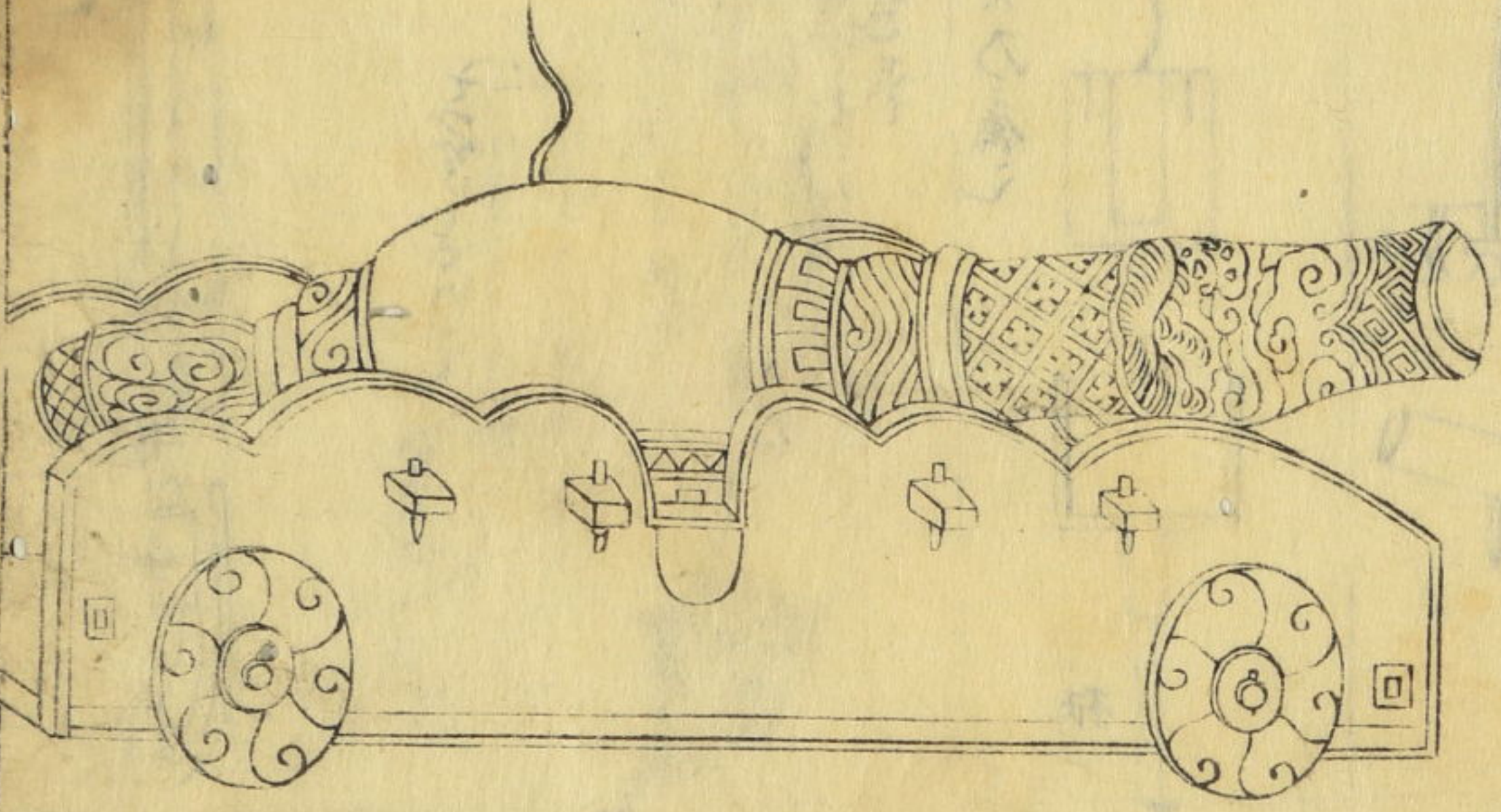
唐土訓蒙圖彙卷之九

器用之三

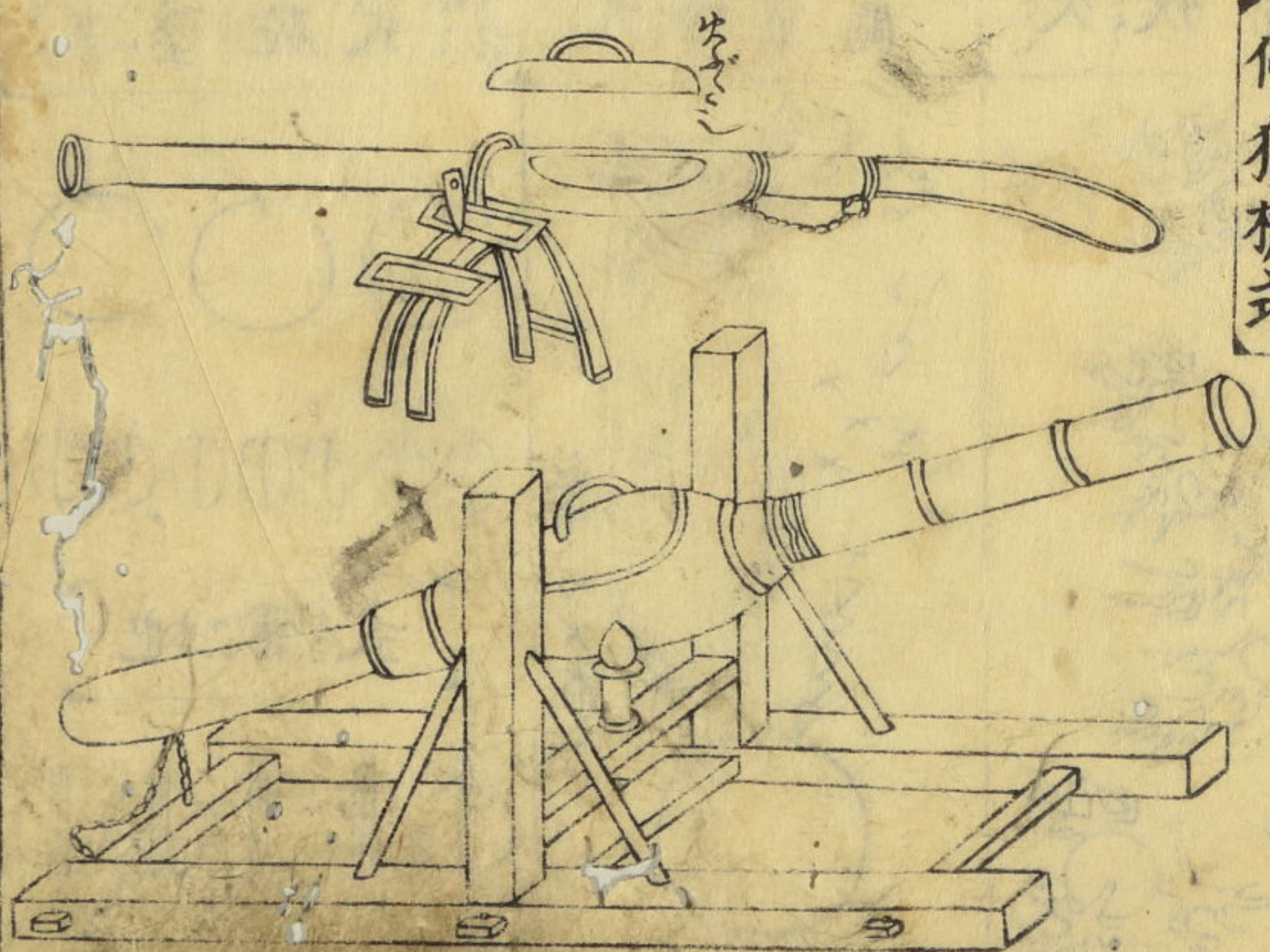
震辰天雷

此器重五百斤鉛子之數百と穴合うその重さ四斤こ
 石とも弾
 大筒とを
 攻敵を
 利

兵器

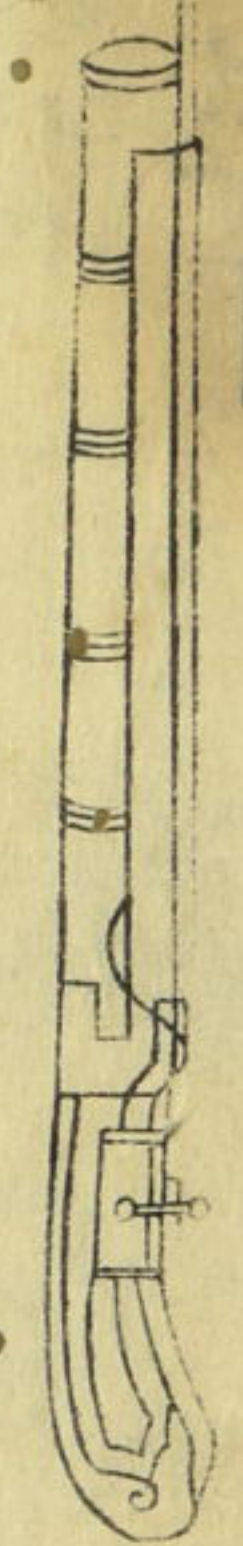


佛狼機式



唐土訓蒙圖彙卷之九

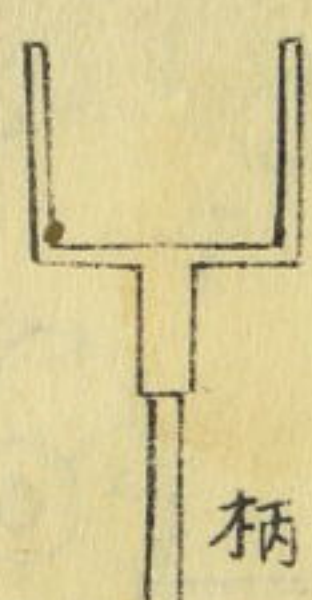
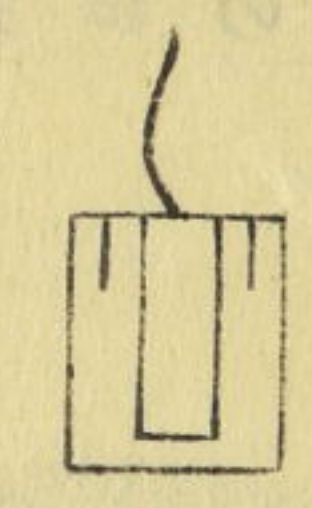
鳥嘴銃



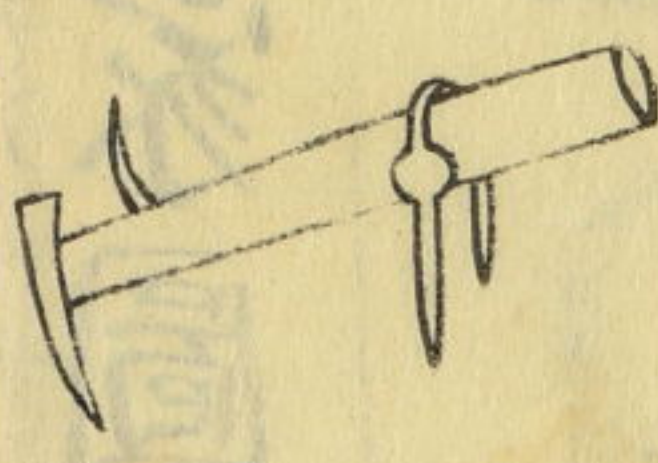
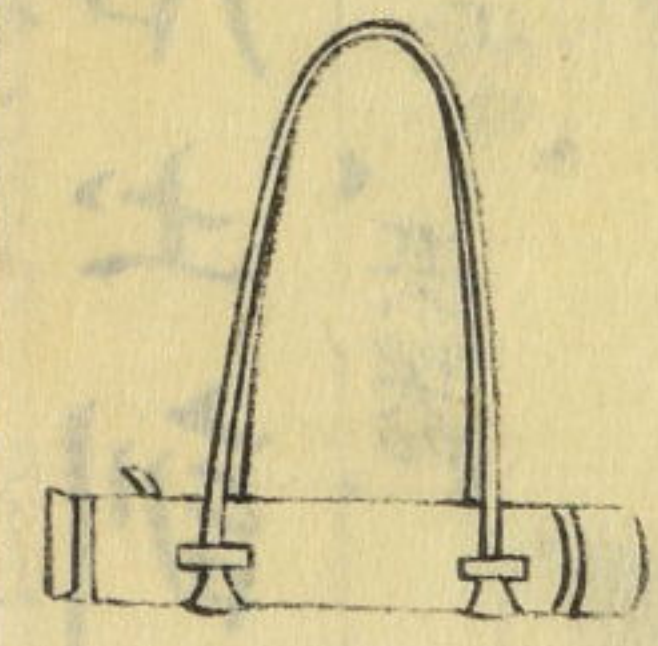
鳥銃細式



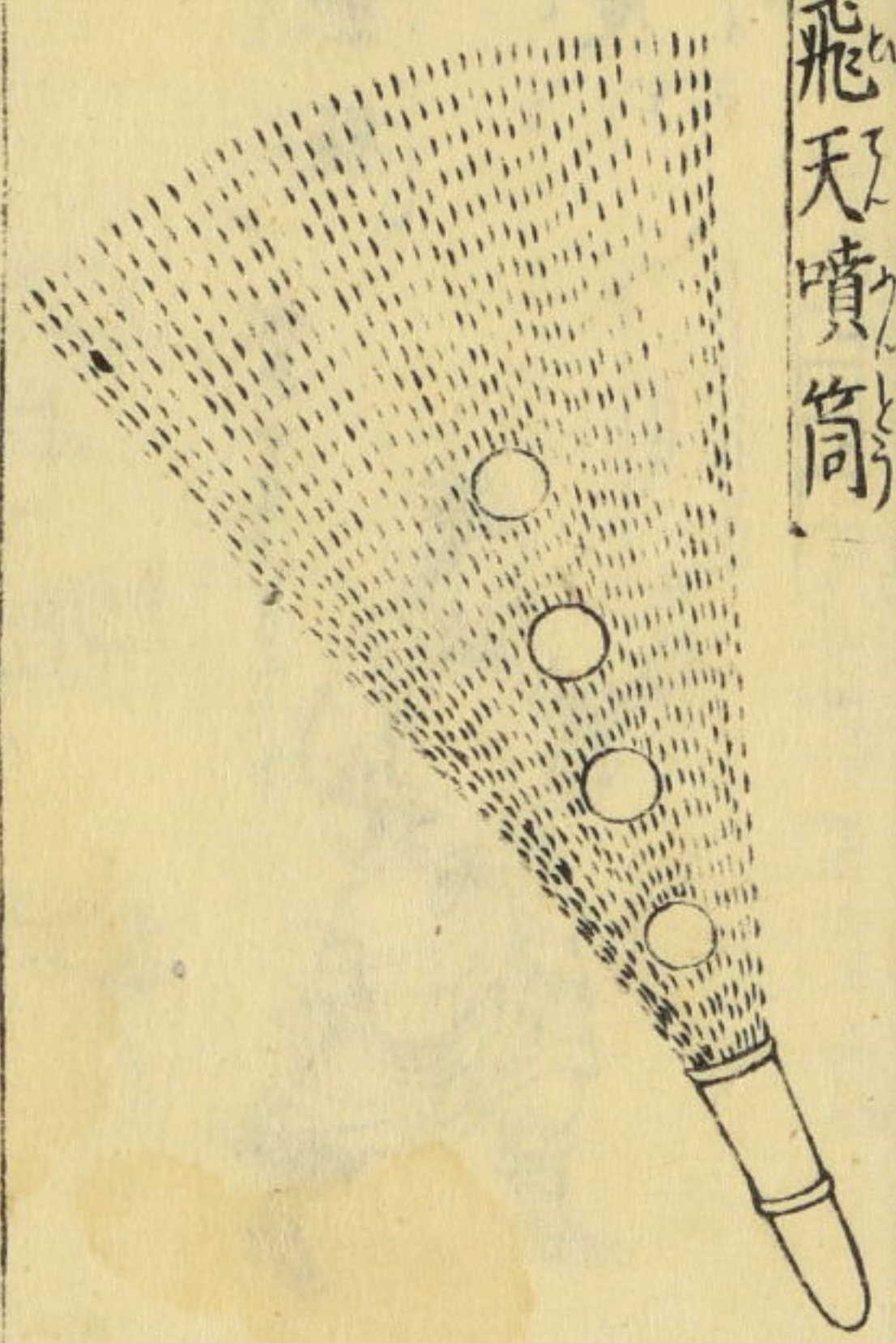
仔母炮



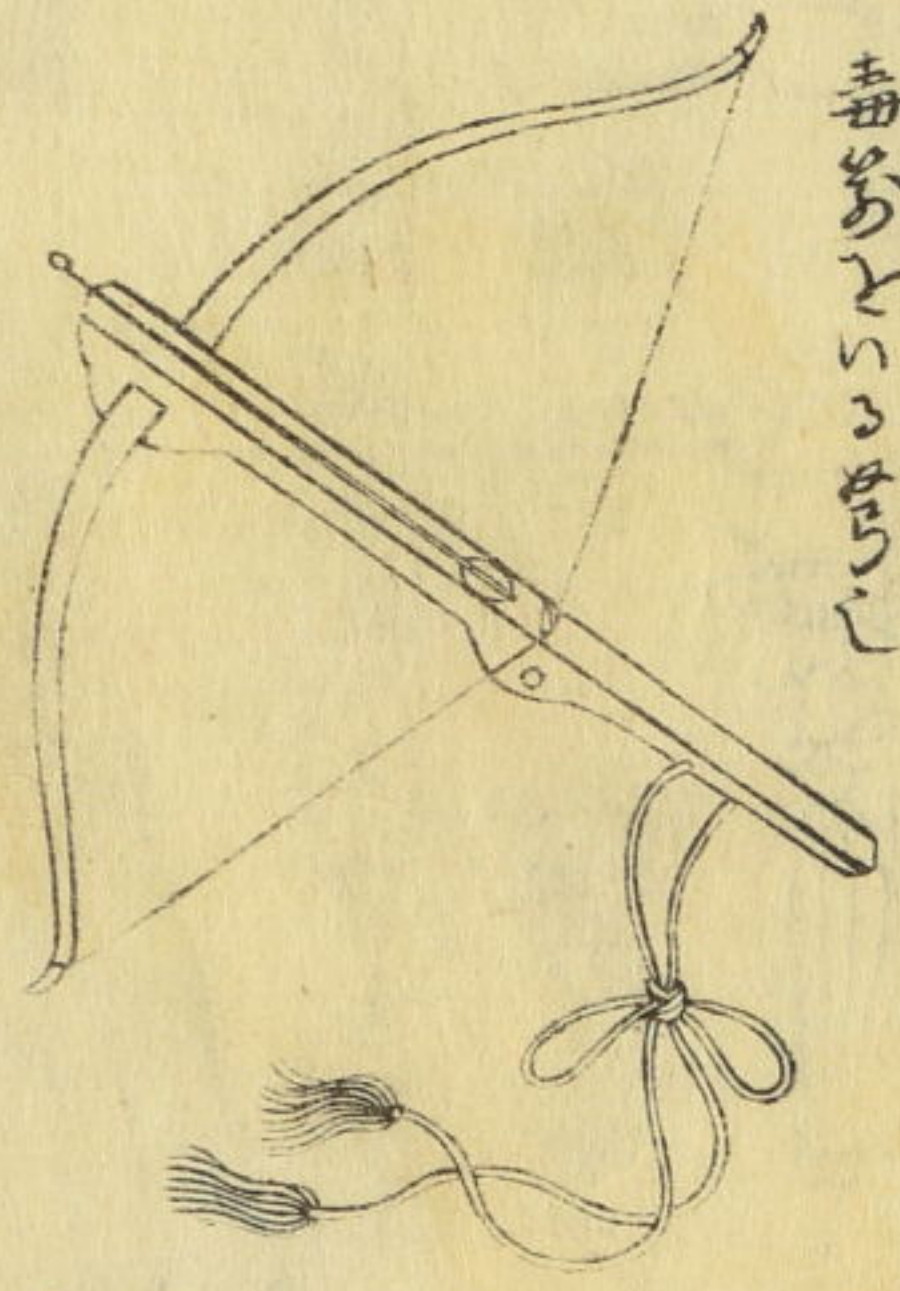
一窩蜂



飛天噴筒



兩廣藥箭



脚枝圖



竹の管四寸一六分なり
或ハ圓板一代てもらひ
此間に姓名とあるは
某哨某隊某甲兵某

重七川...

天墜砲式



大蜂窠圖



火狀圖式



天蓬鐘式



内外皆鋒刀 横長二尺柄
長八九尺或一丈
兵馬歩戰第一利器也

篠箒



鉤等



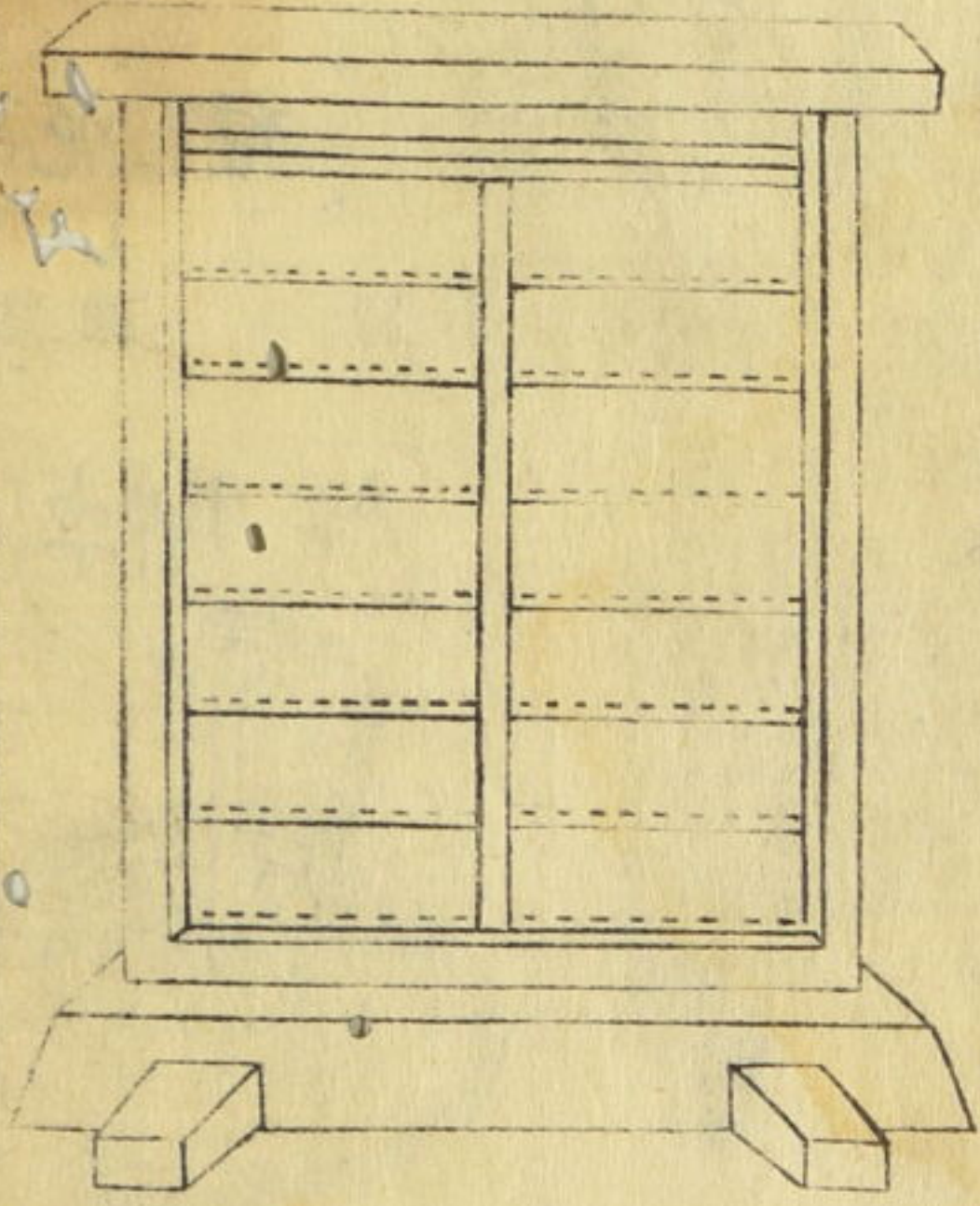
對子斧



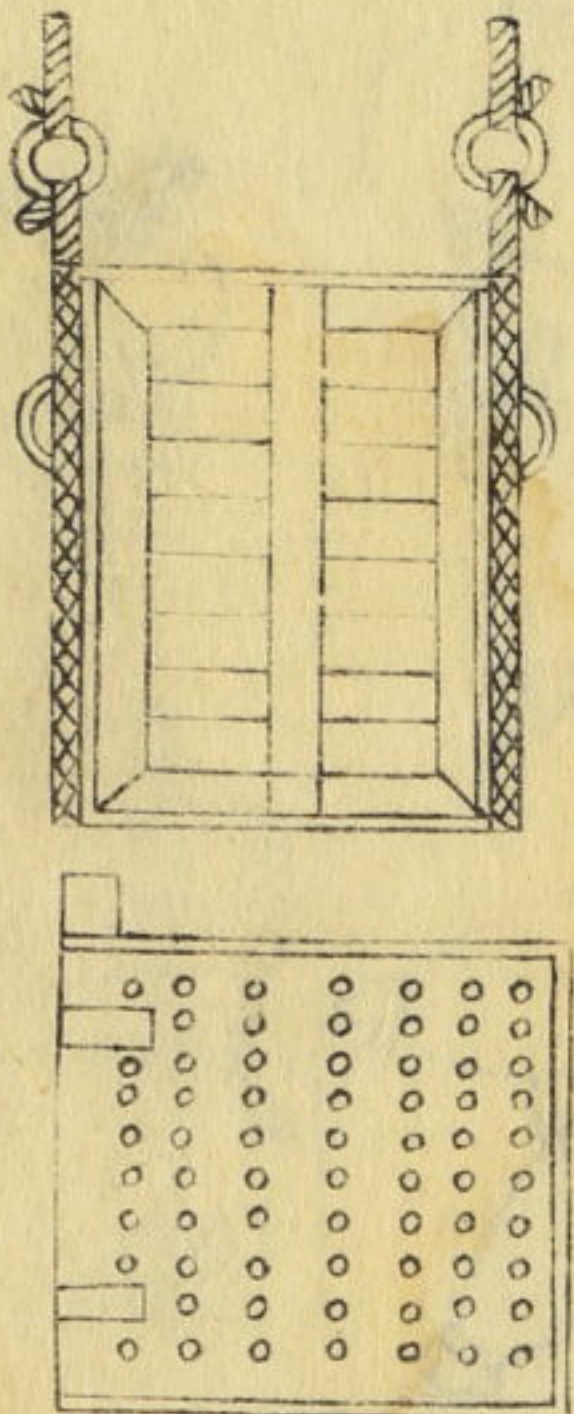
又



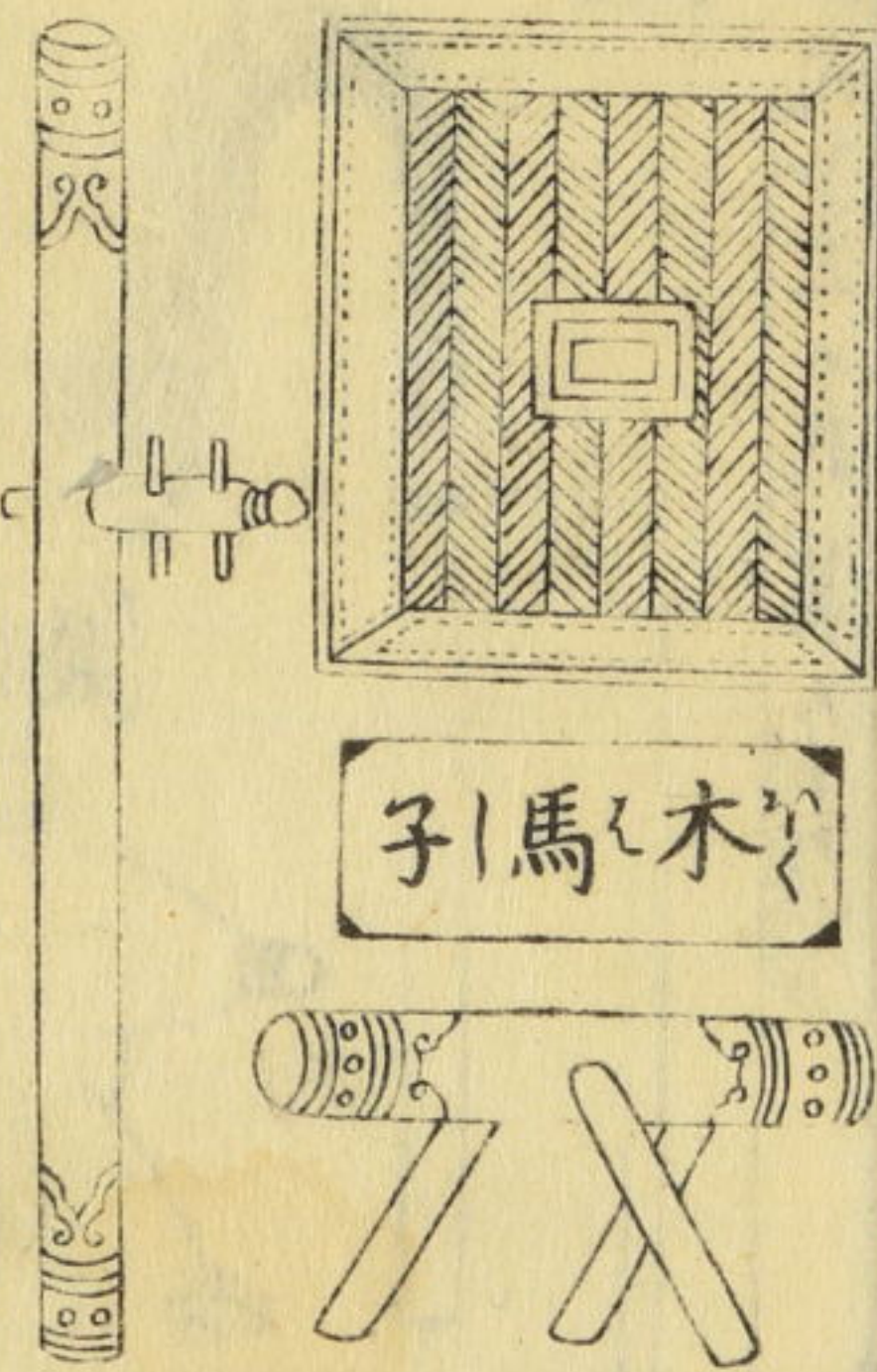
設物間伺敵門暗り



版と牌



木脚狗芭皮竹

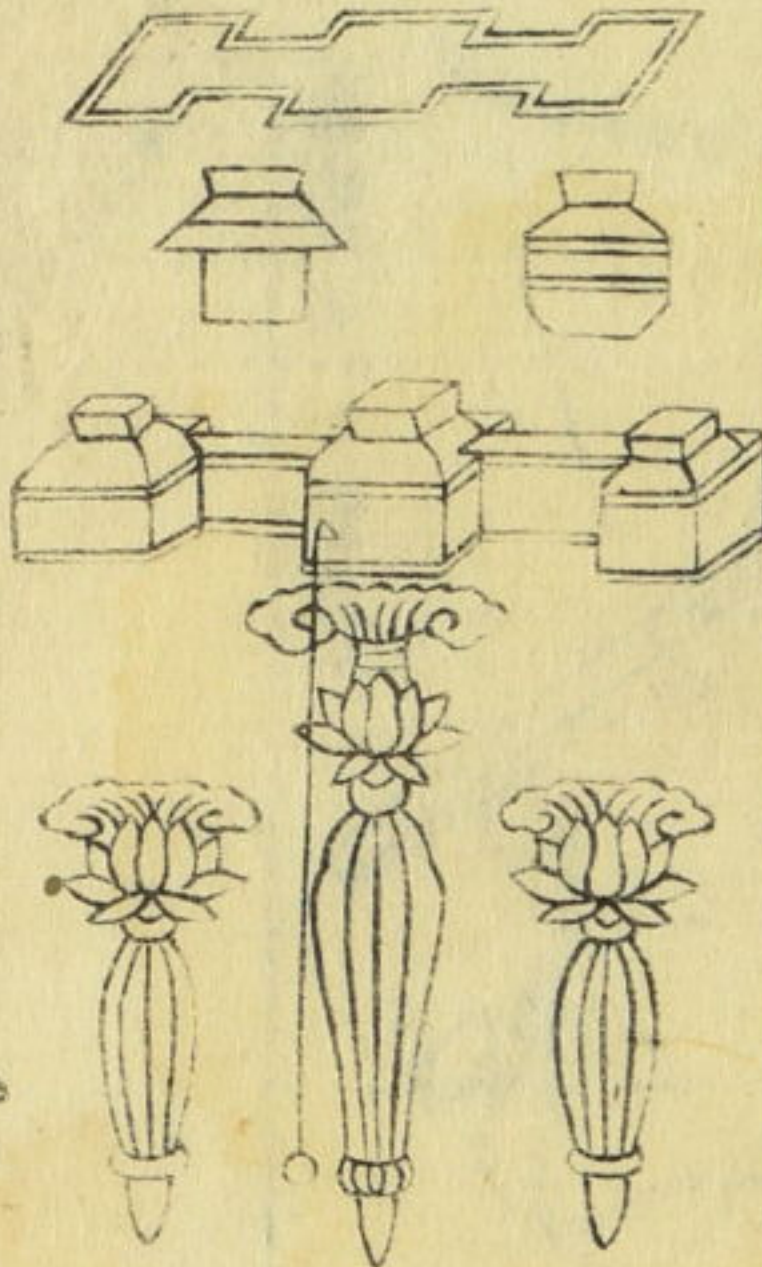


竿と度と



照板

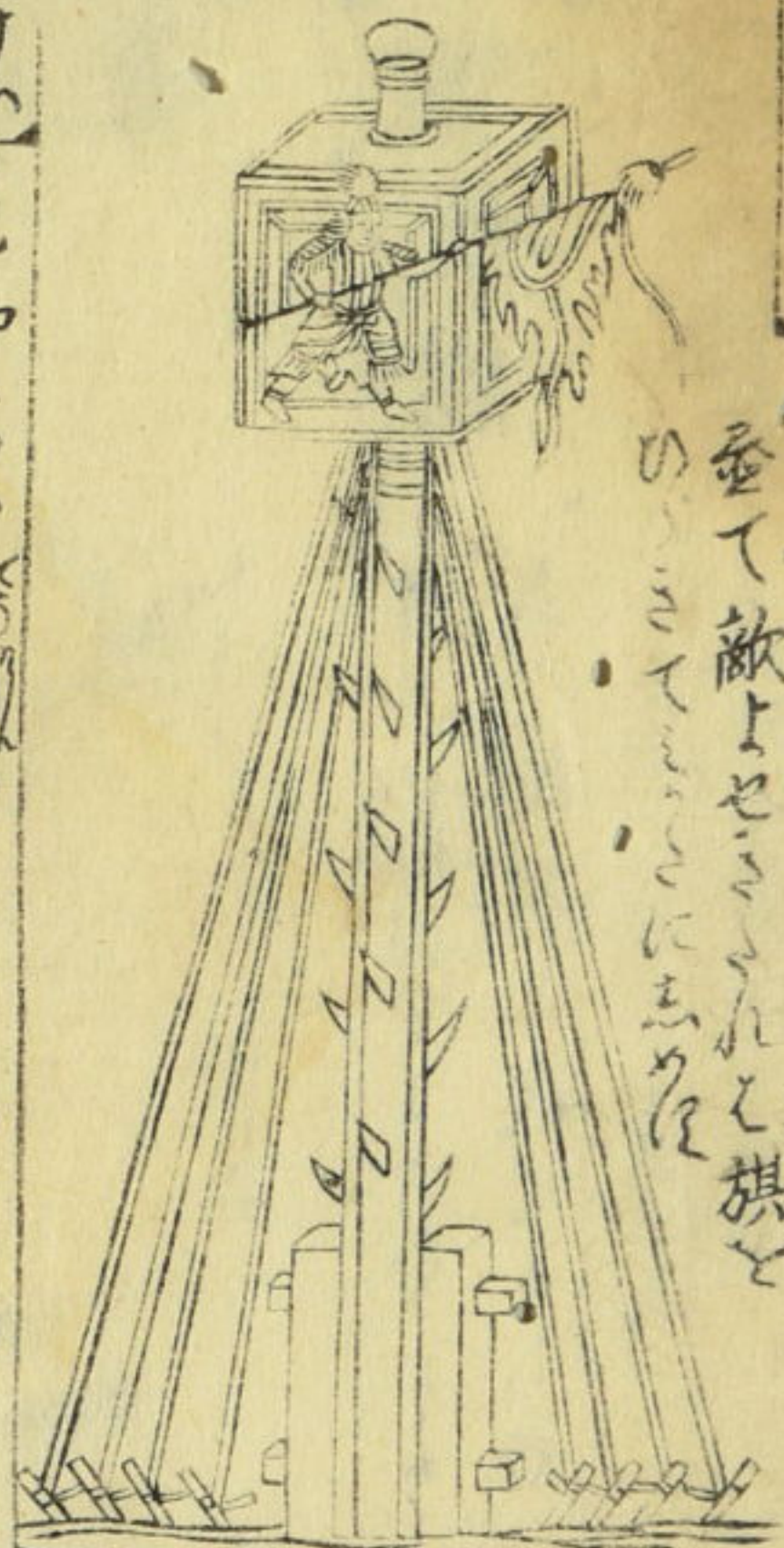
水のさすところ



水

是和より下間とさすところのもの

望樓

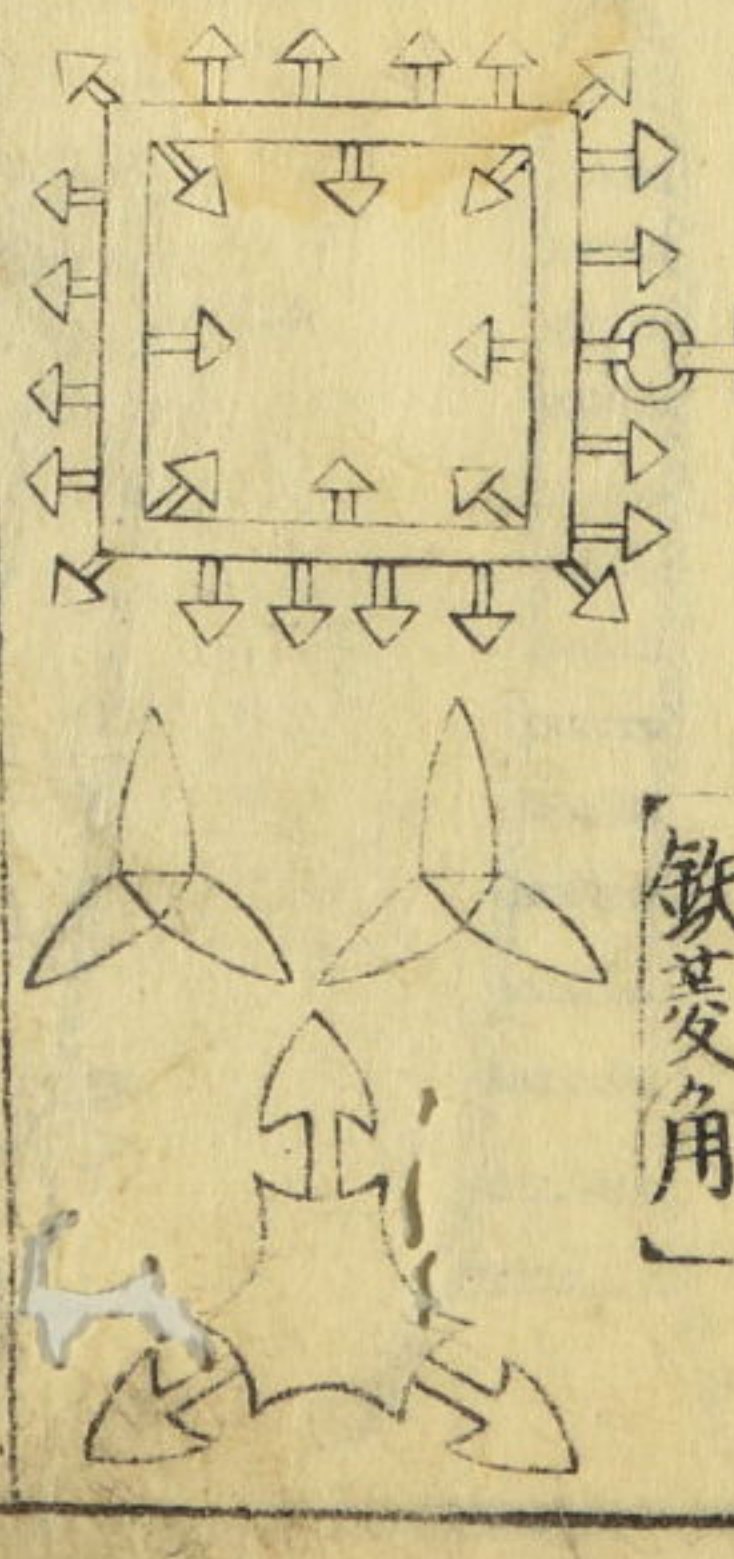


和よりせいの一人と上を
登て敵よせよとてし棋と
のさすところのまが

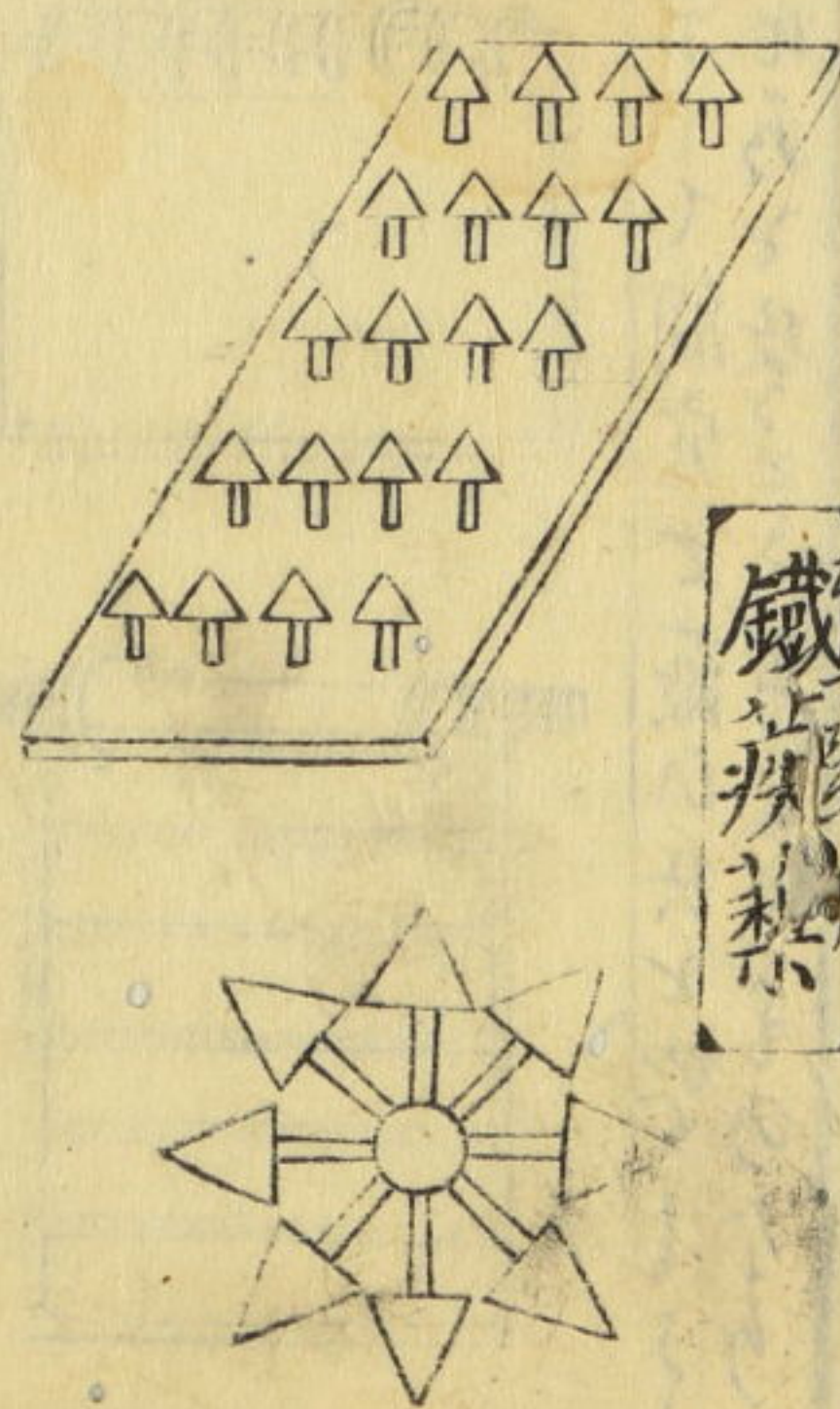
城者 櫓木



利の鳥蹄の擲

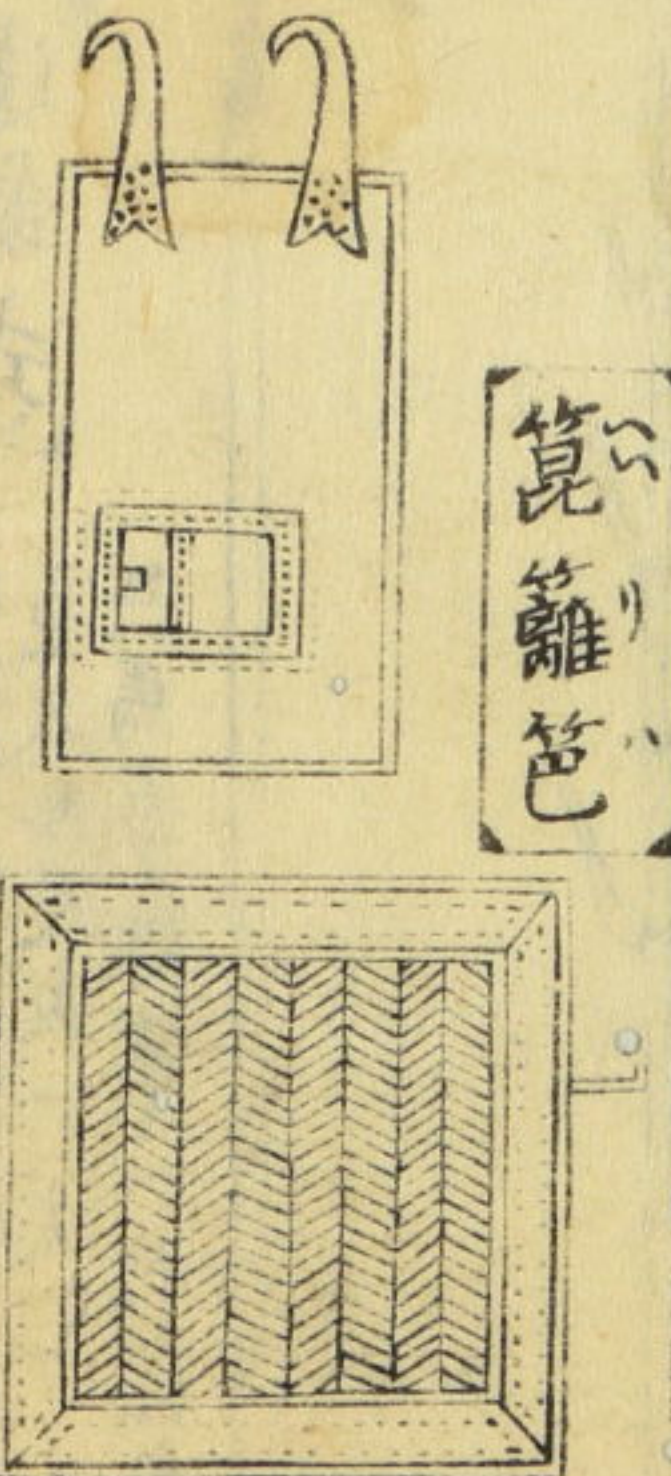


溢地



版鐘垂

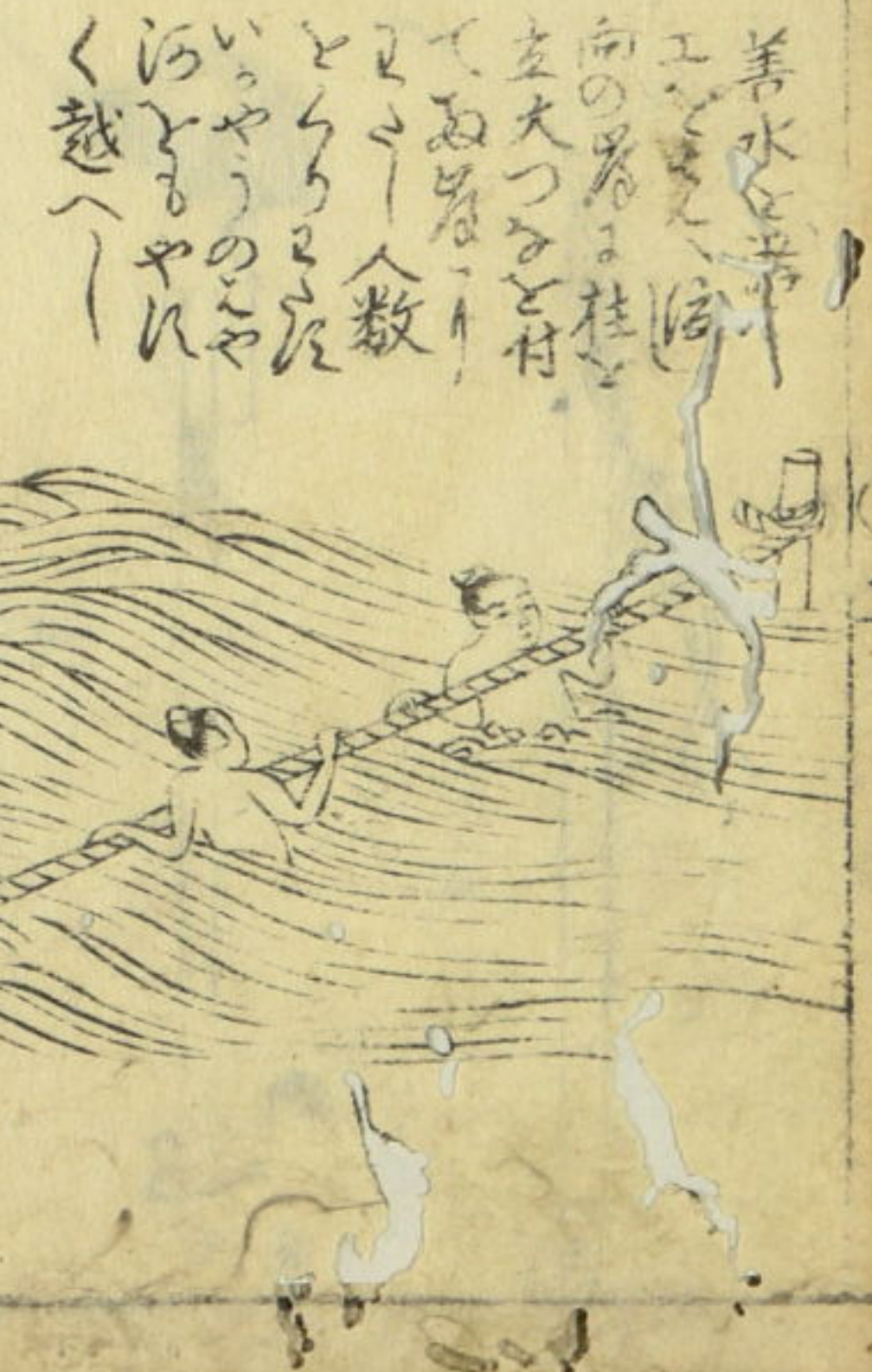
牛皮でつてさして矢とさす



水と 囊

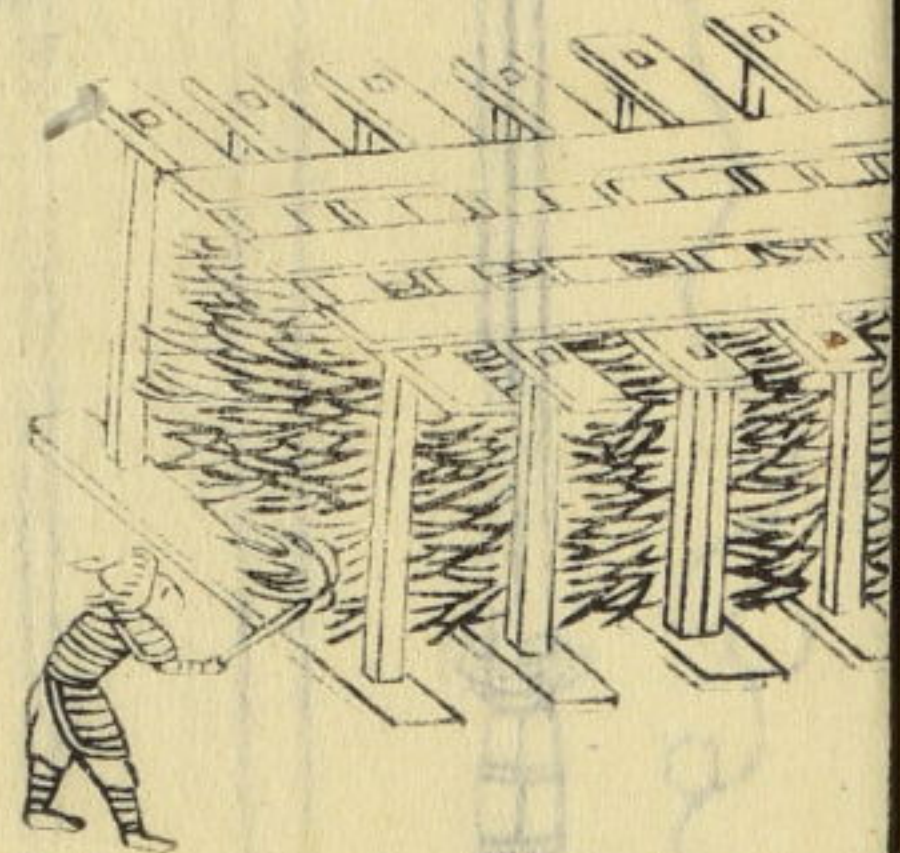
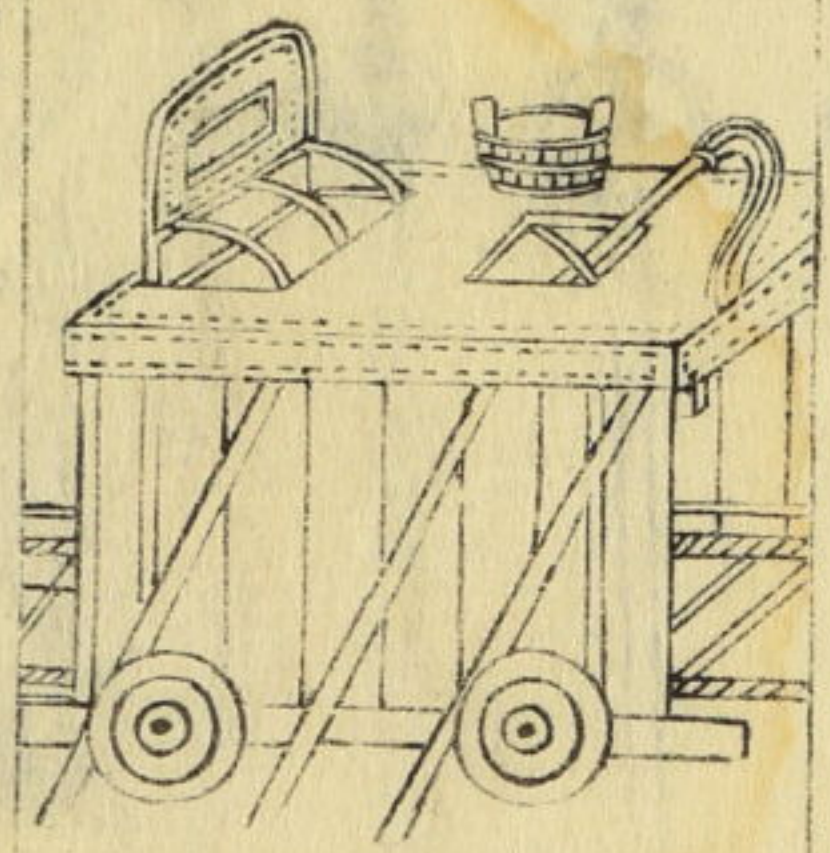
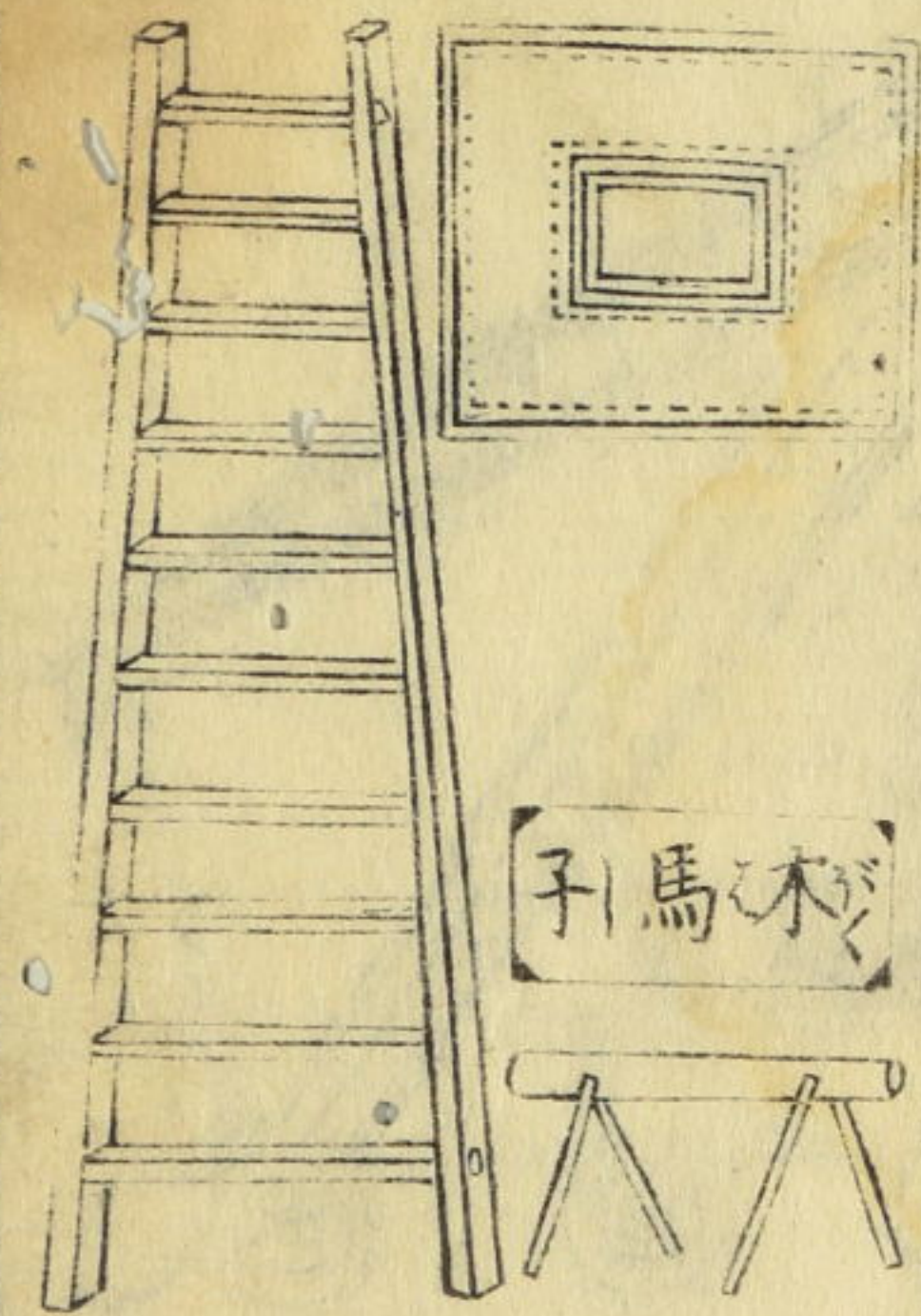


式 組 飛



善水を
工の者
立大つ
ておる
とく
いやく
河と
く越へ

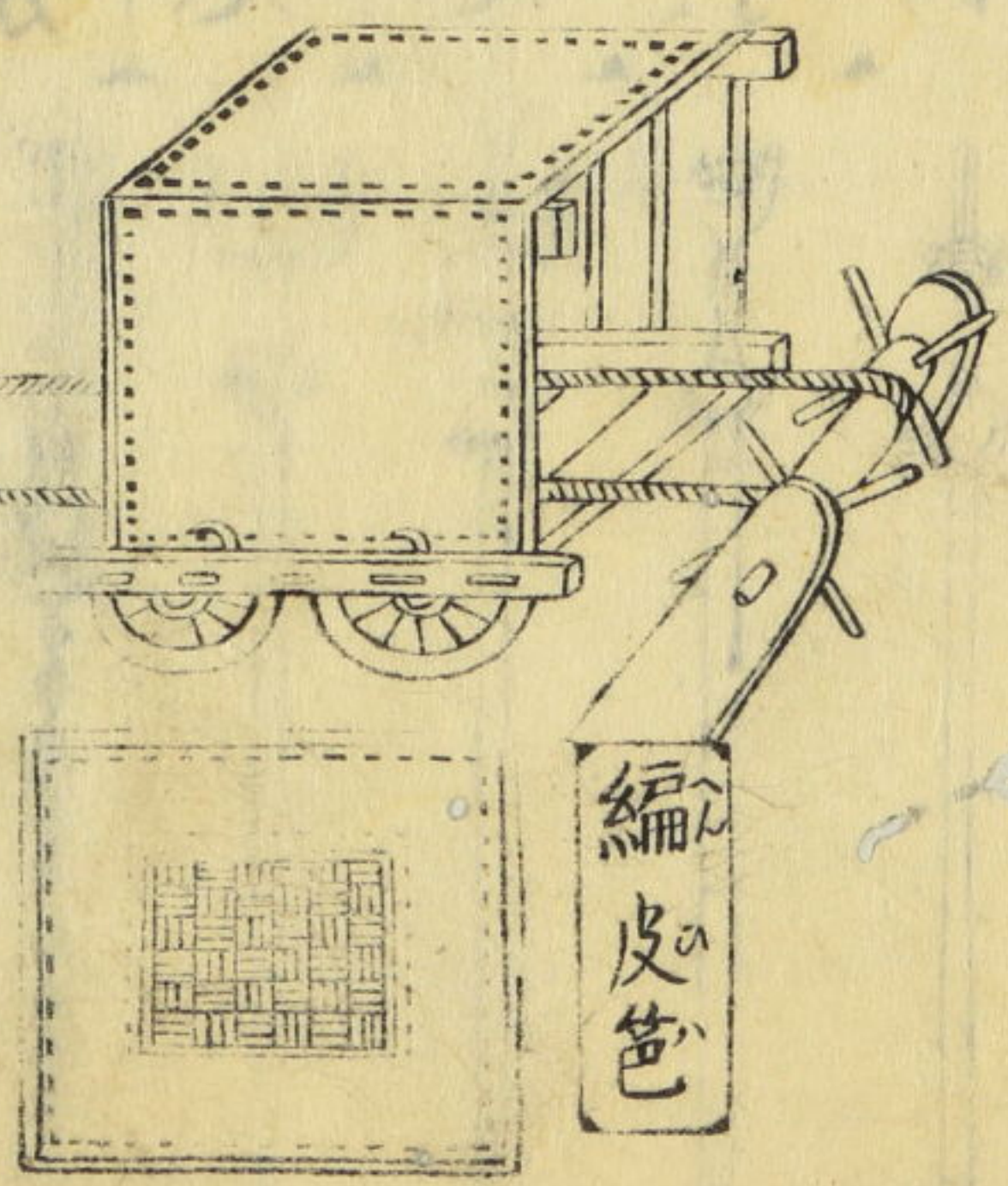
梯車頭上 籠風屏 具せ城を 車頭器 用ふに 城と 道地



橋壕 兩格と接して 用つる

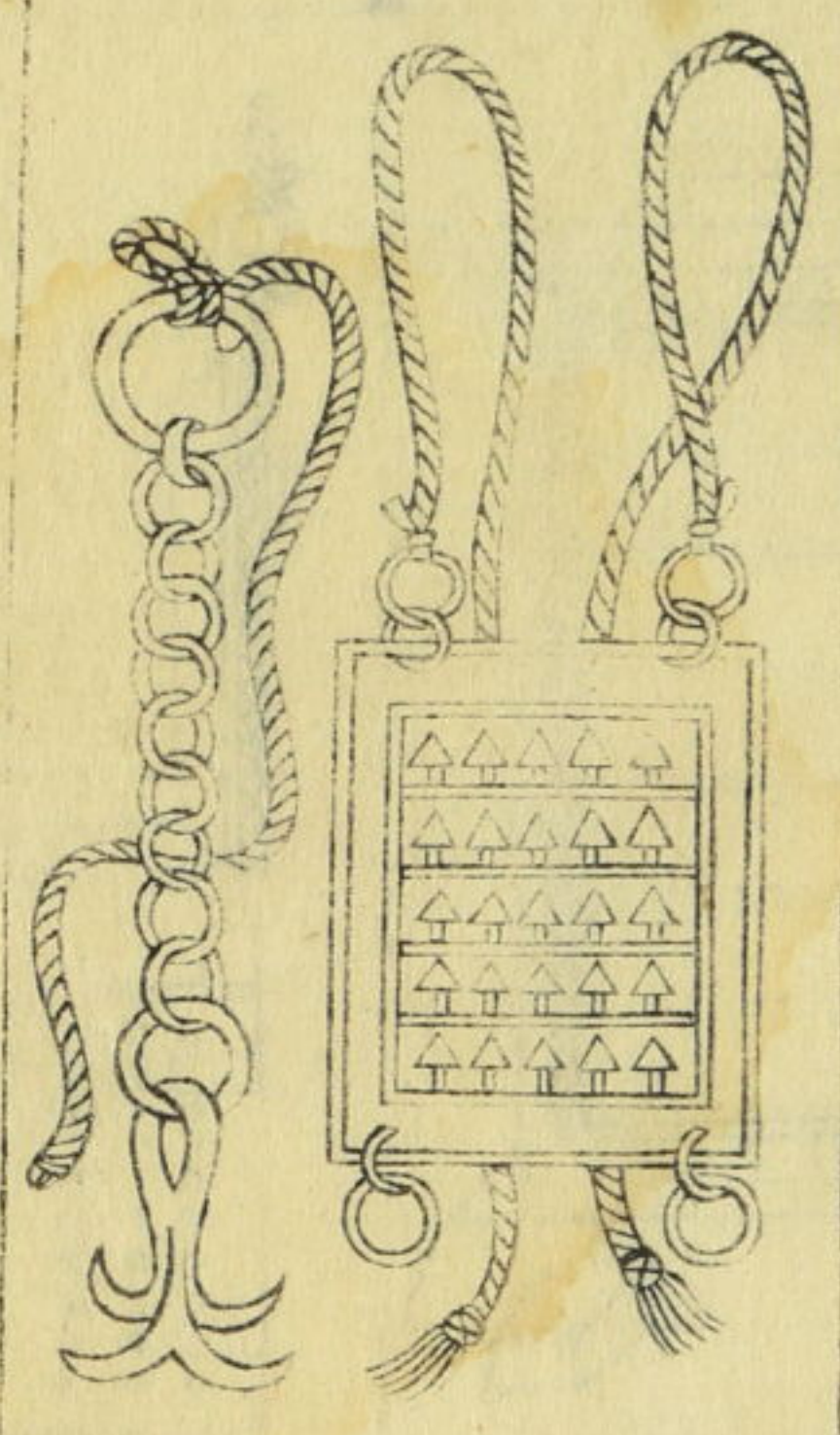
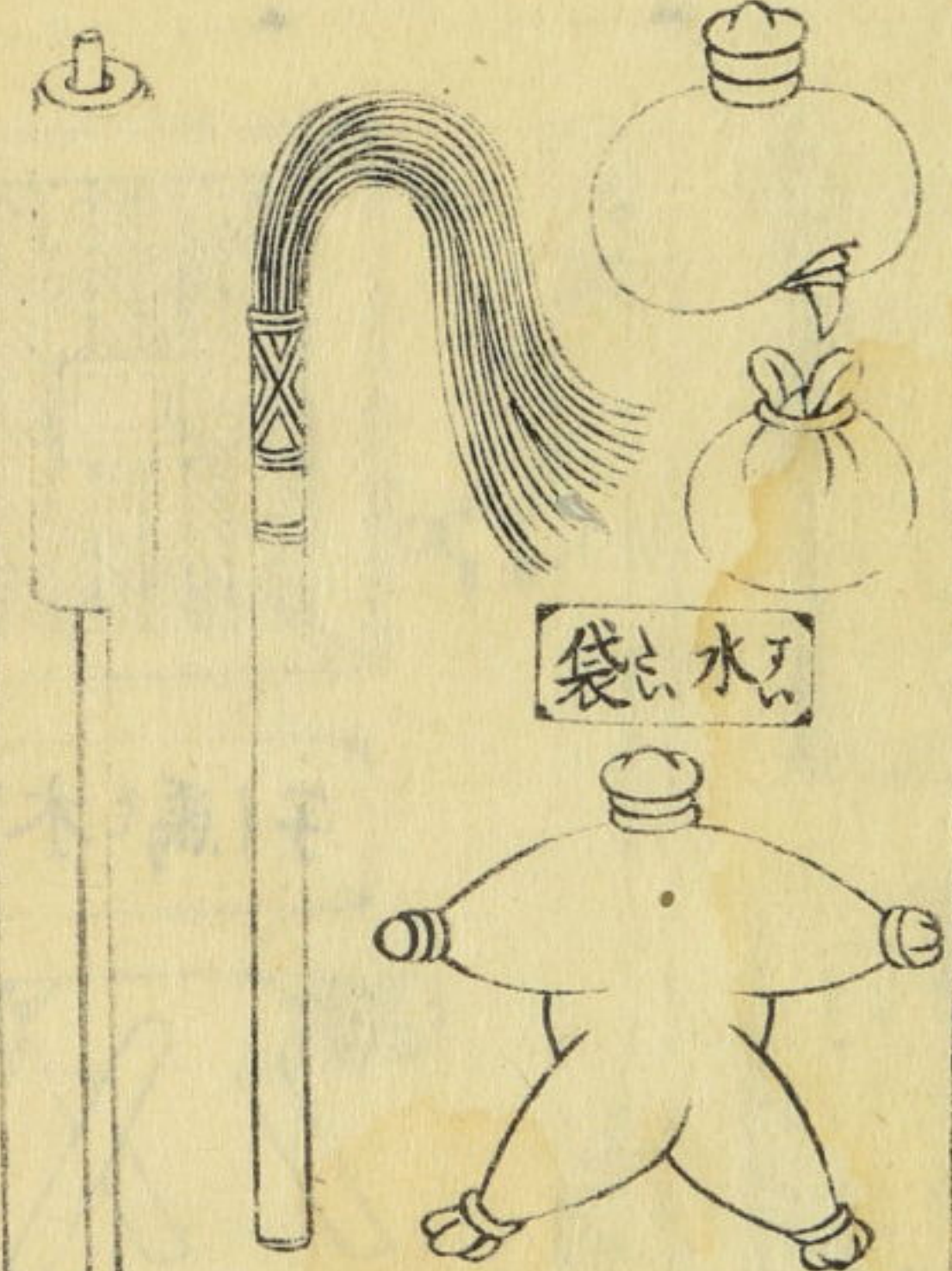


棚緒塔掛



編皮の籠

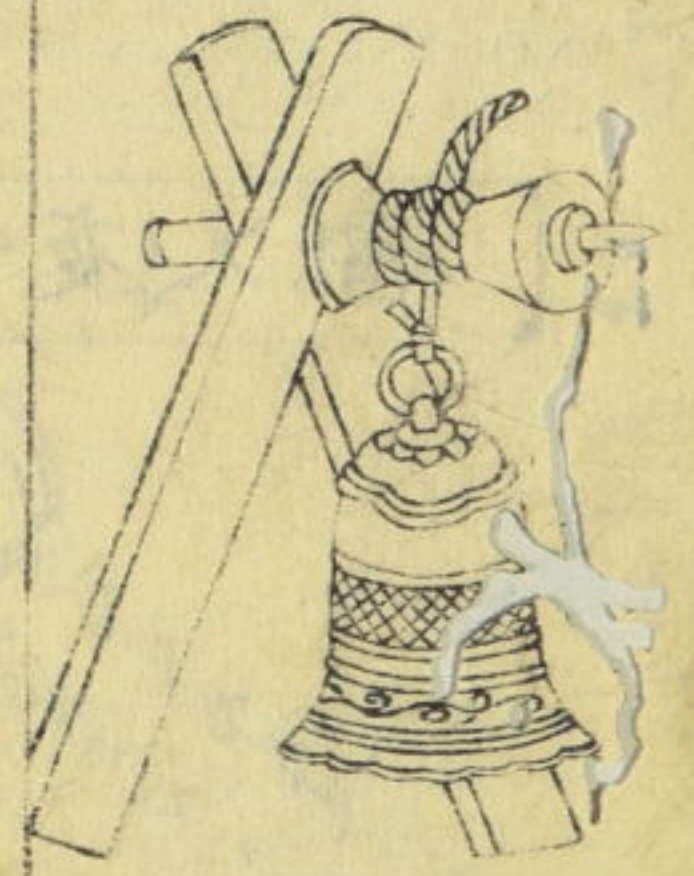
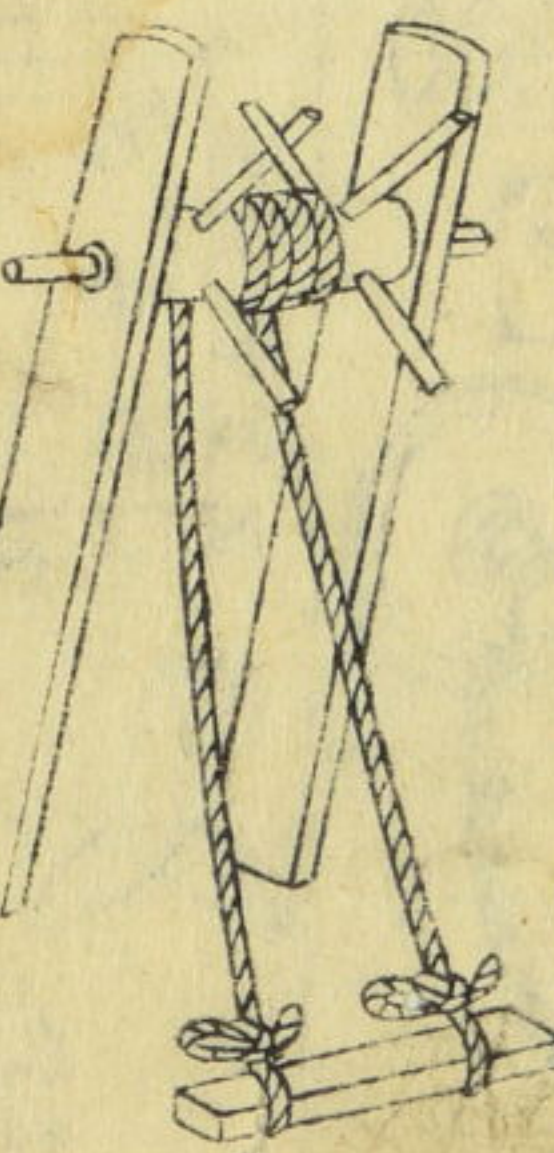
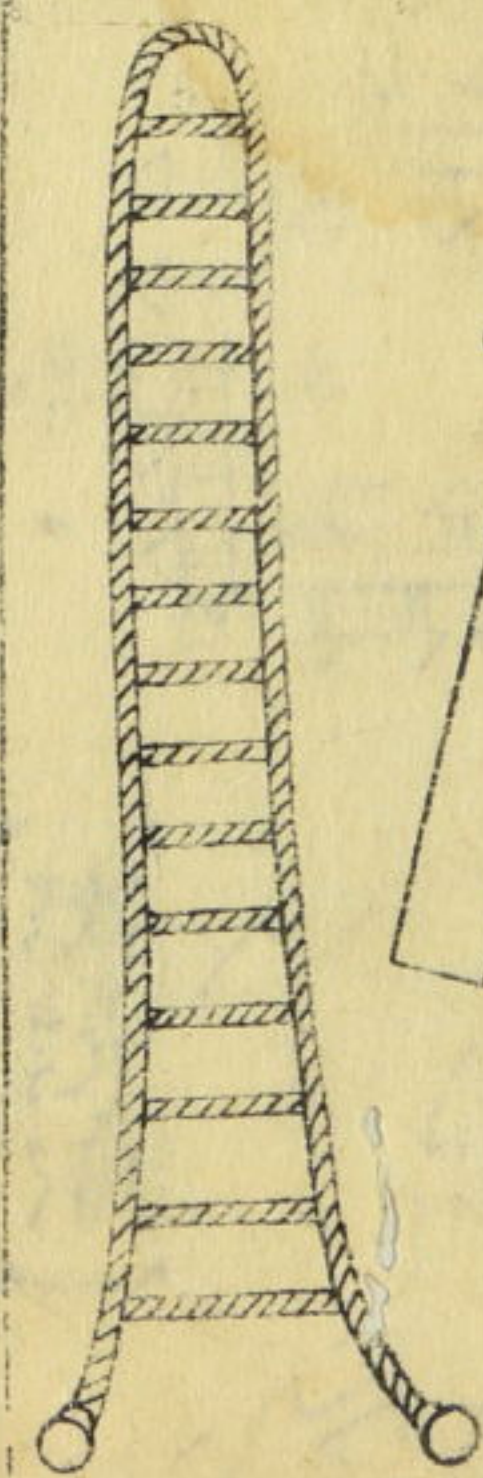
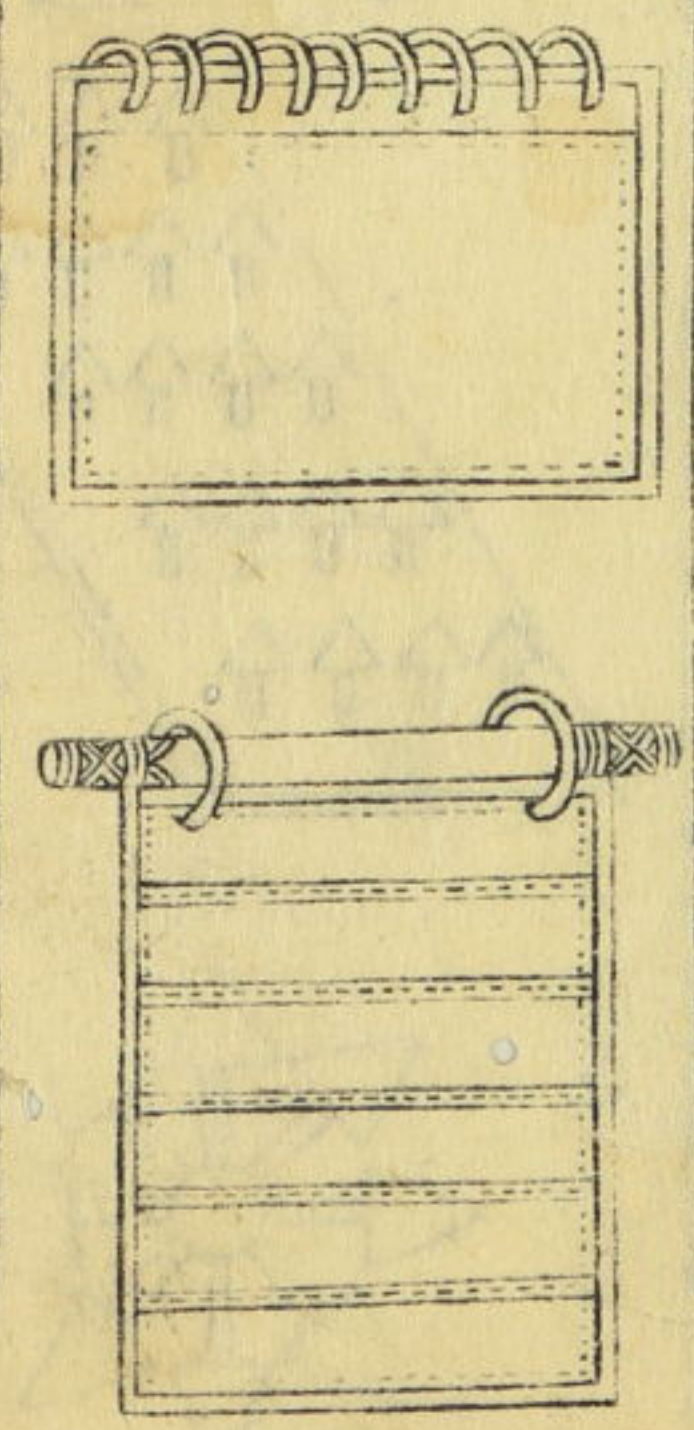
筒喇叭 搭麻 裳水 鉤飛 拍牙狼 播壠



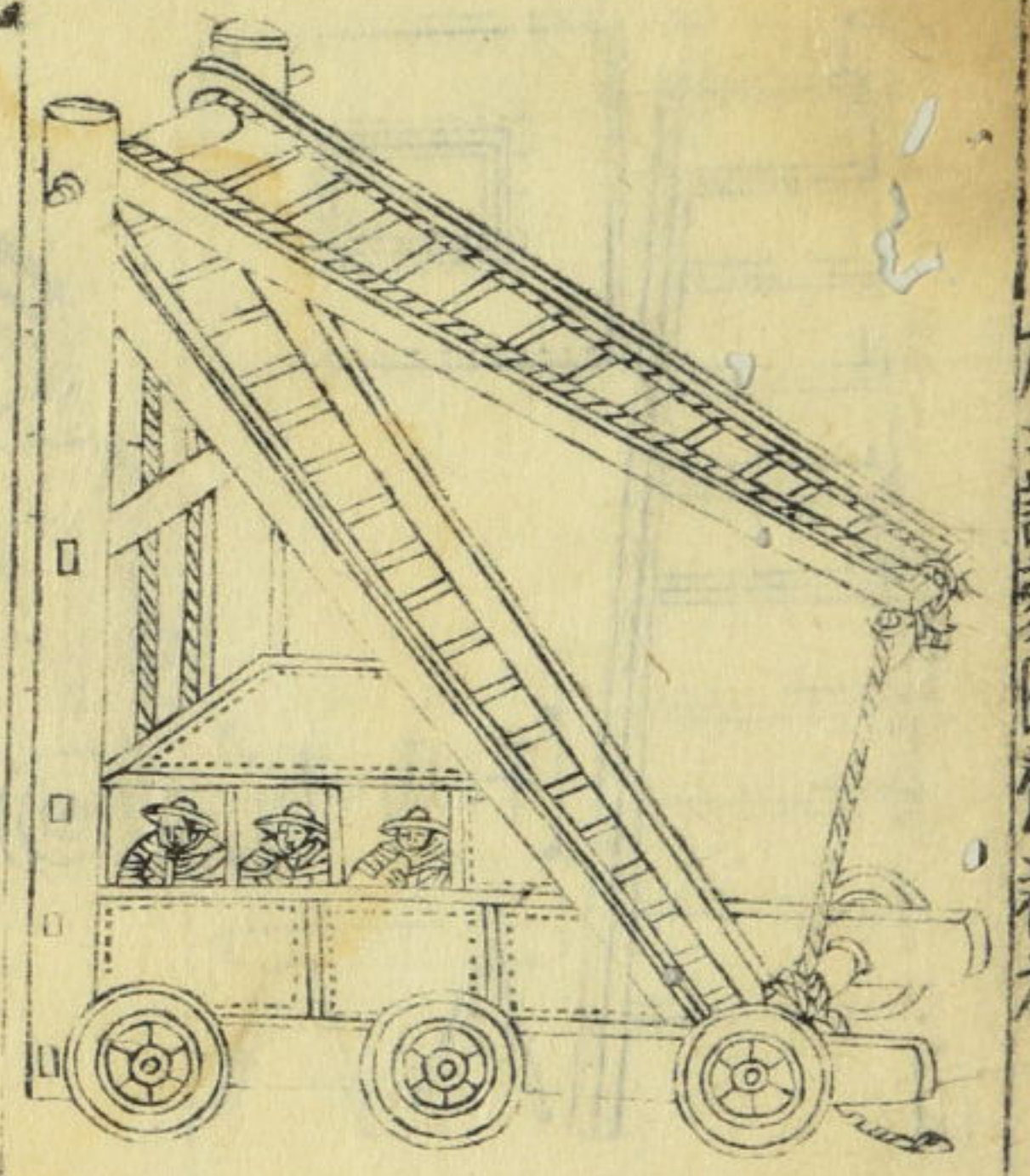
山の三品火と云ふは具なり

簾種 簾波 椽繩 車絞 城下

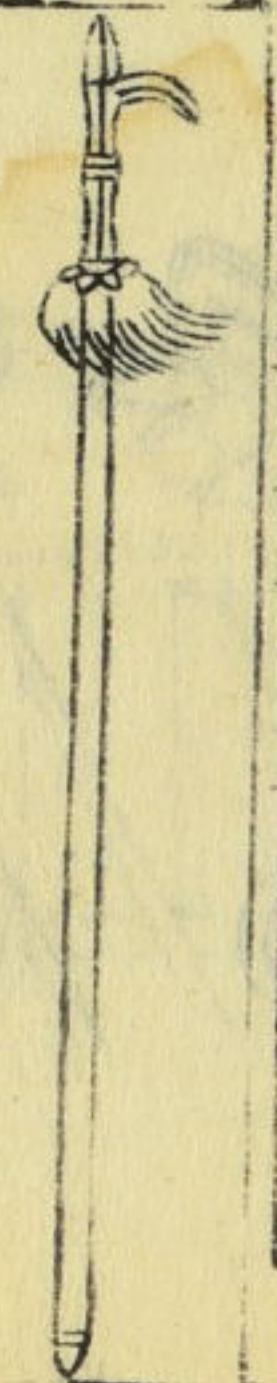
土色にして 敵の比らと攻つとこ 出でては 敵のものなり



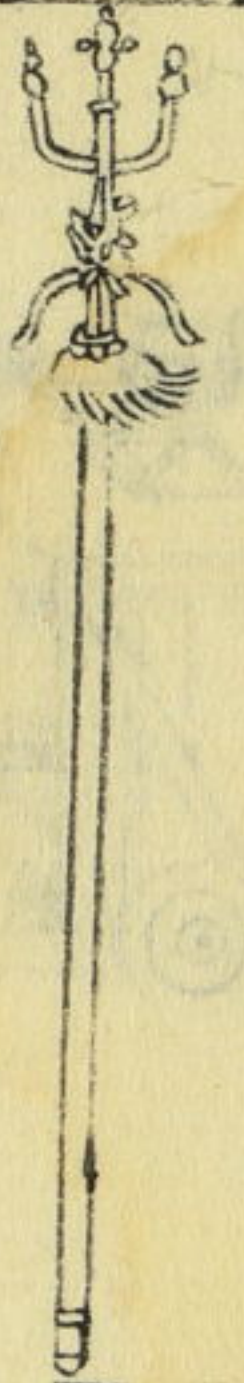
雲梯
飛梯
頭
この数



鉤鎌



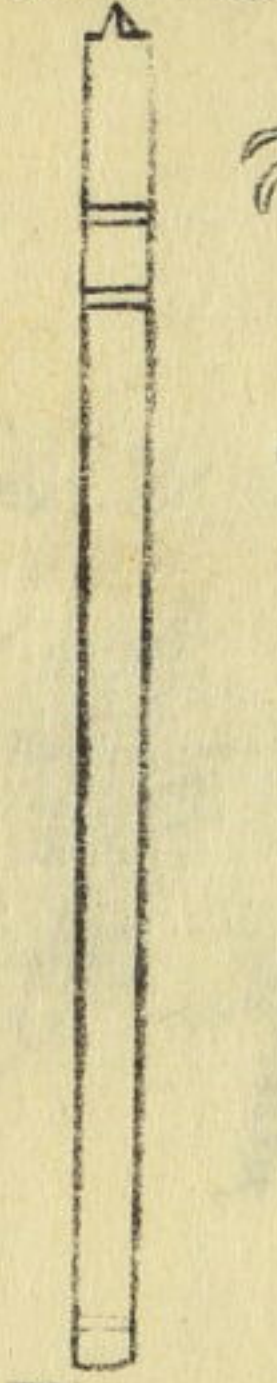
鉄骨朶



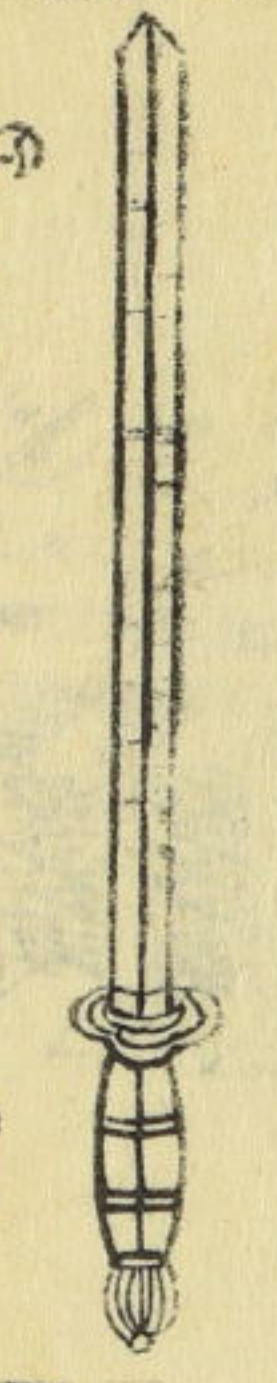
留客住



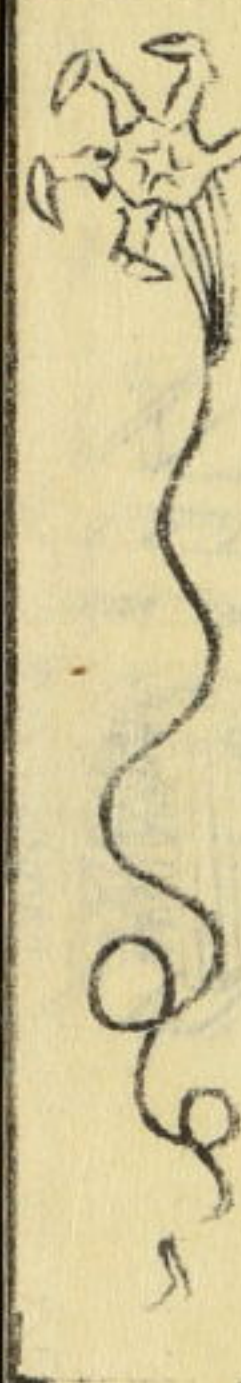
請人拔



鑑



龍吐



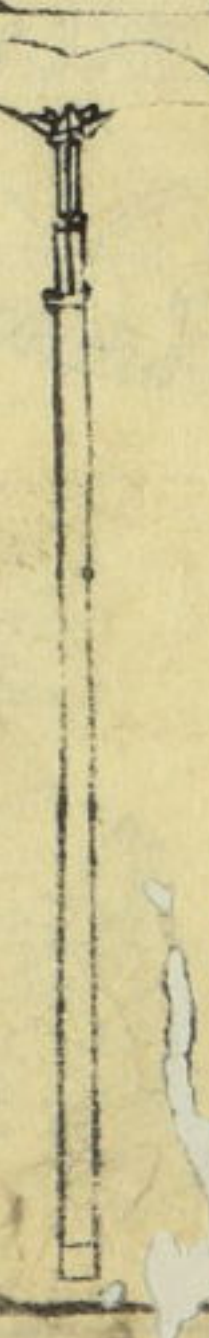
梅叱



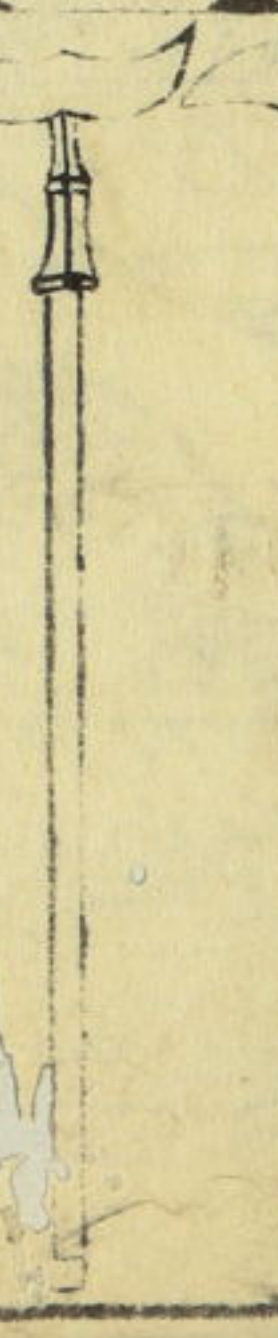
星鏡



内月牙



外月牙



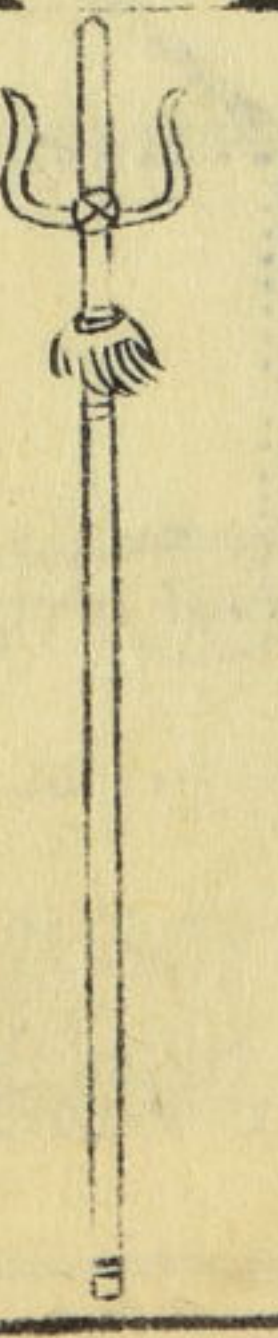
鋼鞭



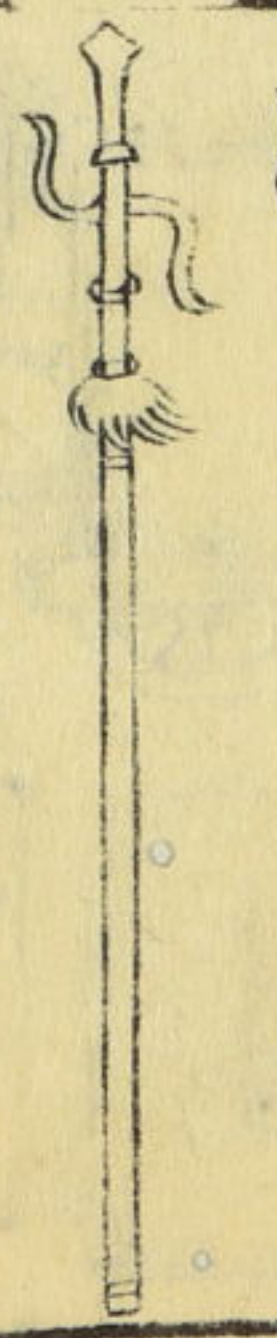
二節刀



文又



武又



銅拳



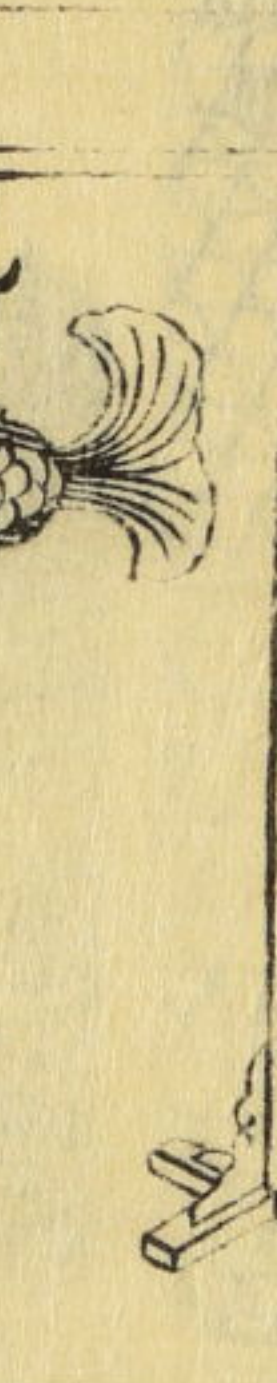
柁結



旋



柳ハ昂ラ
柁易日



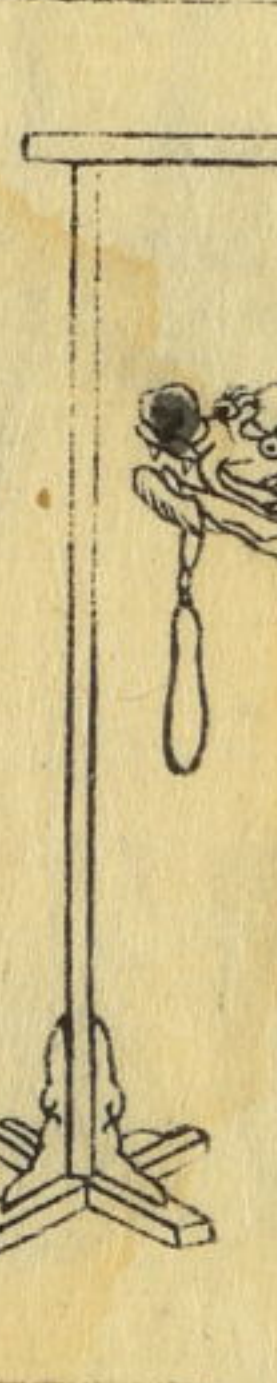
重門撃柁
以待暴客



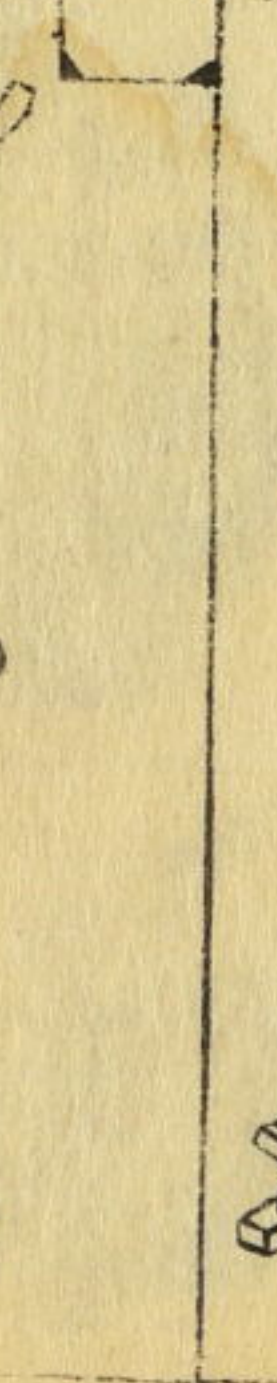
とて更
とて更



者も回



典鐘



唐六典皆
鐘を撃



大史門
典鐘あり



二百八十人
撃鐘編鐘



と堂
と堂



唐土譜圖原卷九

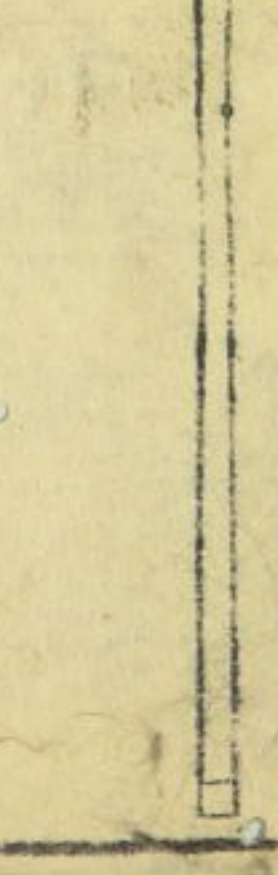
柁



書燈



葛焯龍



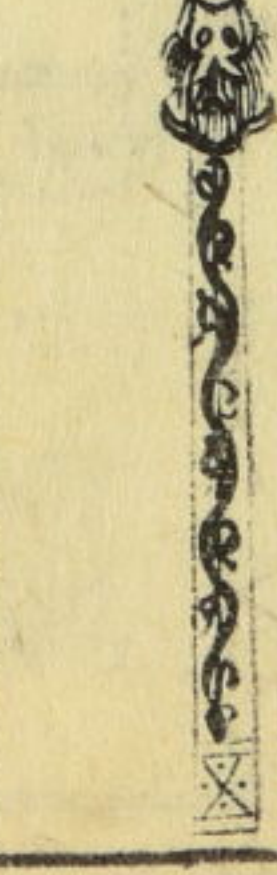
日景燈



松心



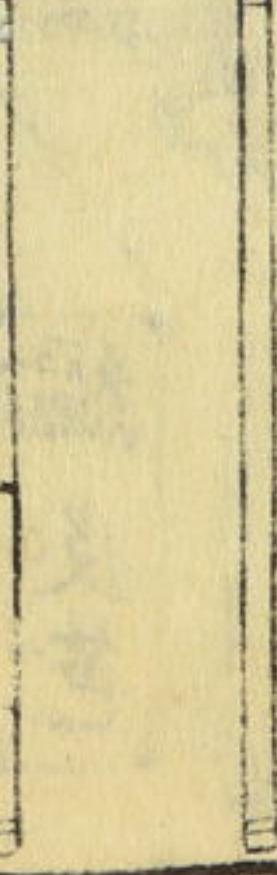
柁



柁



柁



柁



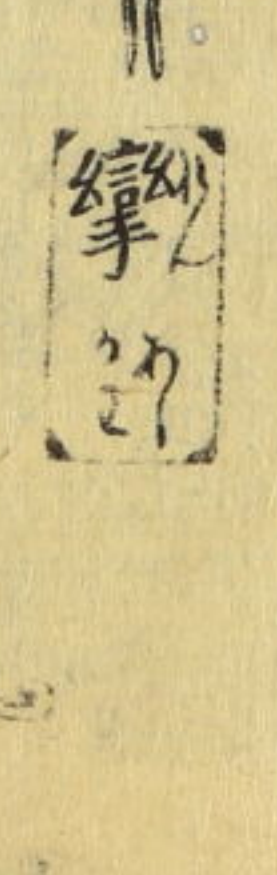
柁



柁



柁



柁



柁



柁



柁



柁



柁



柁

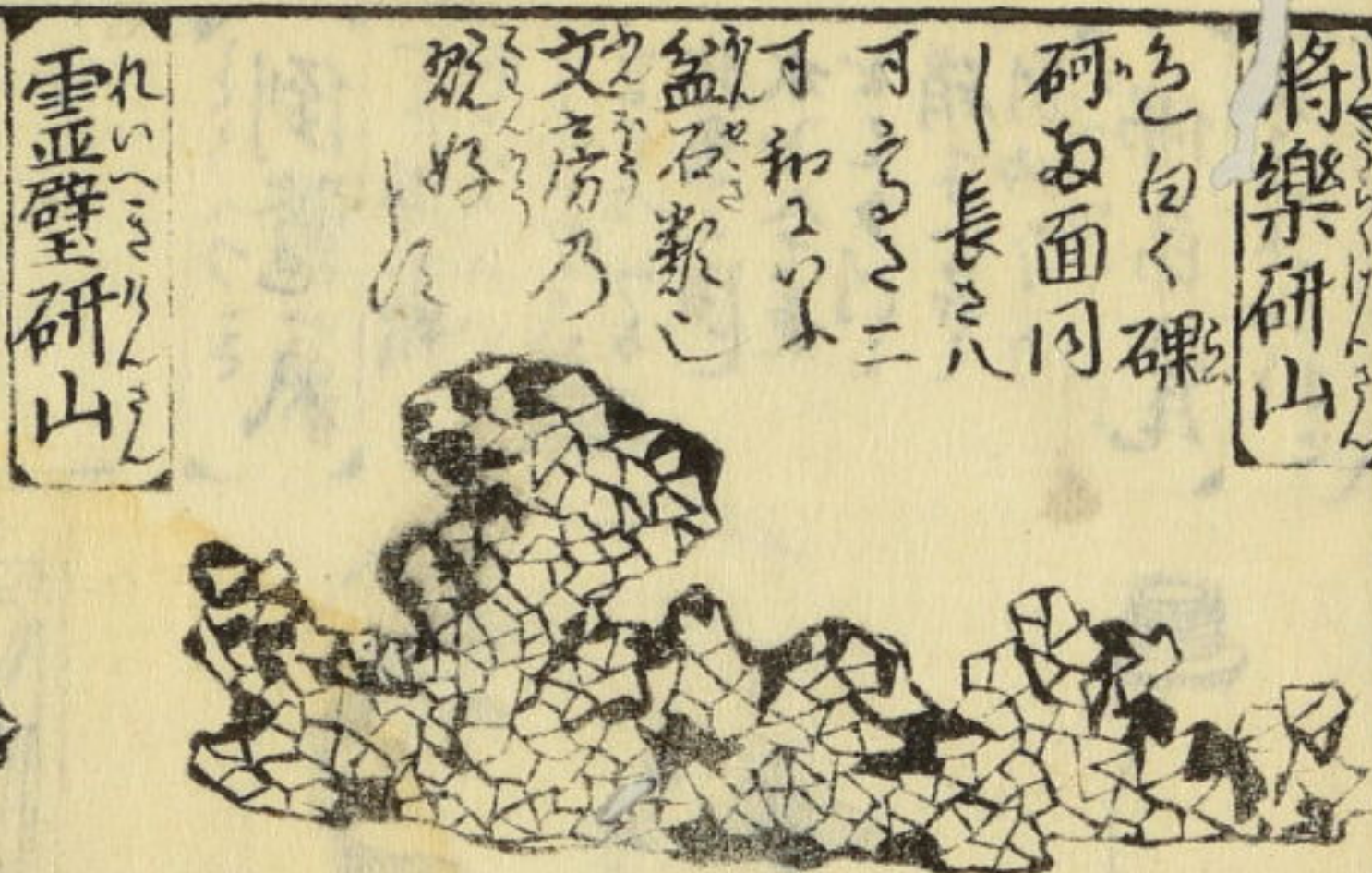


柁

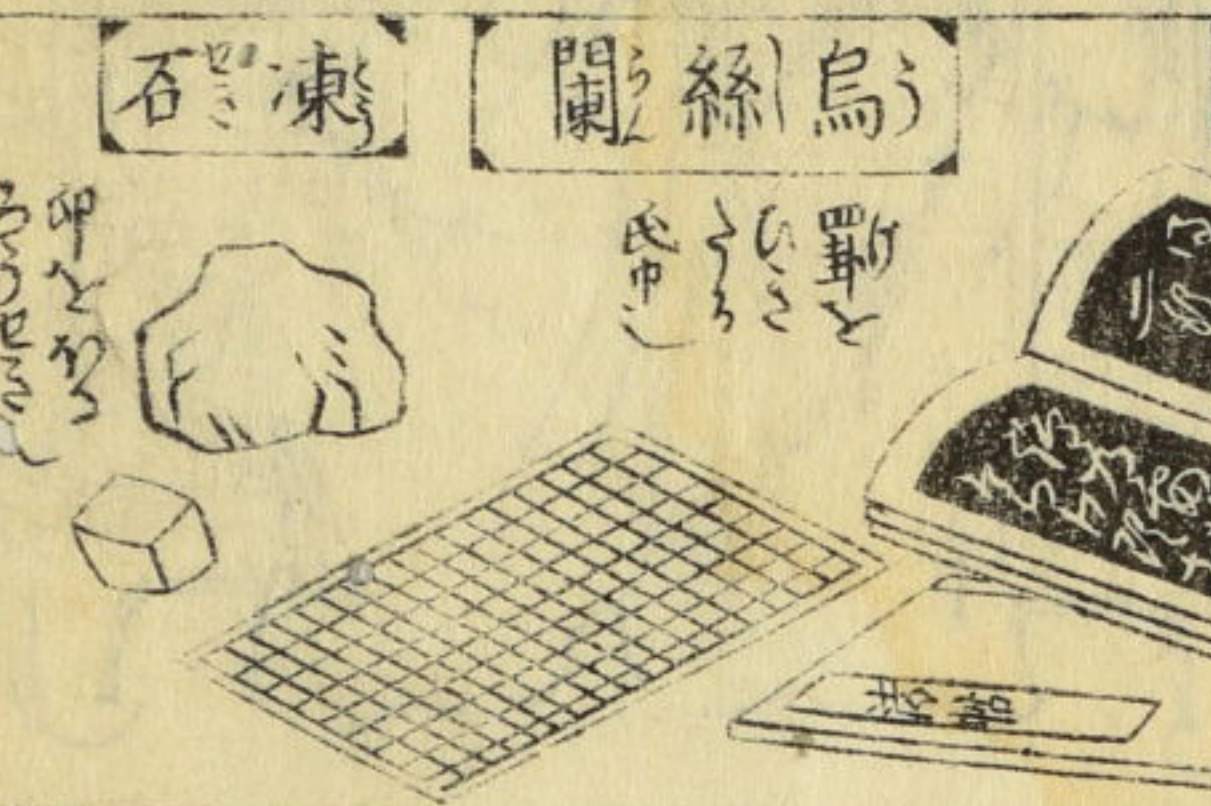




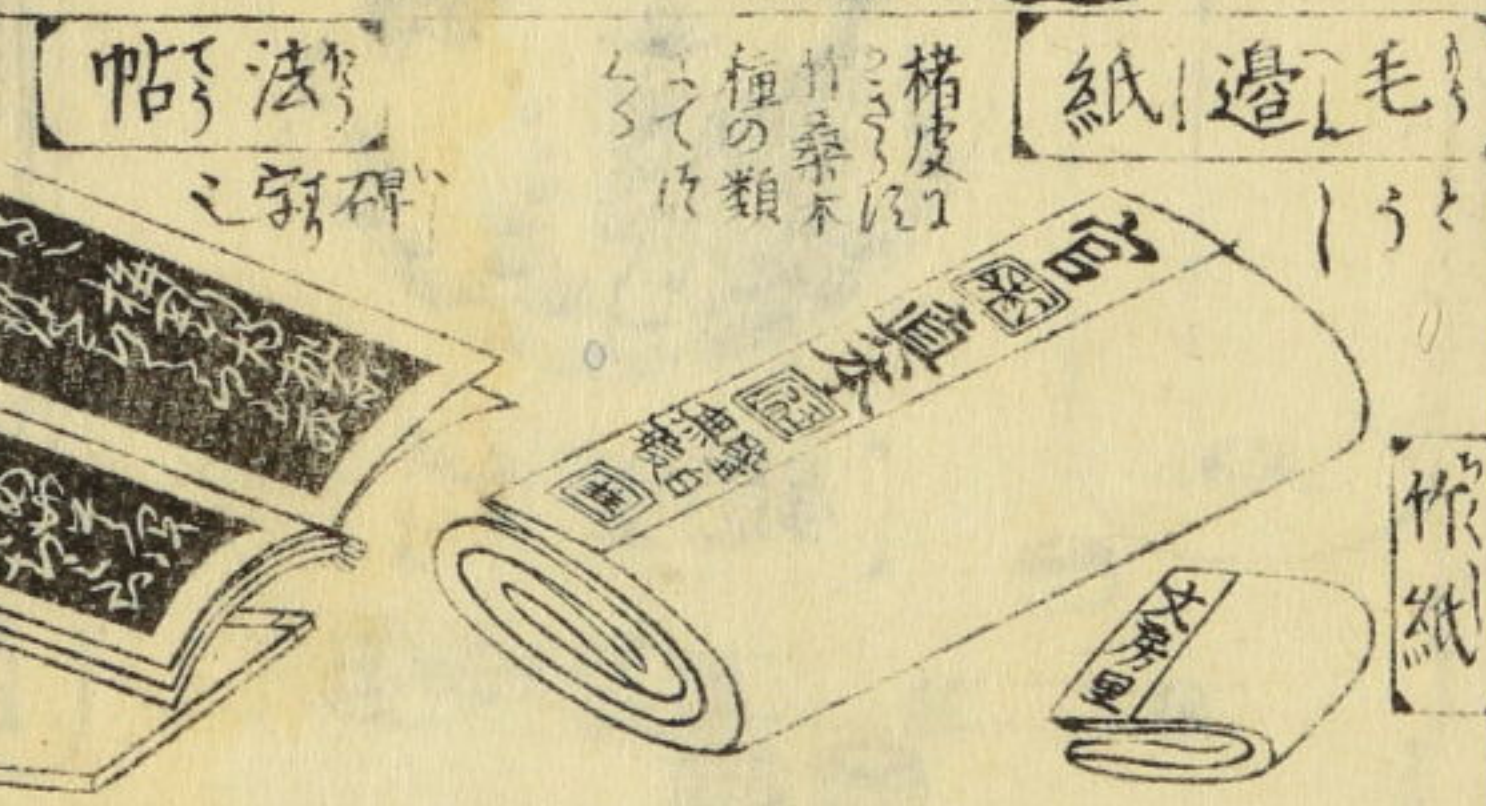
山色淡々
岫峯高四
方に都府
の如く
八分
六寸
上
一
石



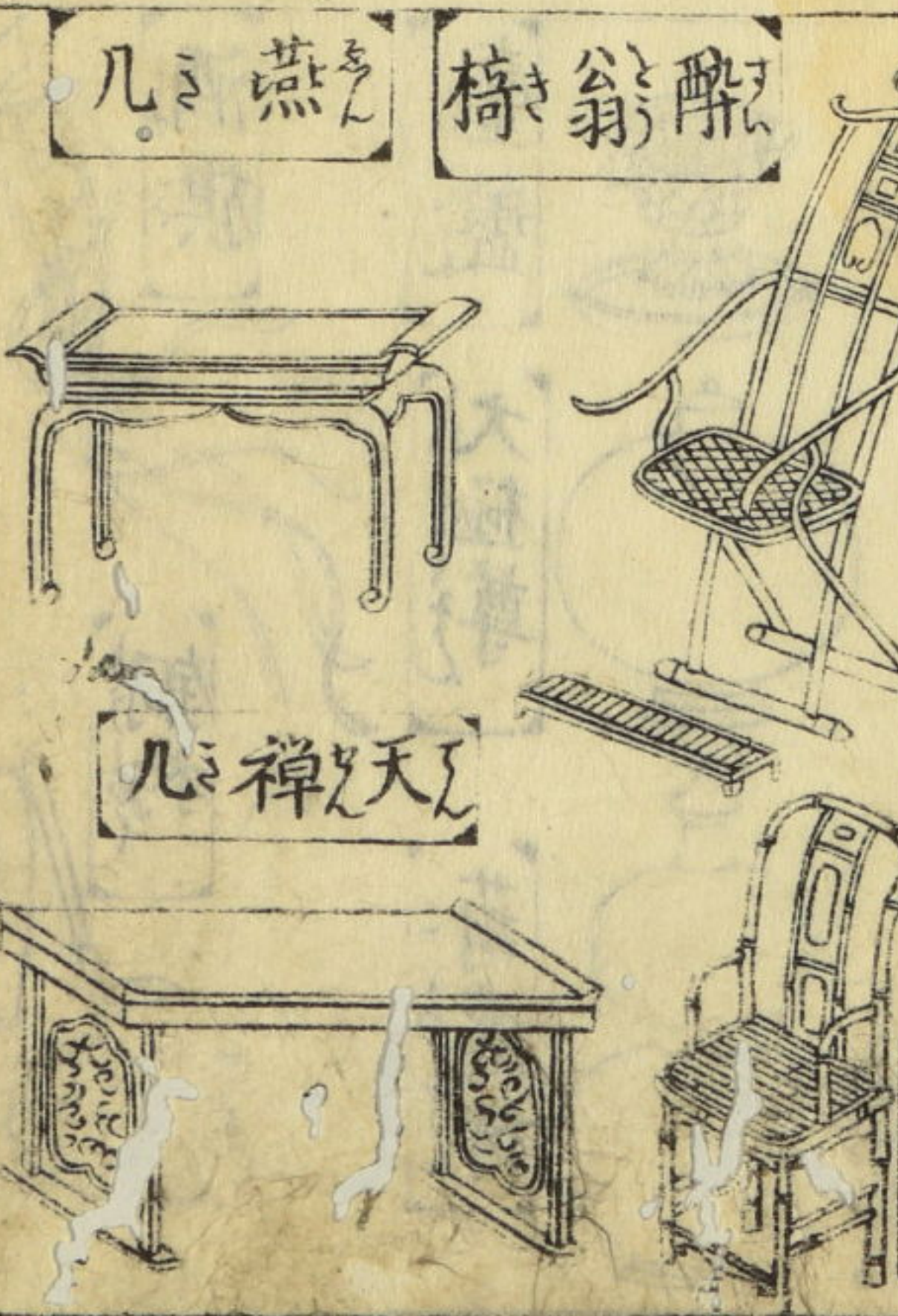
将樂研山
色白く
研面同
一長八
寸五分
寸五分
盆石敷
文房乃
好



石 凍
鳥 籠 糸 罫

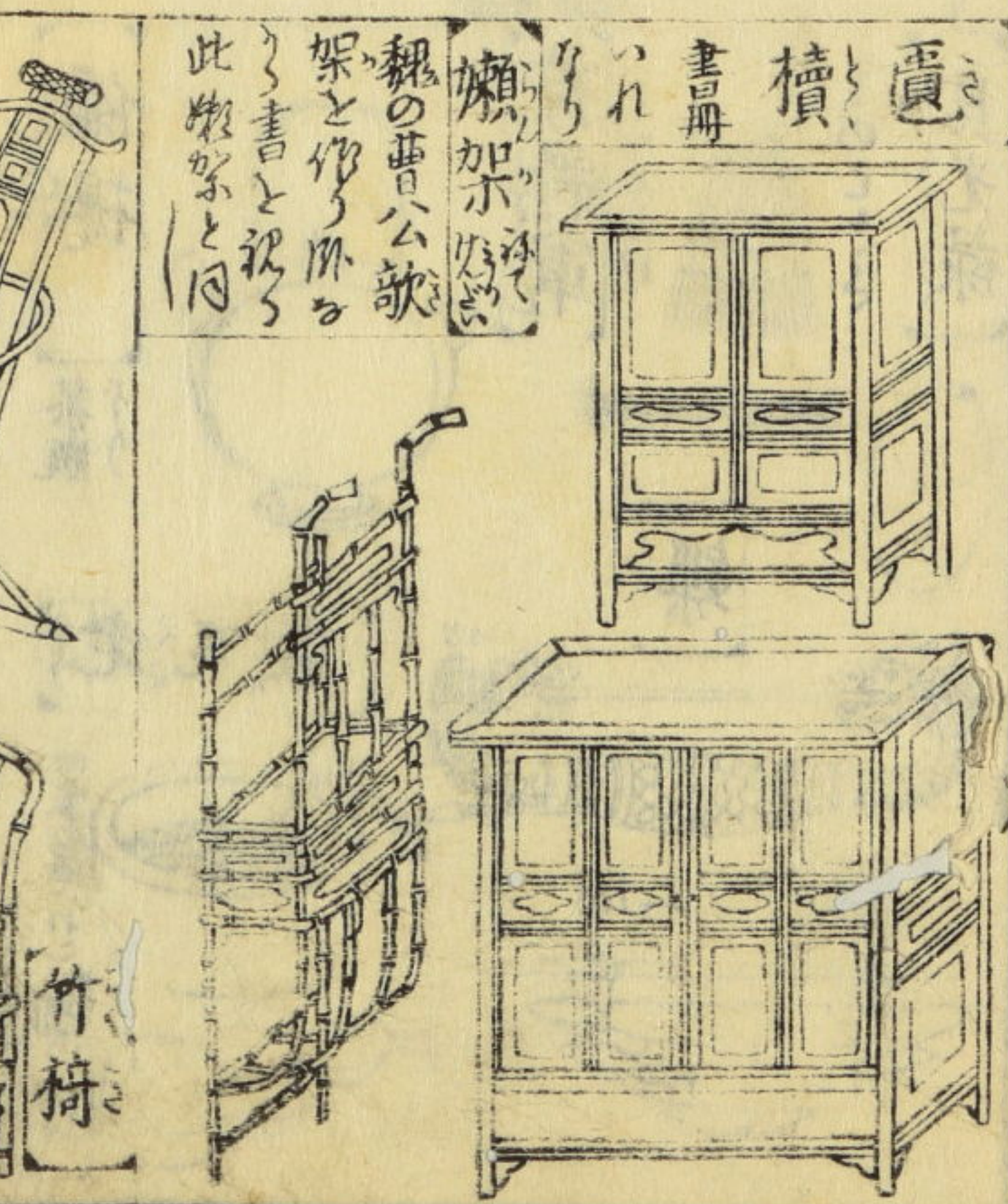


紙 邊 毛
楮皮
種類
之類



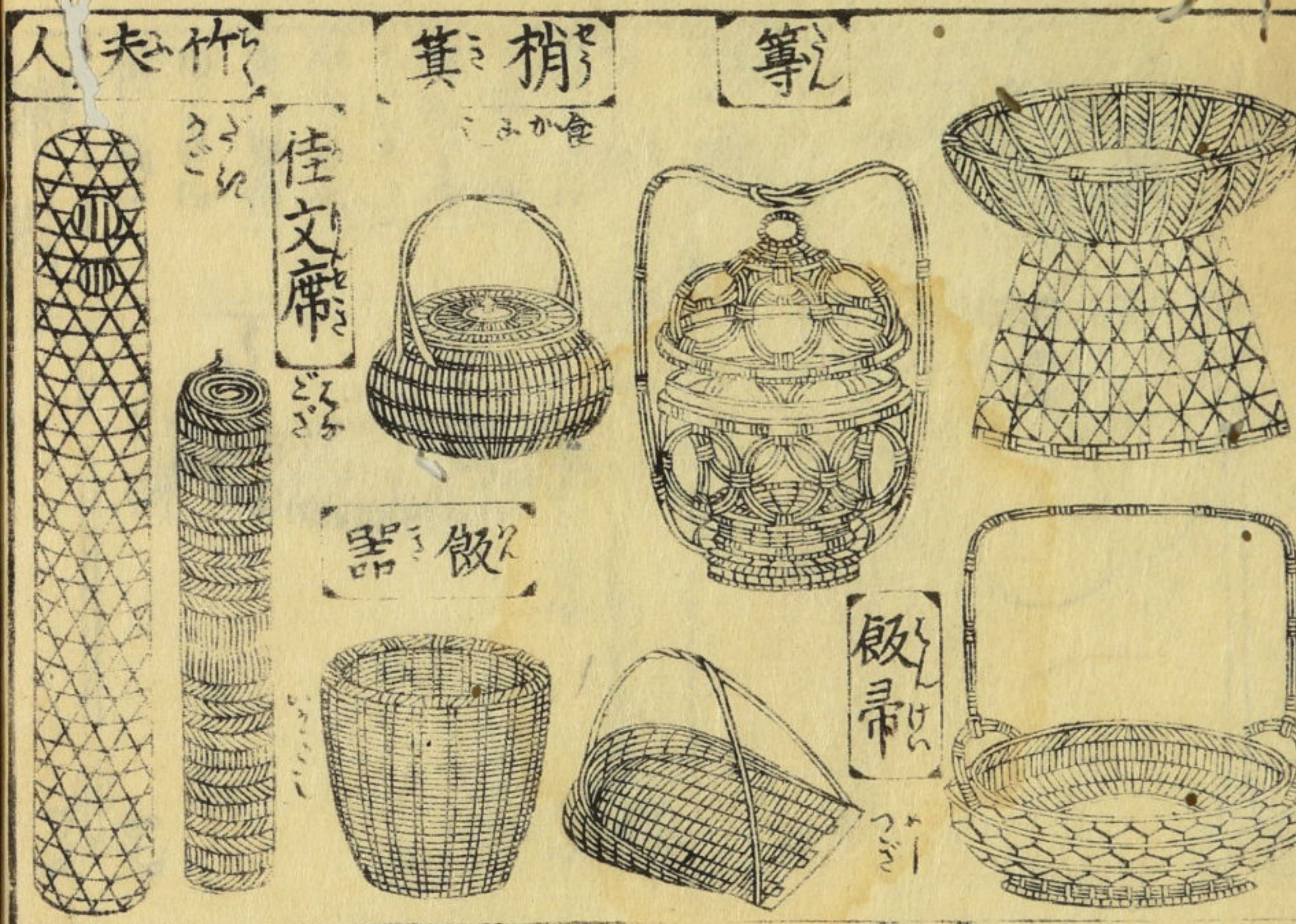
几 燕 窩
椅 翁 醉

几 禪 天



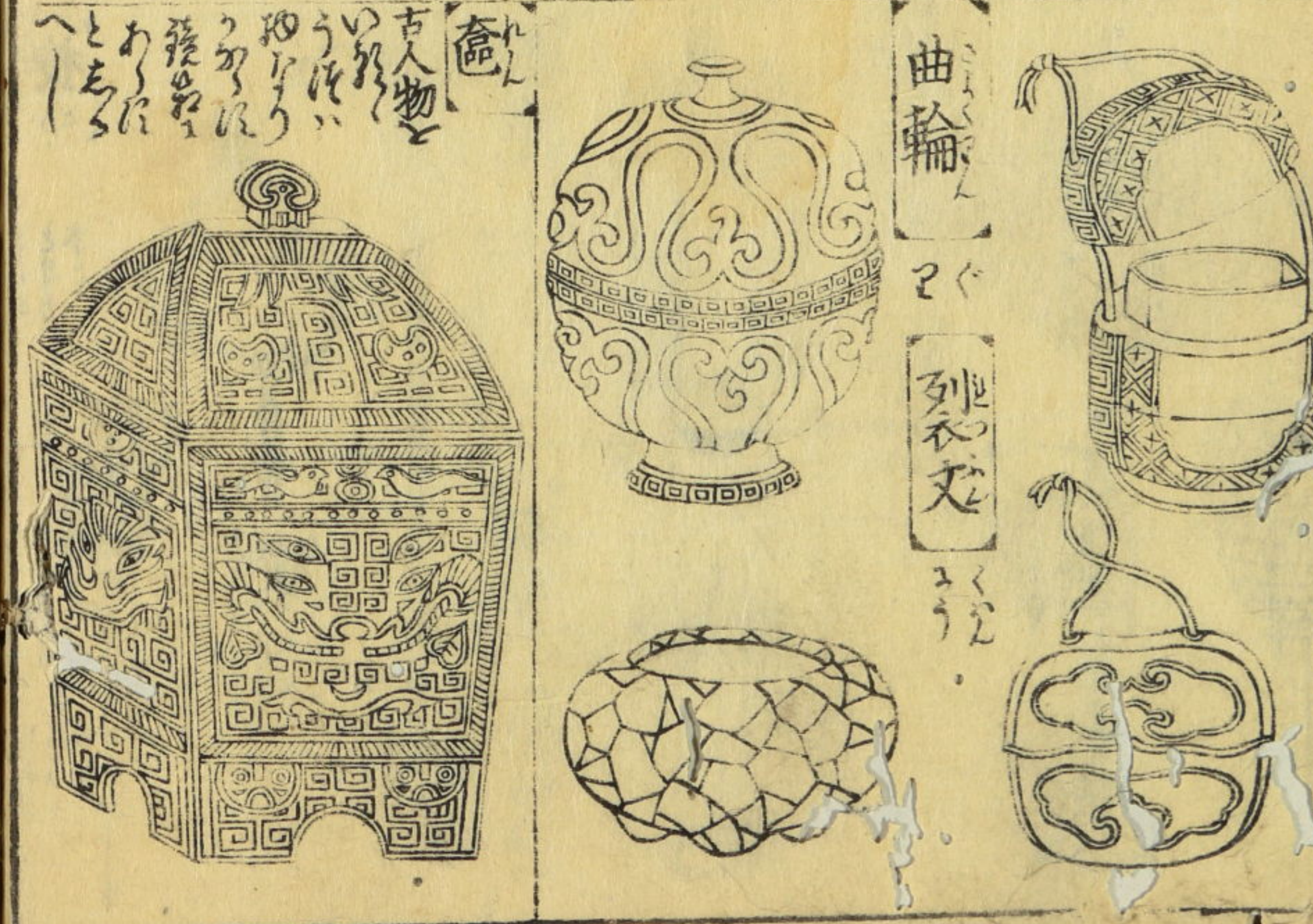
書 櫃 積 賈
懶 架
魏の曹公歌
架と仰ぐ外
書と視る
此物架と同

竹 椅



人 夫 竹
箕 梢
箒

佳 文 席
器 飯
飯 帚

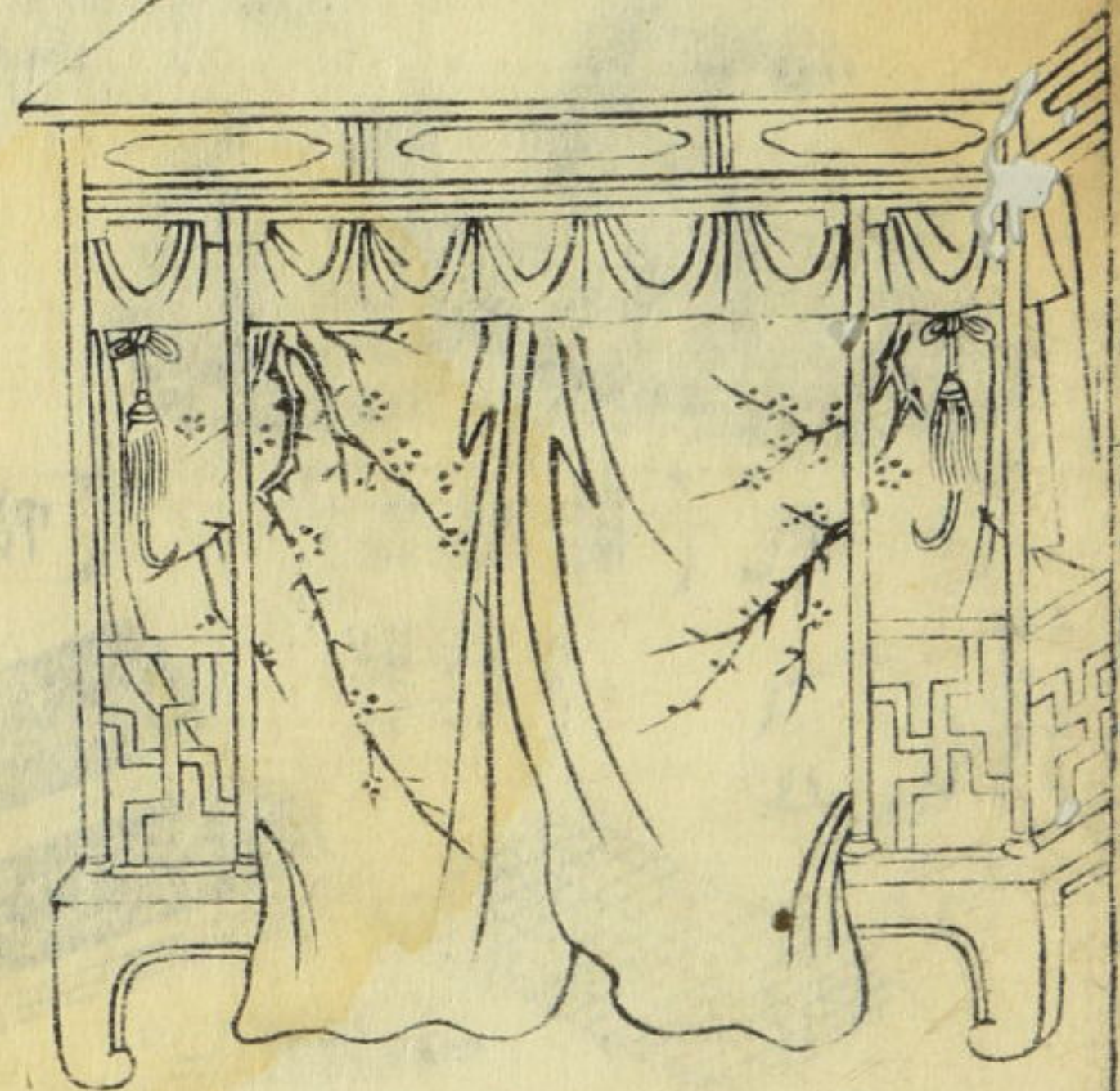


匱
曲 輪
列 衣 文

藥 瓢
挾 囊

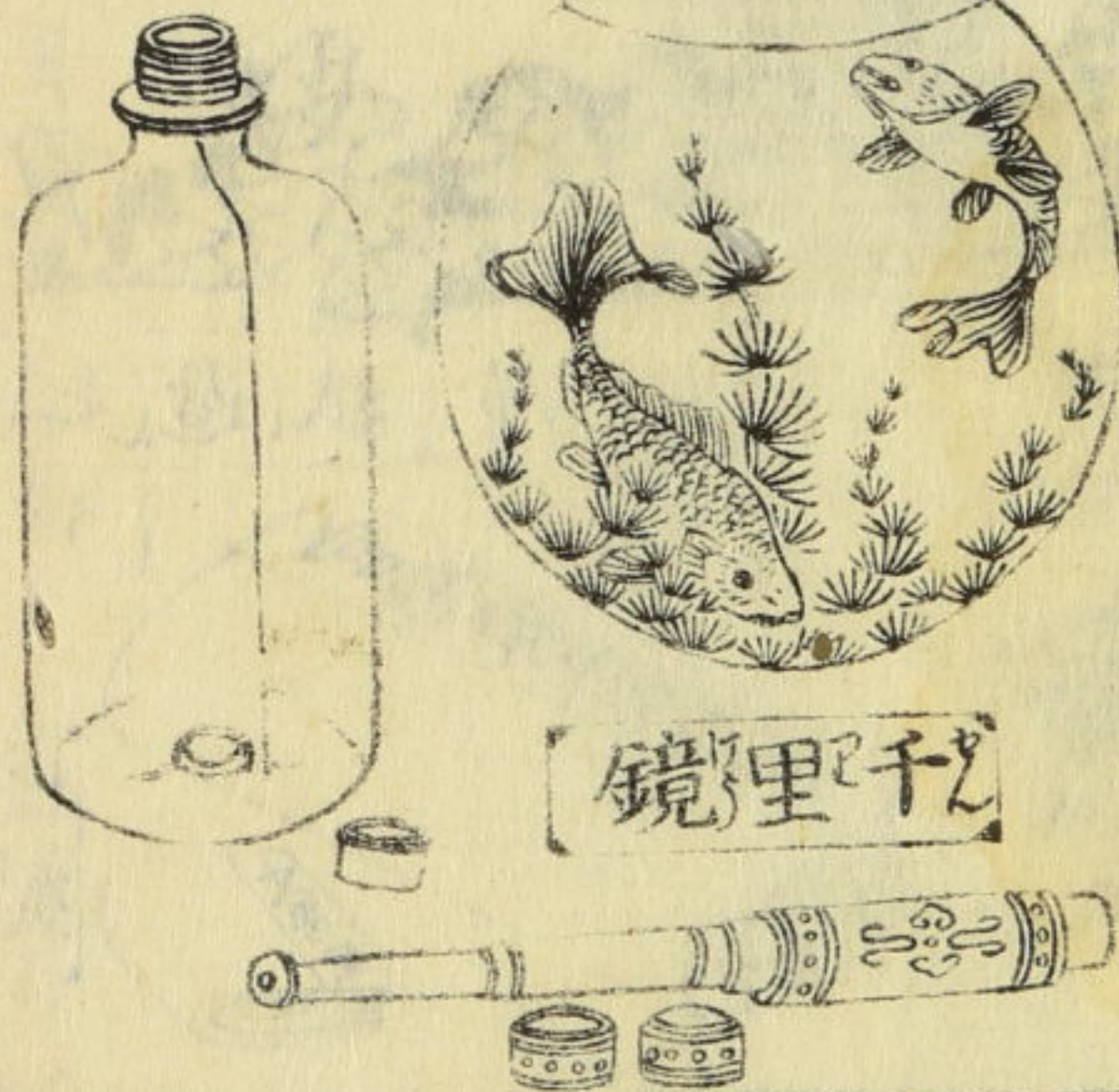
竹 構
鳥 府
藥 瓢
挾 囊

帳床



倒鼈氣

一名海水精
和名海鏡
北条より
水と入て
硝子
佛郎
別



鏡里千

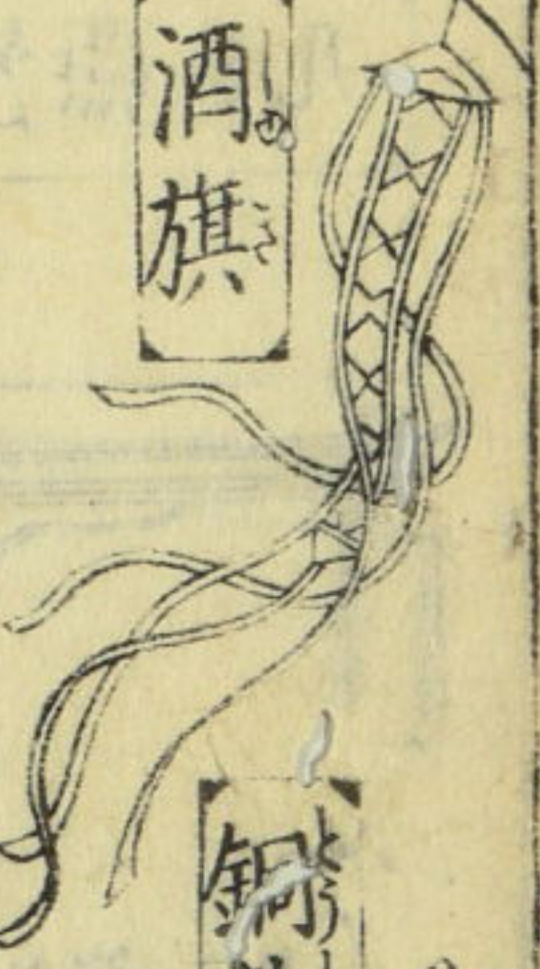
秋蟲織類



桑梯



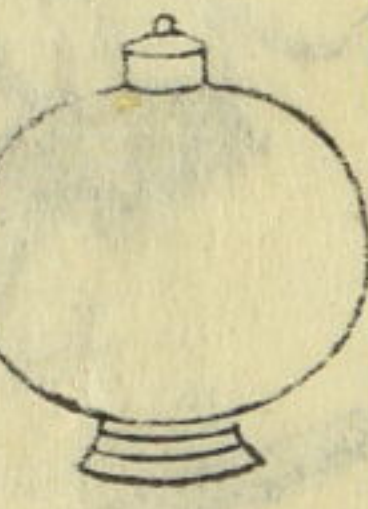
酒旗



臺盤



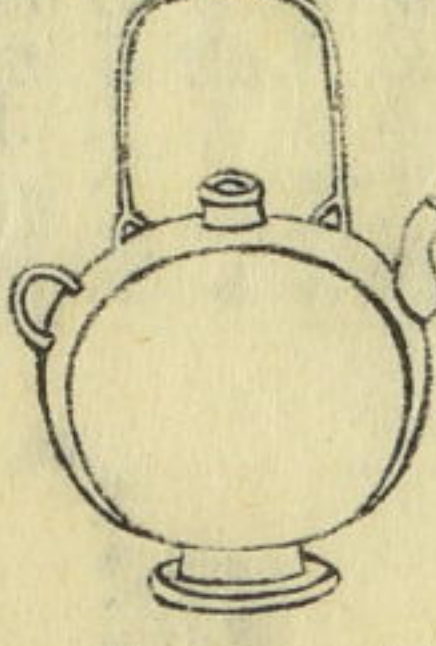
大極尊



甘藷樽



偏提



茶瓶

盆瓦老



田家の酒ハレハ
瓢杯

棕將軍



貝光祿

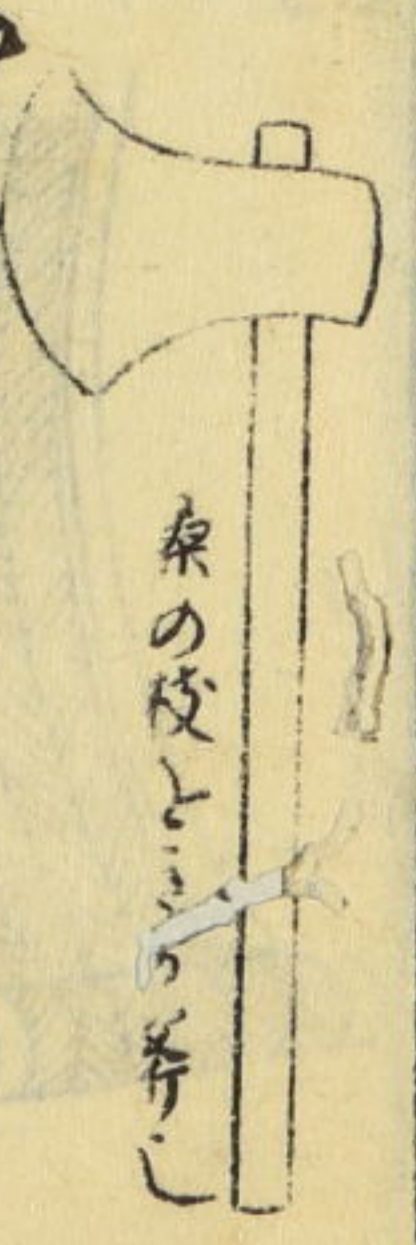


鑊



上同

斧斫

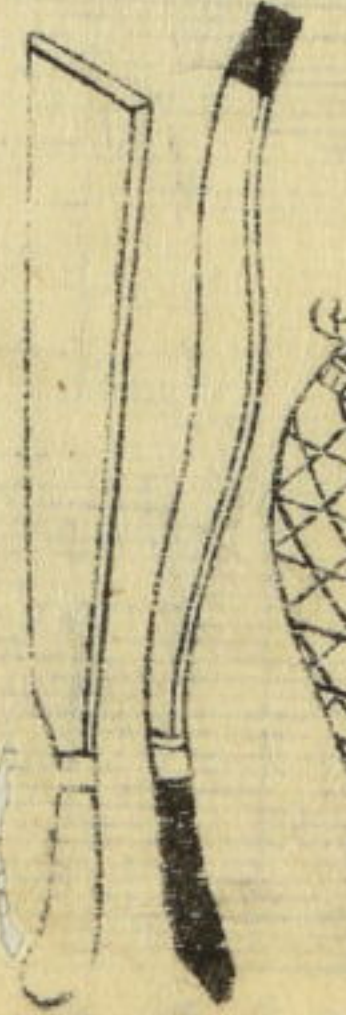


桑の枝とミヤギ

桑鉤



切刀



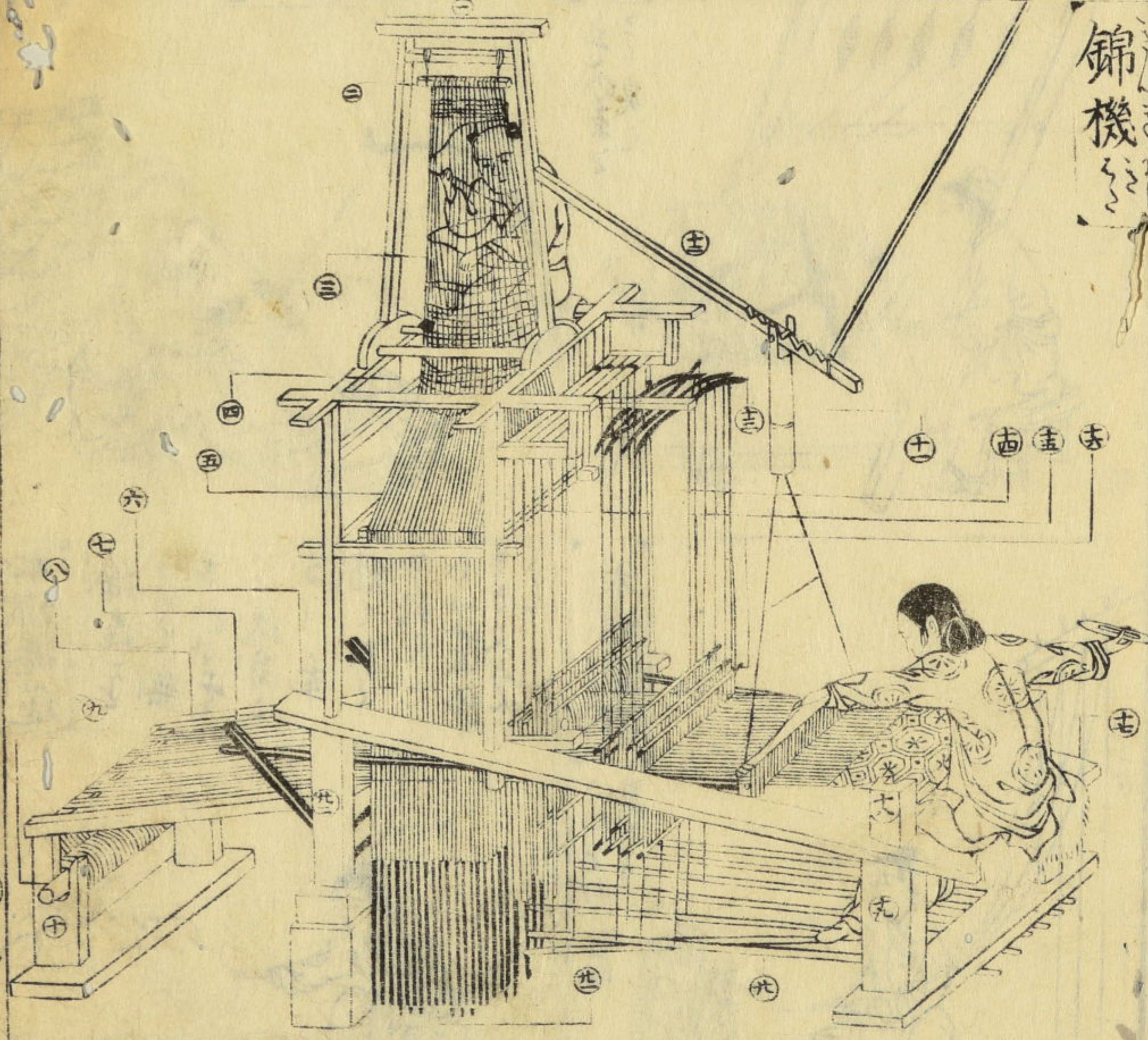
桑網



桑のしと
あし
さし

機具相文
 一 トリキ
 二 モンキ
 三 スンホ
 四 ロクノ
 五 ヘダナ
 六 キシヤウ
 七 ヒキエ
 八 シツギ
 九 キキリ
 十 ハレカミ
 十一 ヤリヤサ
 十二 ヲサツリ
 十三 ヲサツリ
 十四 ヲサツリ
 十五 ヲサツリ
 十六 ヲサツリ
 十七 ヲサツリ
 十八 ヲサツリ
 十九 ヲサツリ
 二十 ヲサツリ

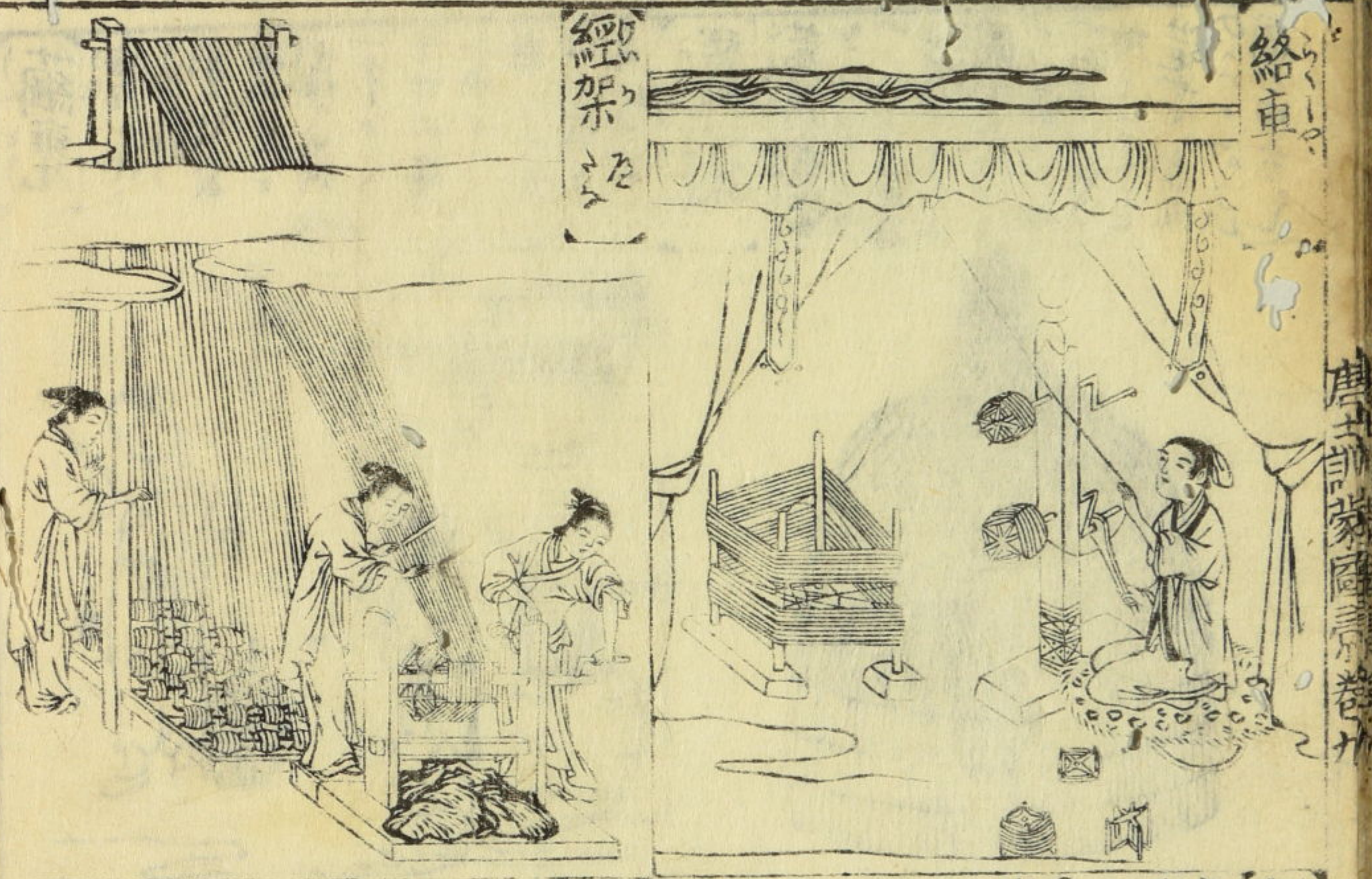
錦機



それ機は
 の后始て織
 の功と遂に
 の一の子育
 多の機は人
 多く及代ハ
 器して二人
 と其の機は
 を織とい
 機といふ
 け機工と水
 人いお文乃
 和名とて云
 へし

唐土前葉圖景卷九

九



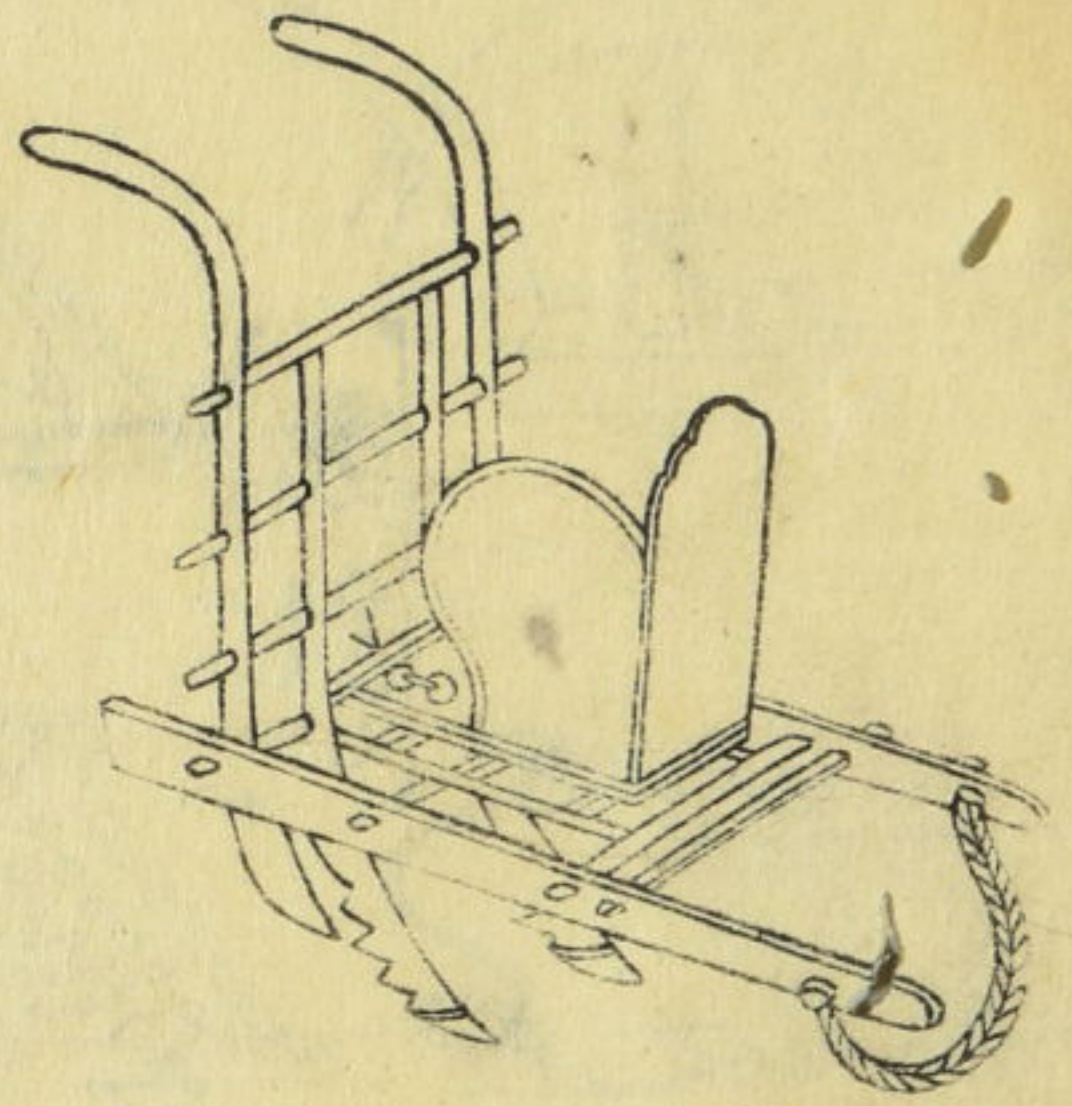
絡車

唐土前葉圖景卷九

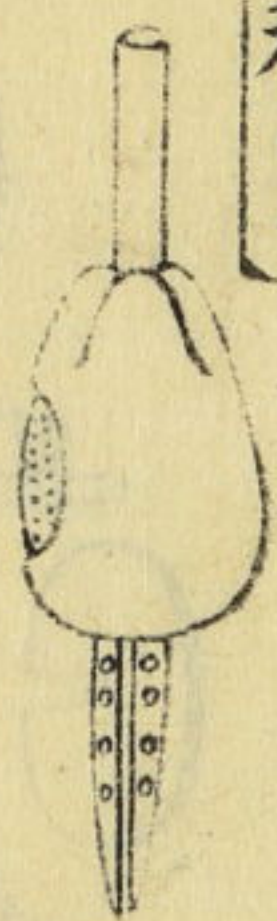
綿知 かりざり
 凡 登 織 の 類 と 見 ら れ る 多
 お の 別 葉 圖 景 の せ ら れ ば
 ら ず そ の ち ぎ ざ り と せ
 好 事 の 人 々 へ せ ざ り ぬ

黄紫滑車
 滑車
 滑車

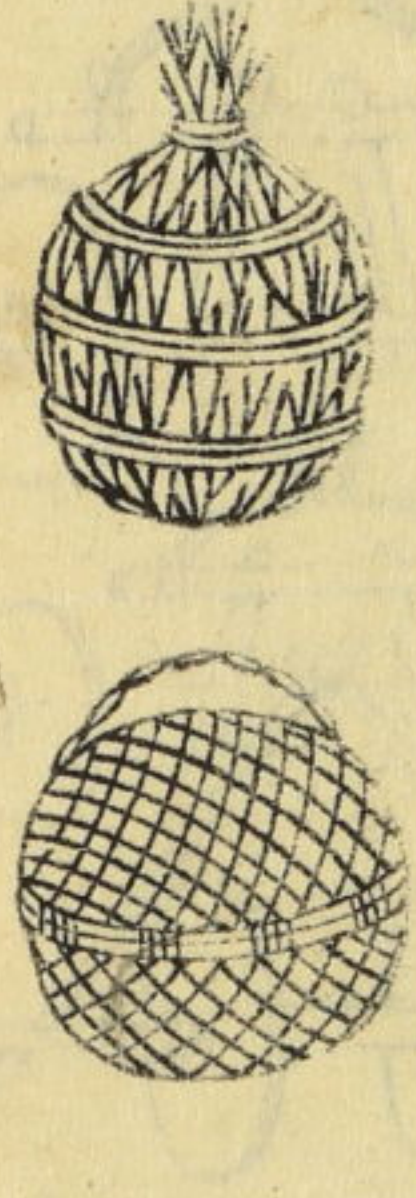
箕車
しほりま
具し



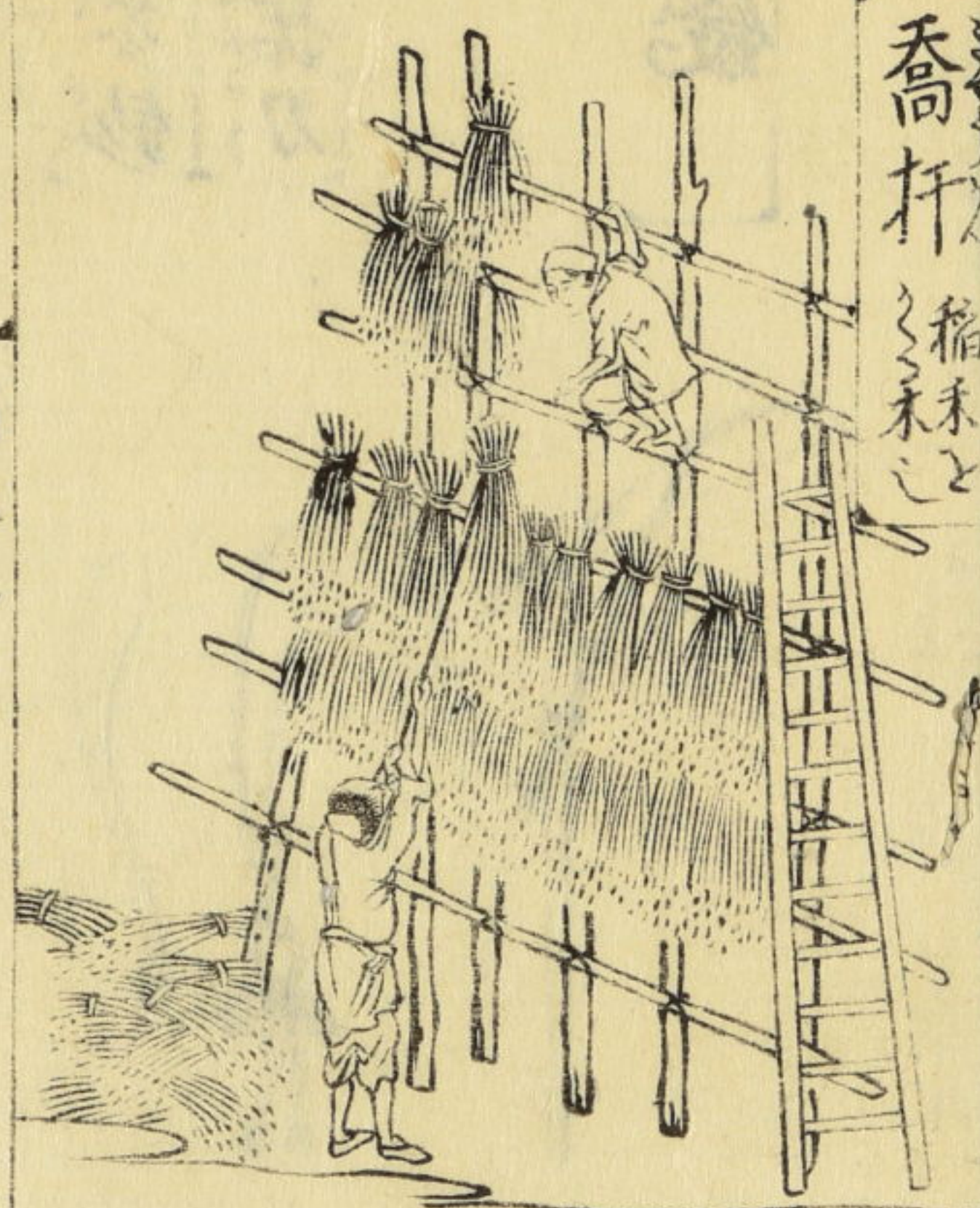
躰盤
たいばん



瓠種
かぶたね



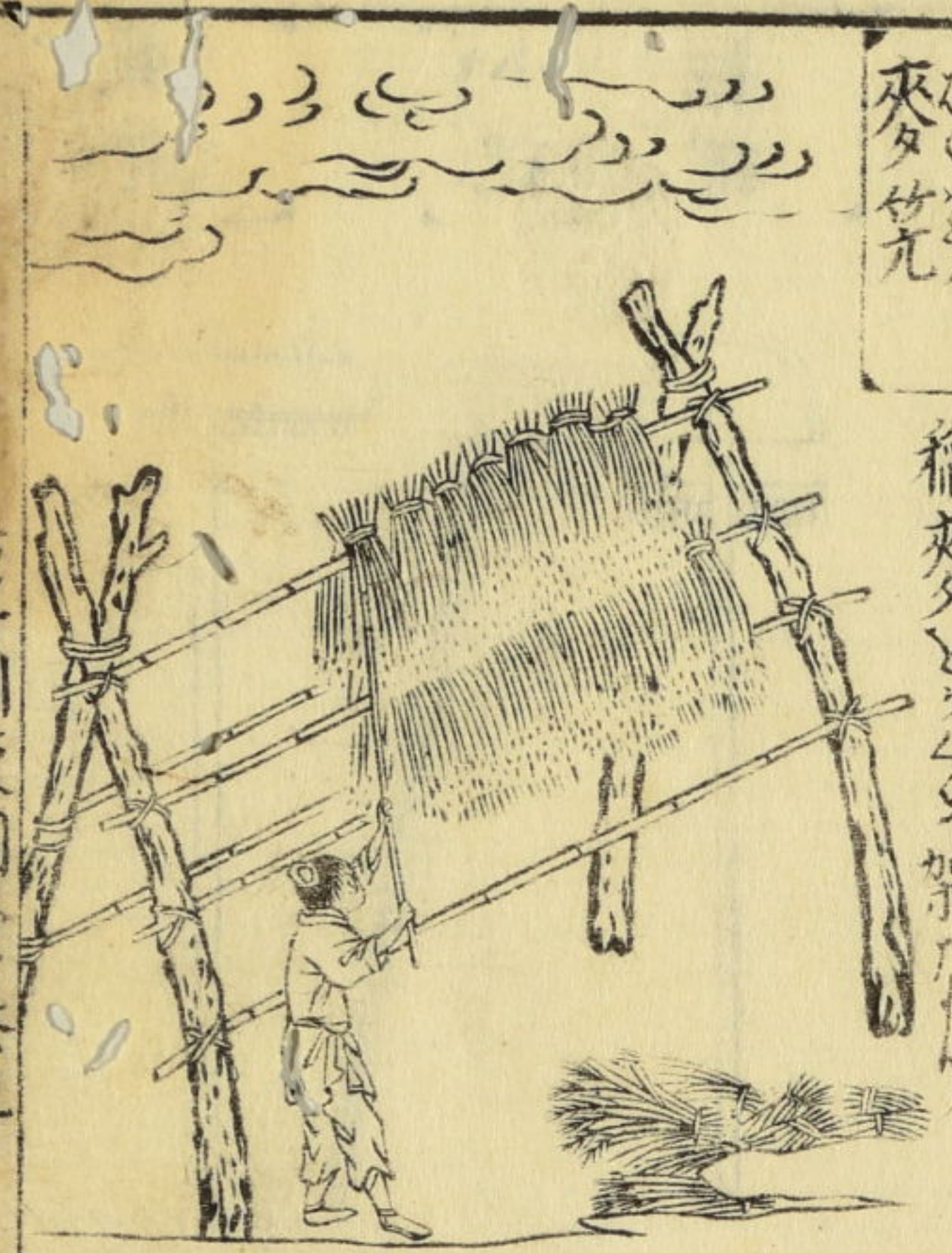
種簞
たねざん



喬杆
たけざら
稲米と

夾竹
くわさく

稻夾
いなくわ



疋馬
ぢば
田の種とて時
うまき衣のす
そとこしむ具

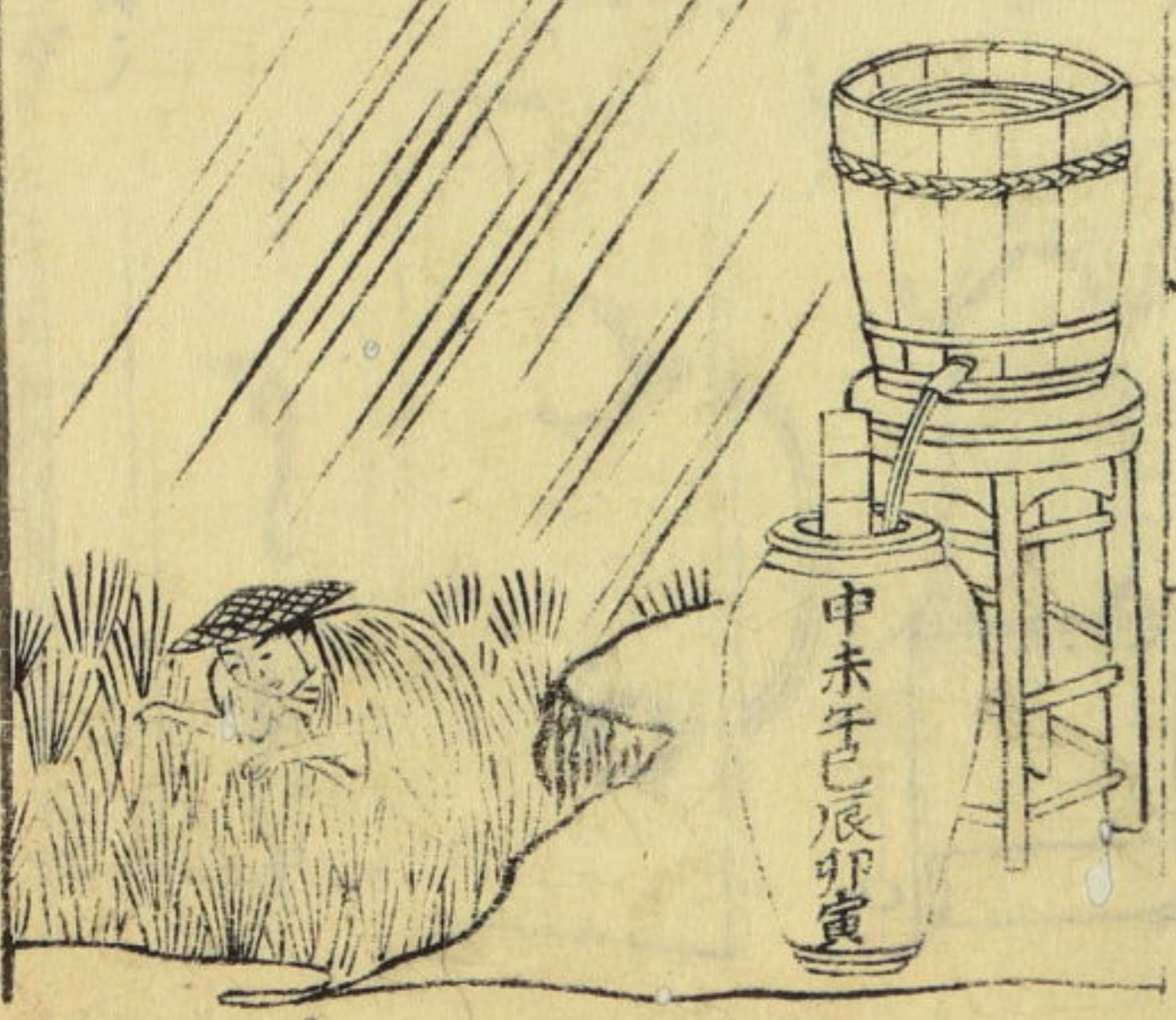


秧馬
えいば
泥田に秧を
うめぬ
のこものこ



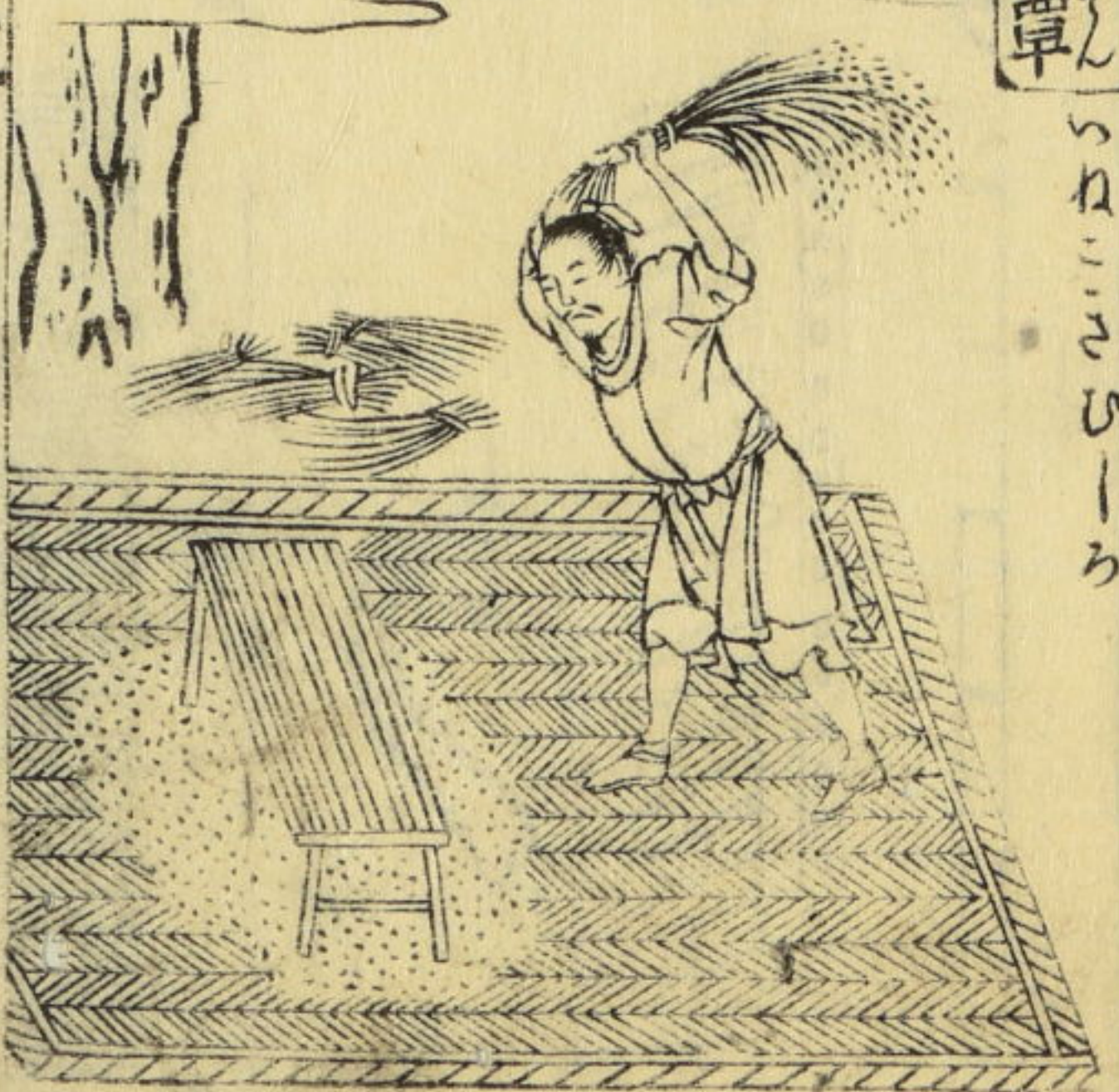
田漏
たぬ

農家子用
てつ割とこ
うろ番かん
其制壺内
かまをまて
割むと即と
いし壺水下
しほり水と
新てあ浮
とにハ割
わつとこし



攪稻簞
かきざん

いねこさびら



竹師穀籬
たけしやくせき

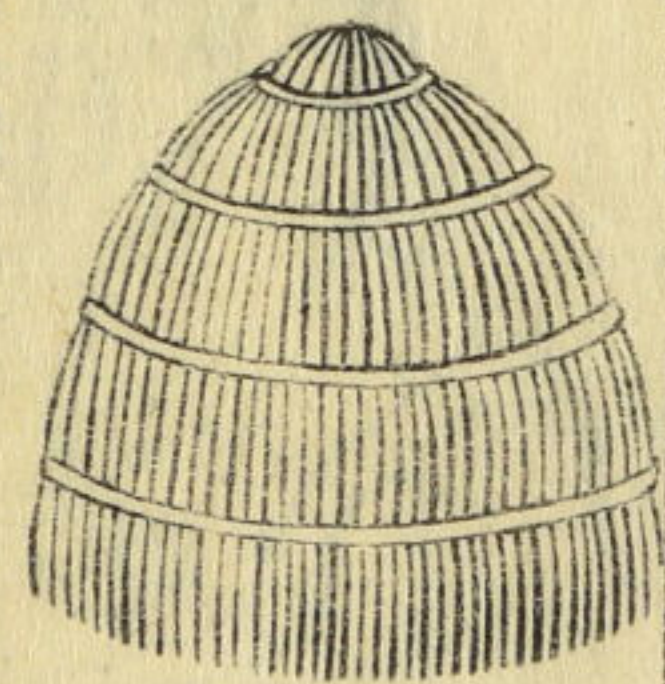
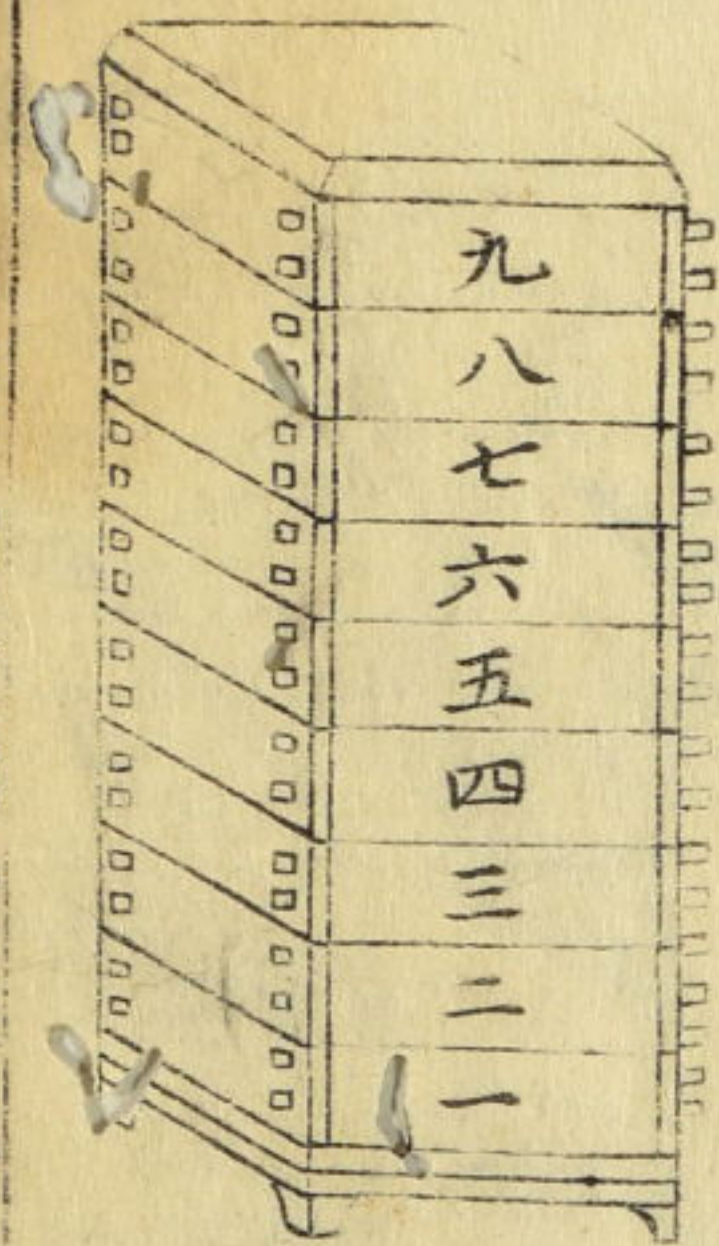


穀匣

積苜
あひまの
あひ

龍麥

綿麥



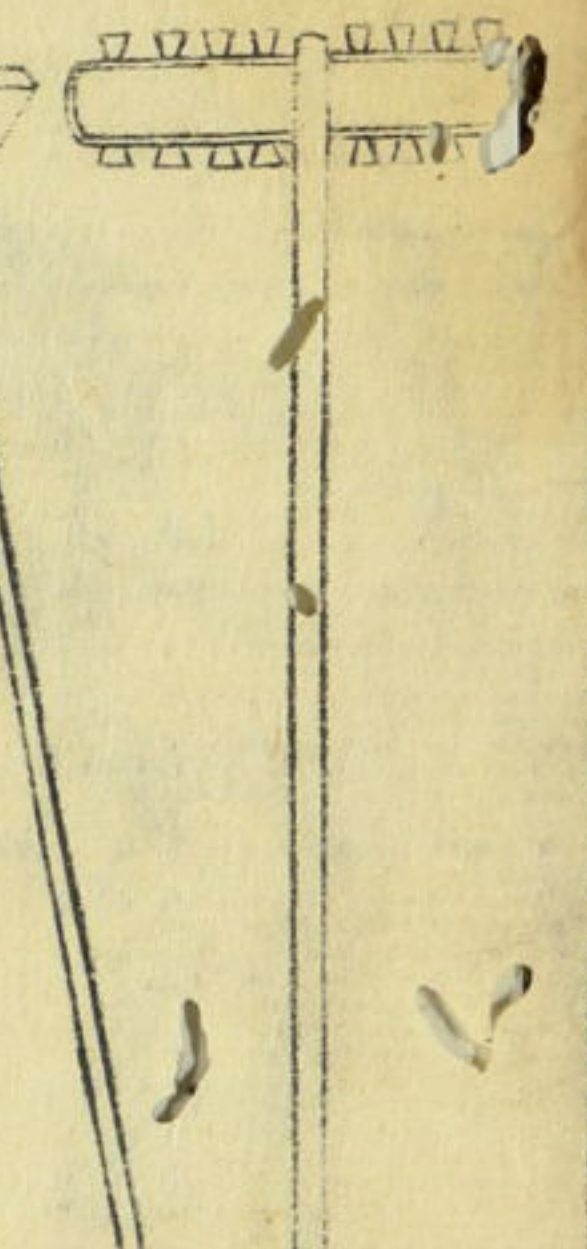
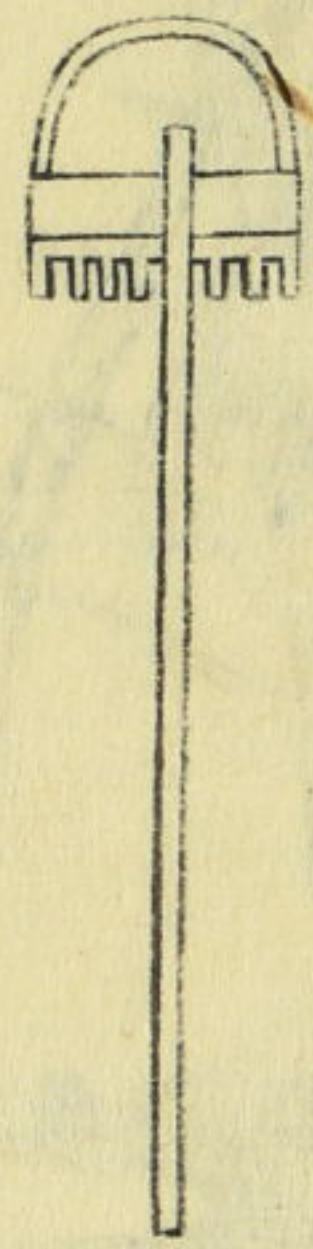
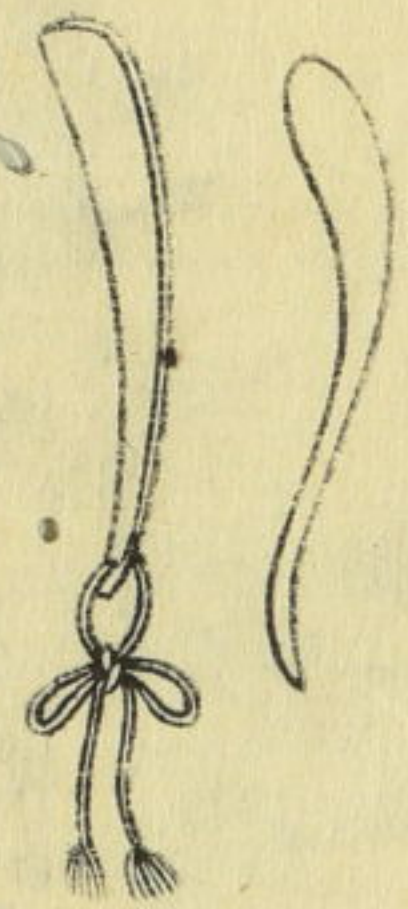
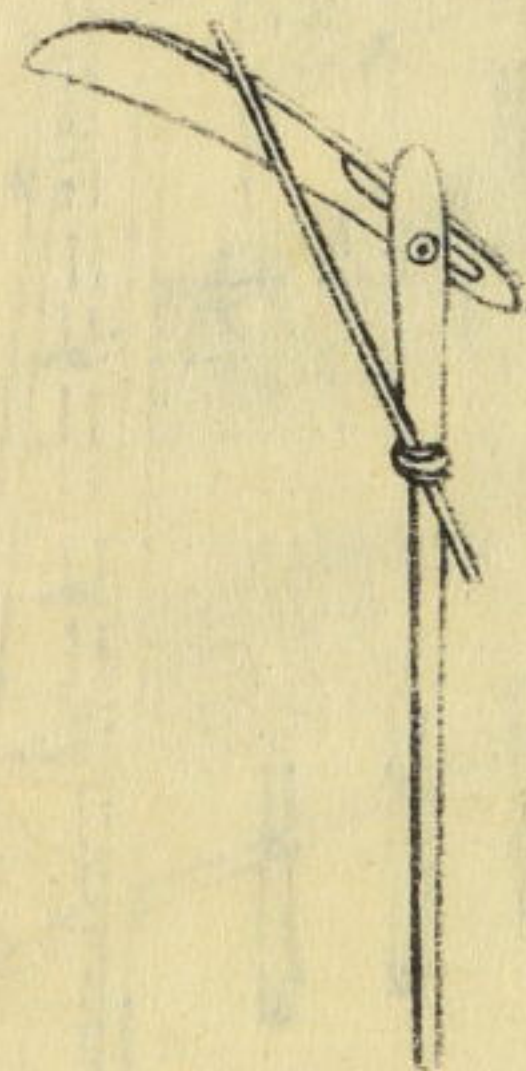
鋨

麥鋤
鋤刀

耘把

小把

穀把



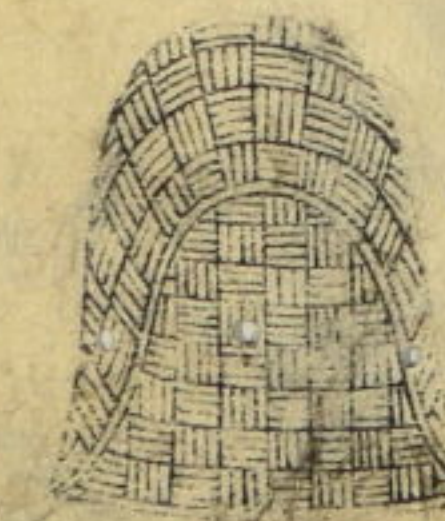
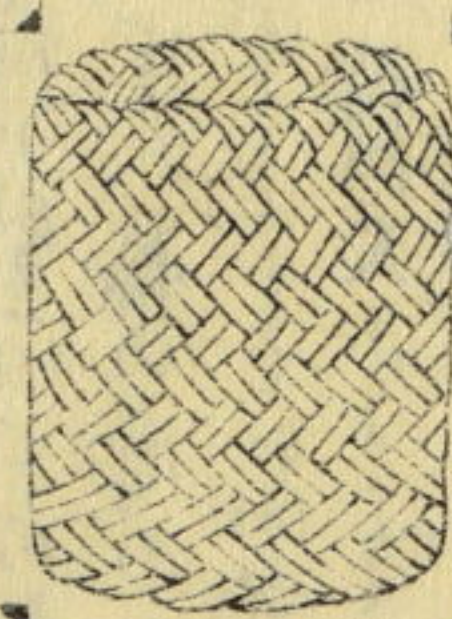
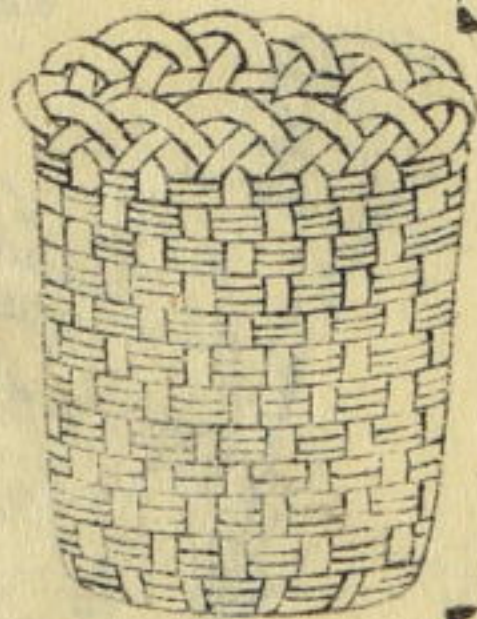
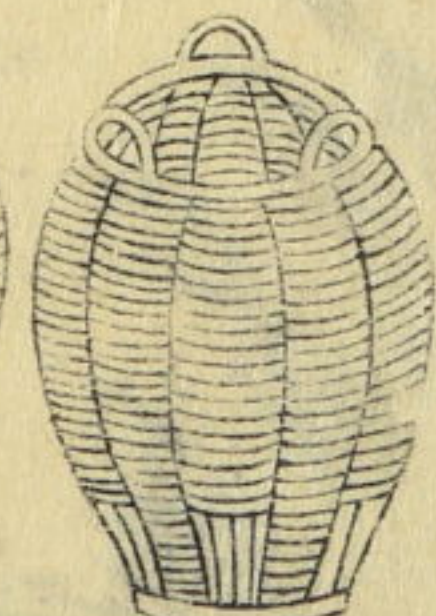
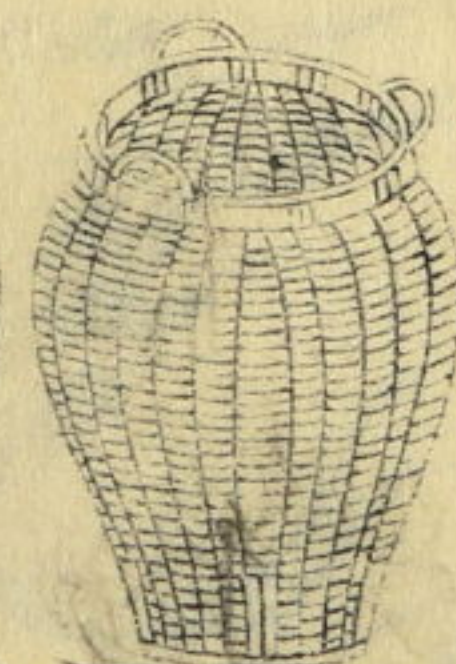
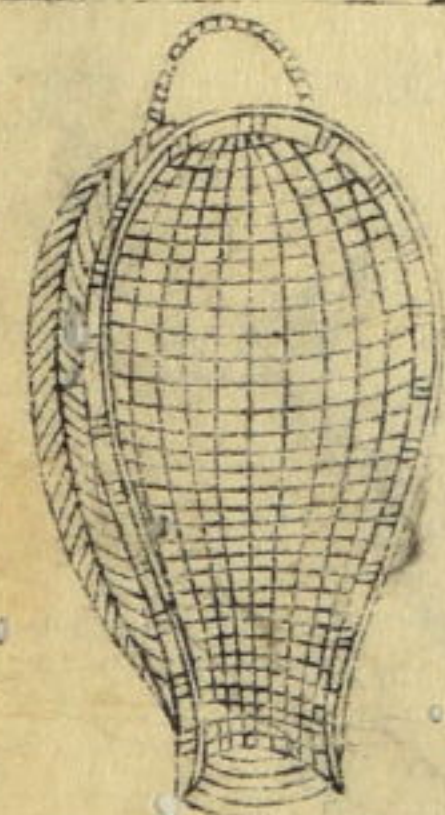
籃風

簍

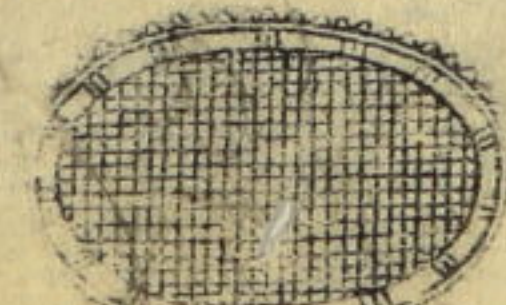
籃維

簍

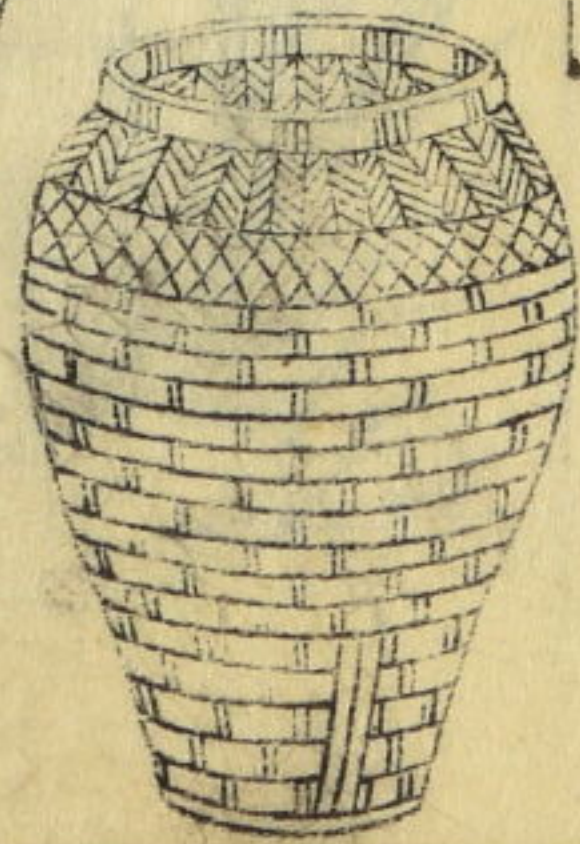
筥



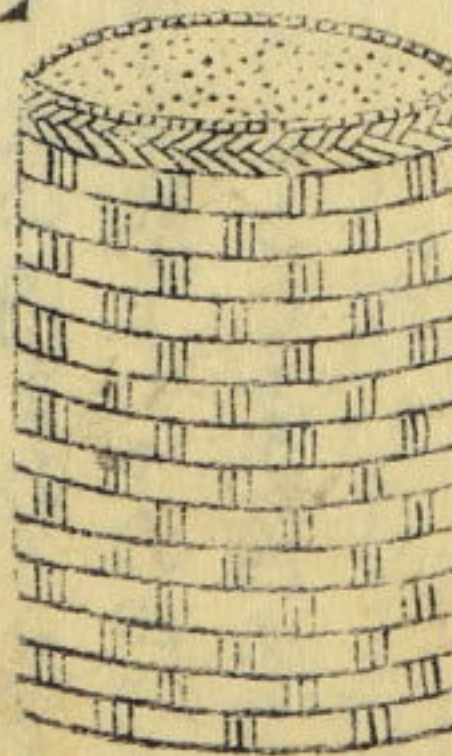
鹿角藪



簍



簍



團

上に同

抄竿

倒把

秧彈

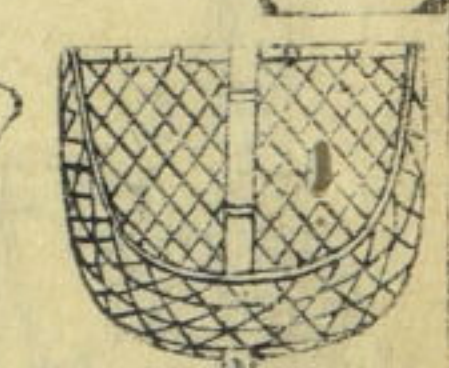
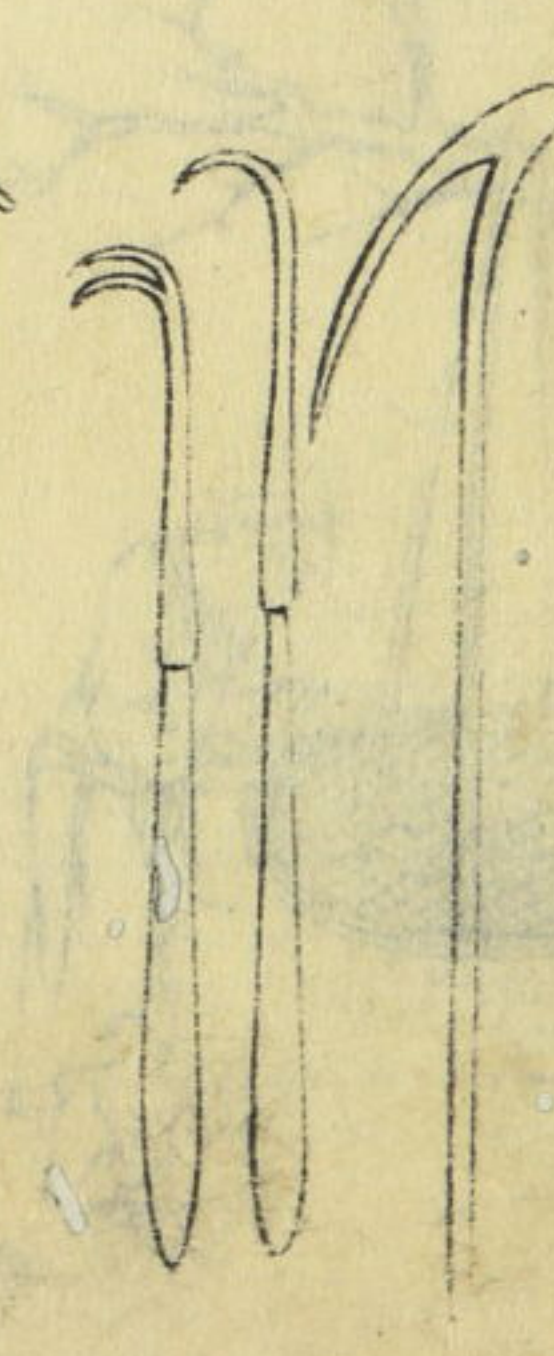
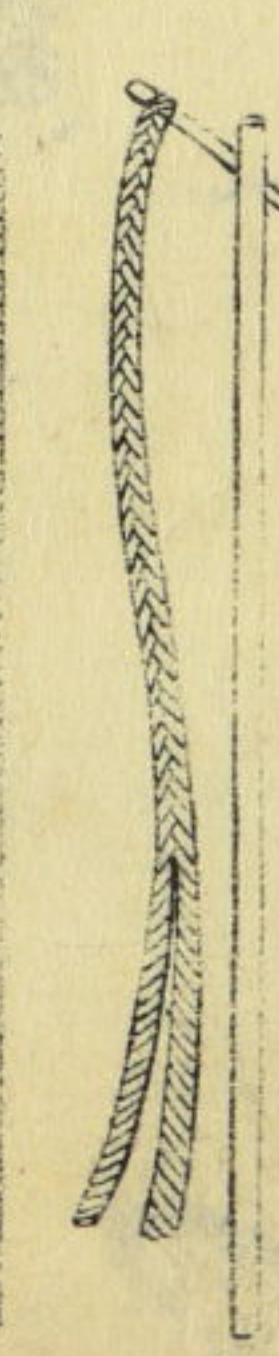
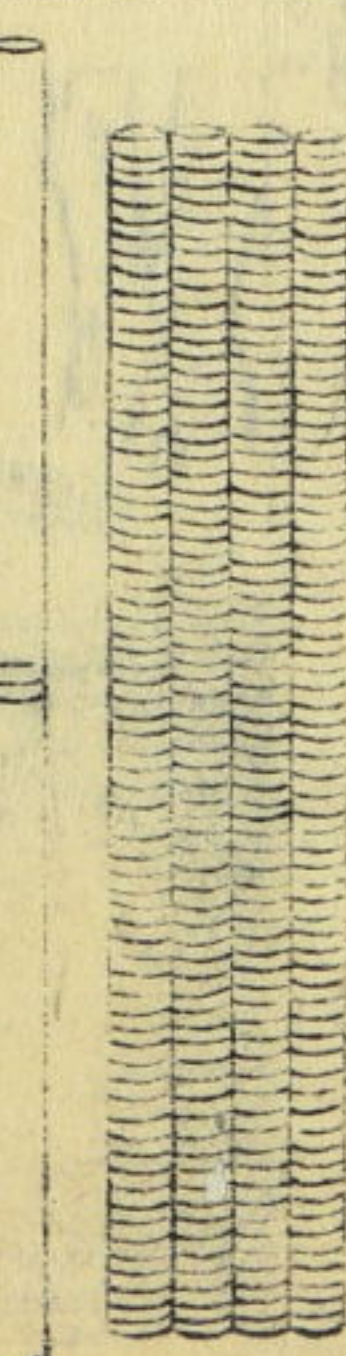
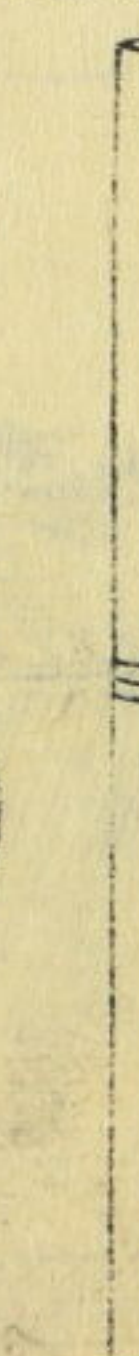
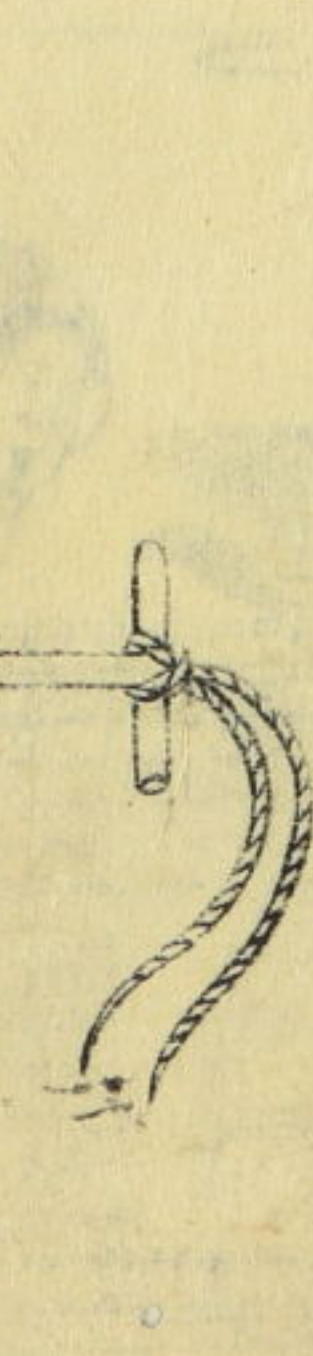
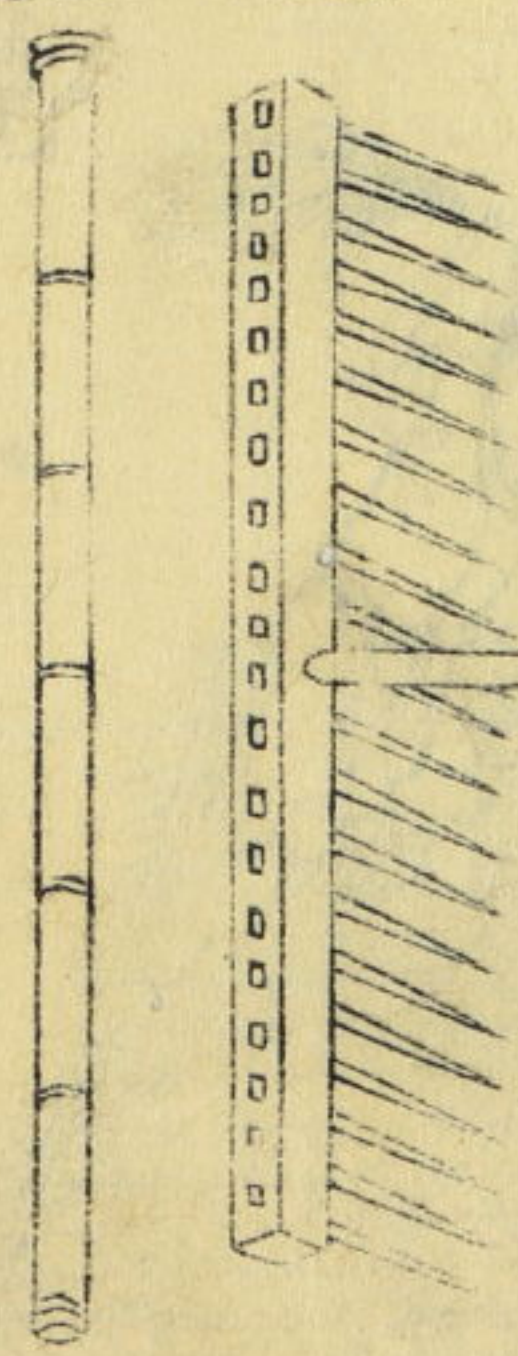
穀盅

呼鞭

搭爪

禾鉤

竹楊杓



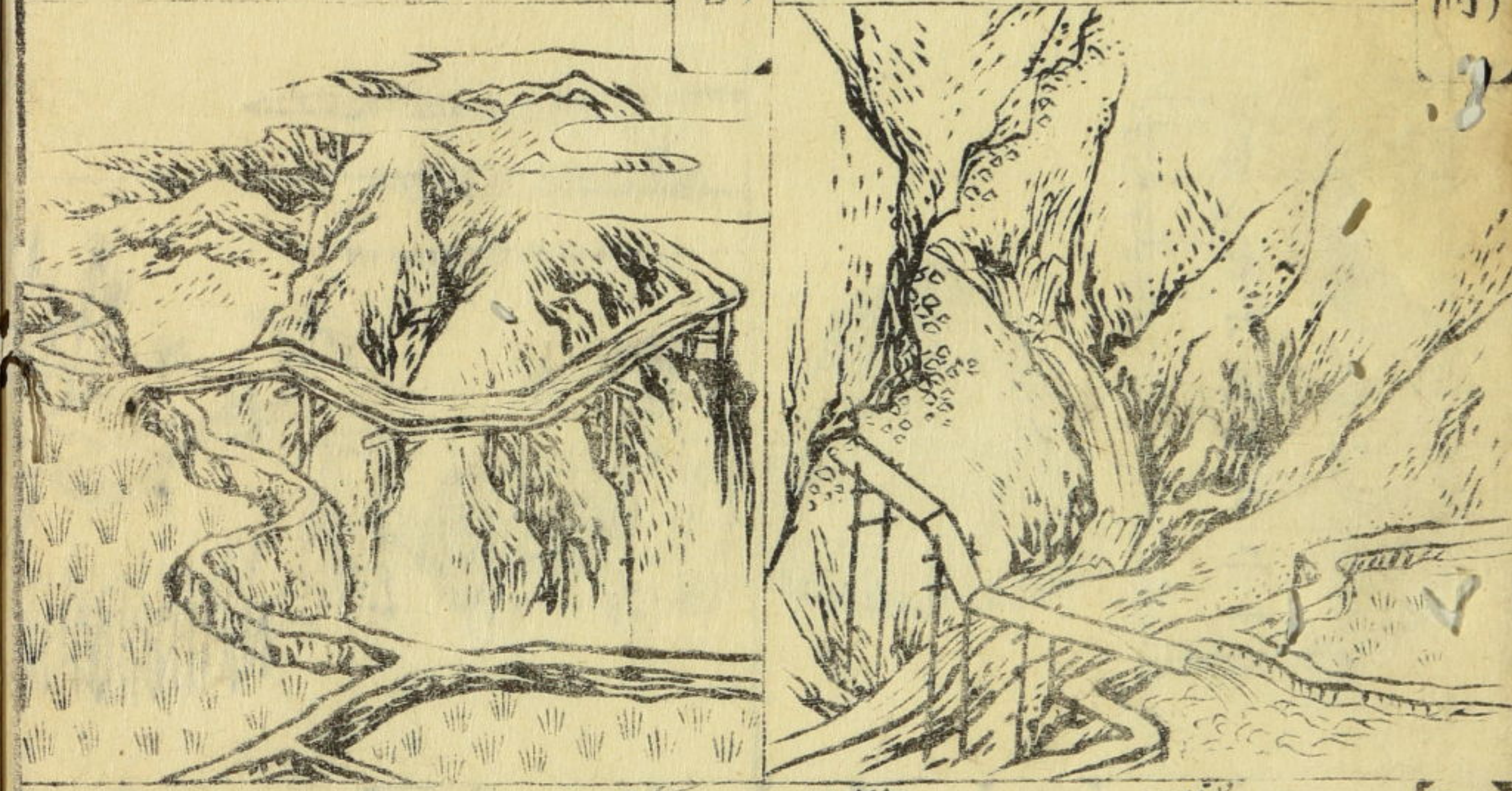
木と木杓と一疾と疾
杓と杓と杓と杓と杓と

木筒

此制法は遠き水とせしめ用ひて

加木槽

いさよ上の木筒と同一の只槽と筒との



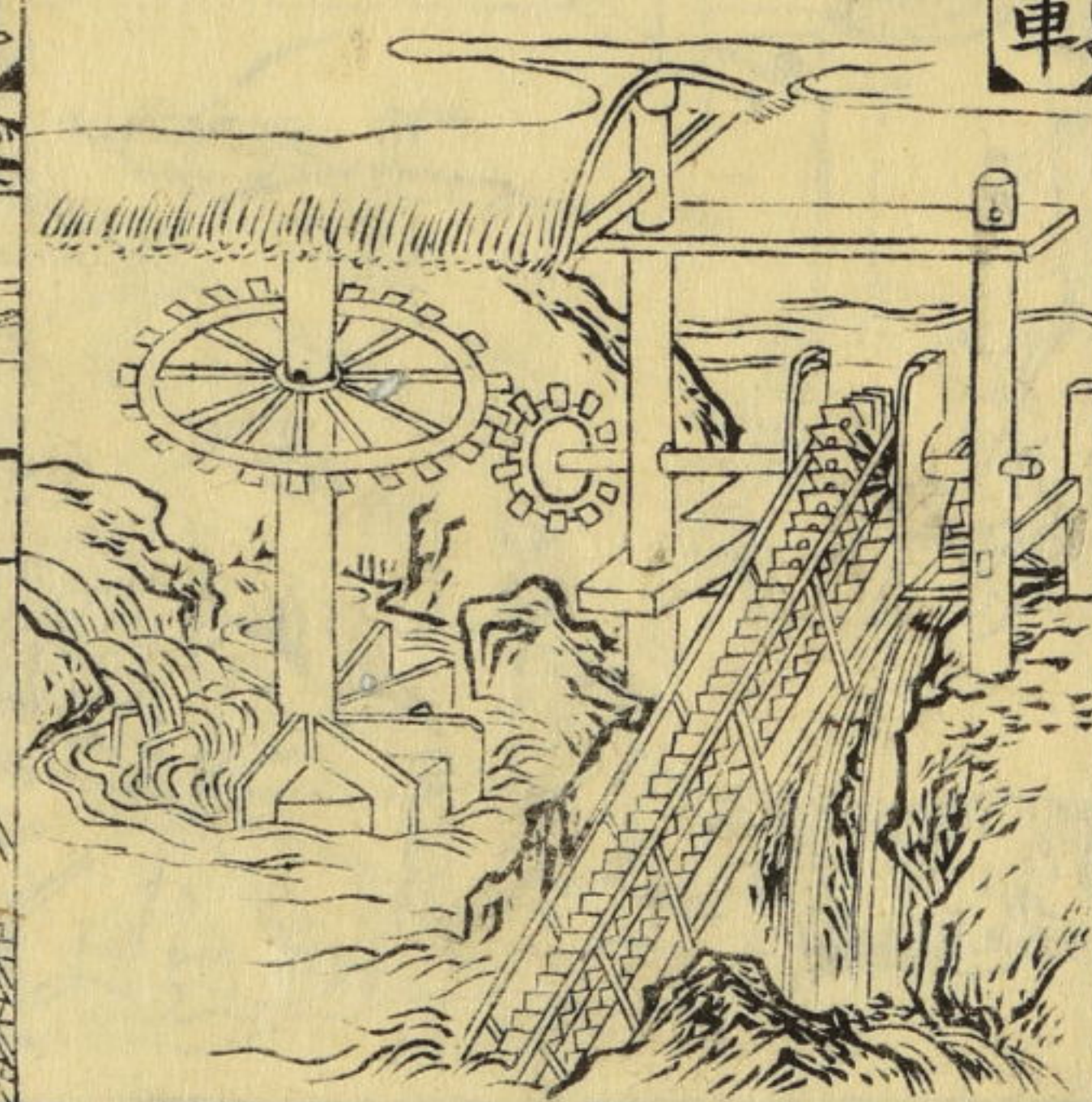
高轉筒車



てこの十丈と準りて上りまよと架し各輪と堅つ下の輪半水の内より輪の後日人輪の厚のみ傍を記しその内と槽のくくして筒索とうろここ索筒のち一尺輪の大ふよろこへい制はるる水とよふたりのるべし

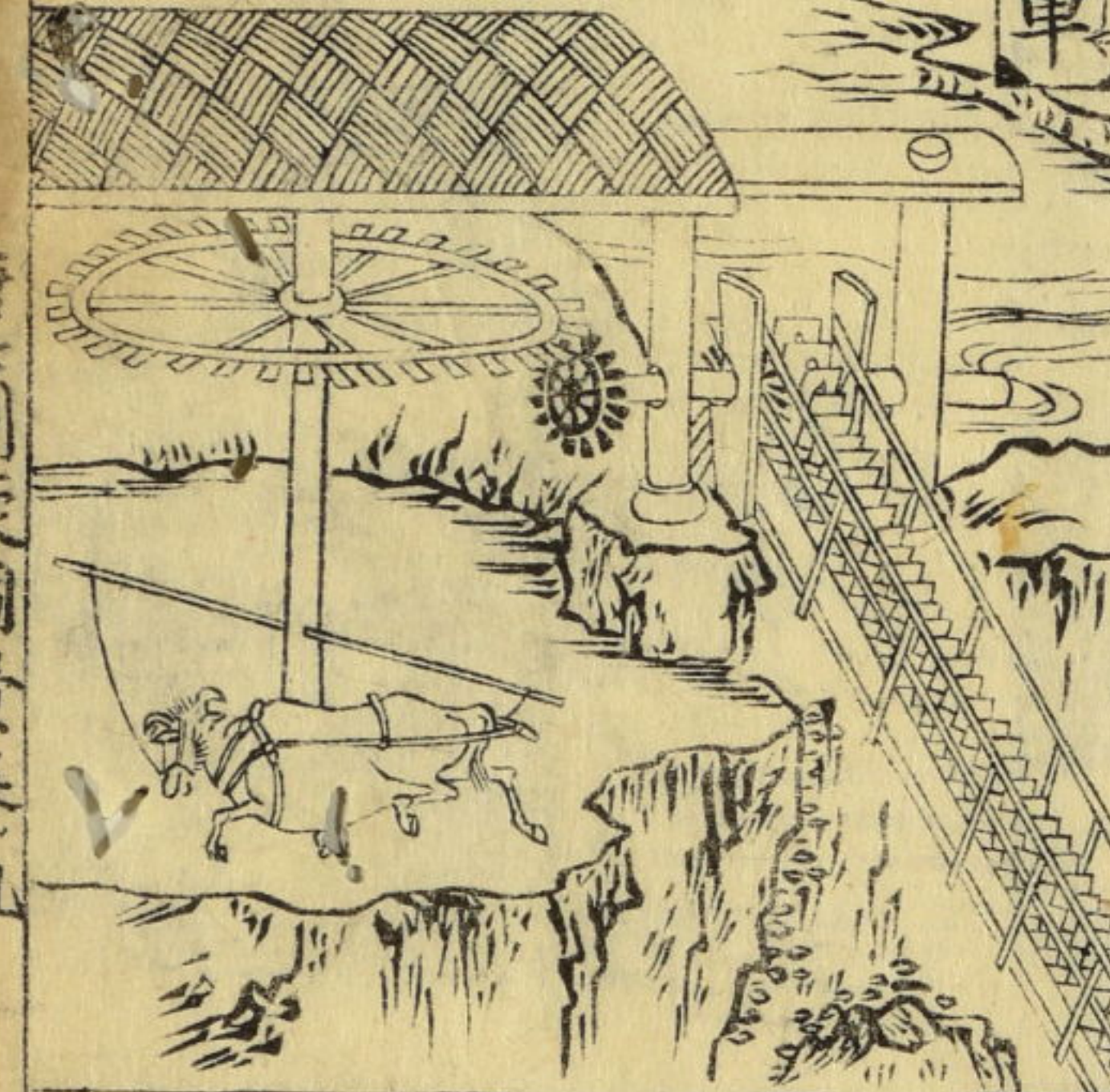
水轉翻車

此制は流水の山岸邊の整とつて水車と入る軸と入る軸と人カと



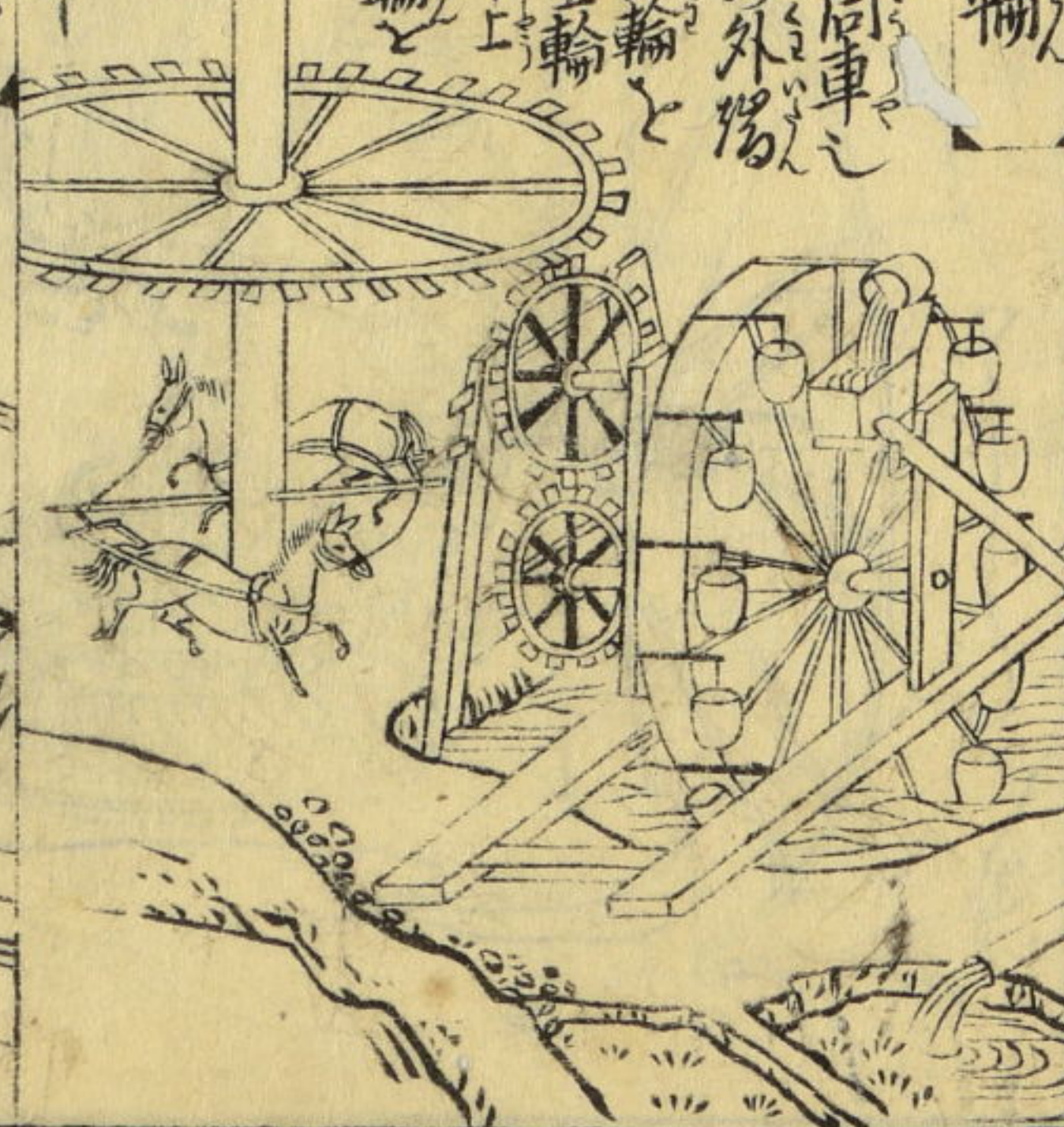
牛曳水車

流水をよと用ひて水轉翻車の制は同く人カと畜力と以て功を速なり



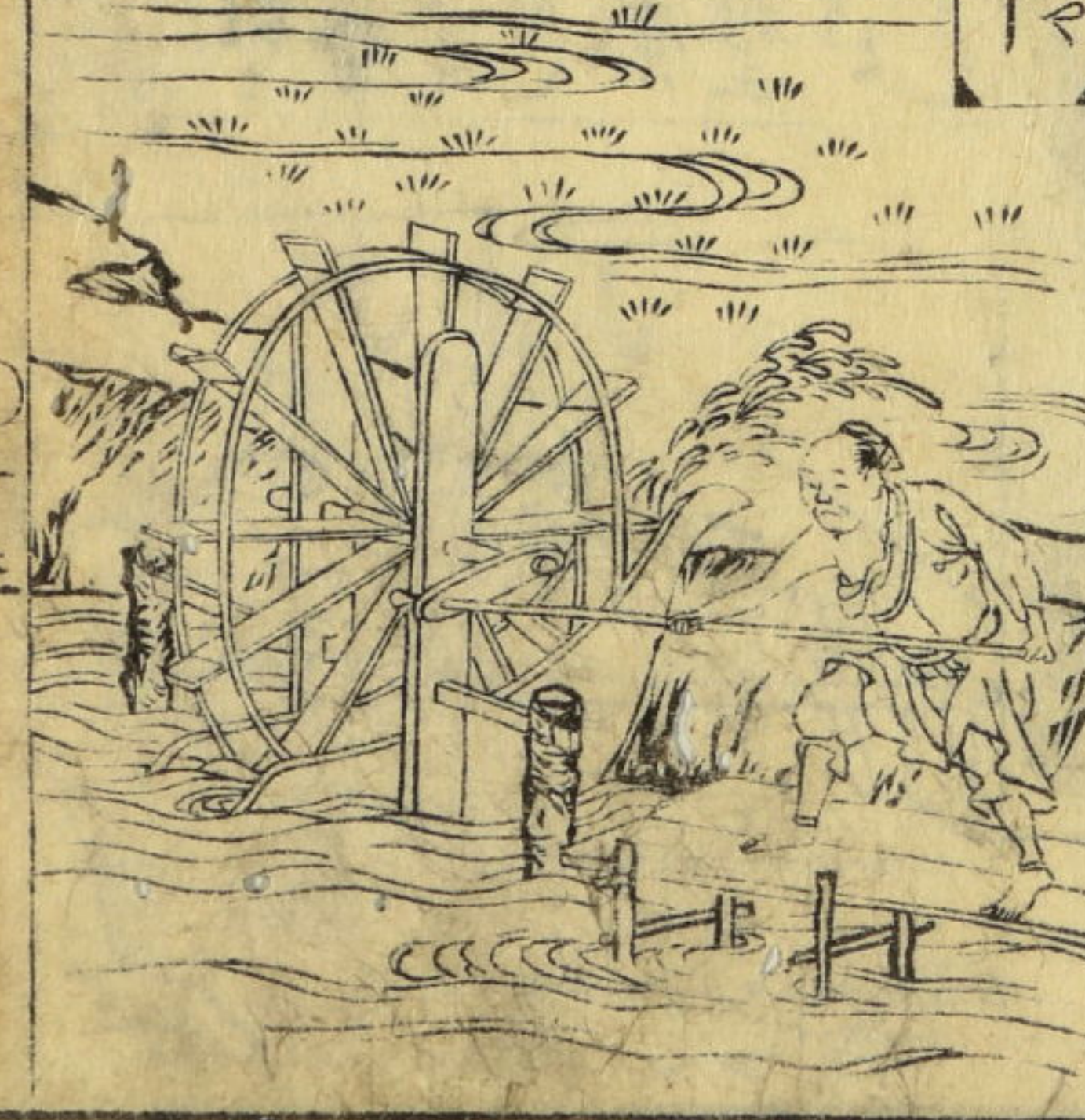
筒輪

驟轉筒車は轉軸の外邊別々堅輪とつて堅輪の側岸上復臥輪と置ん



刮車

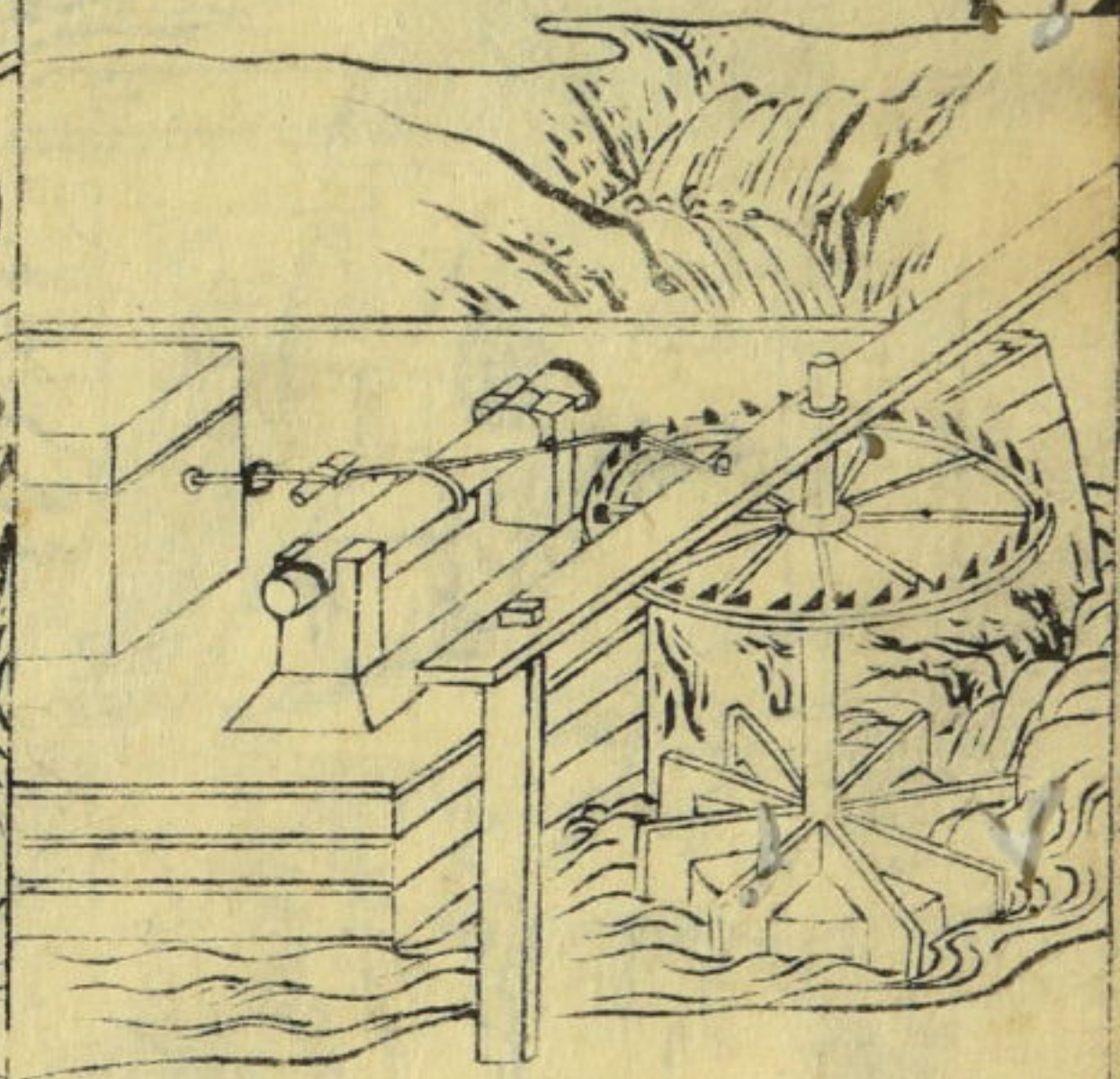
此制は岸下の水と高この田必と此と用へ



水車

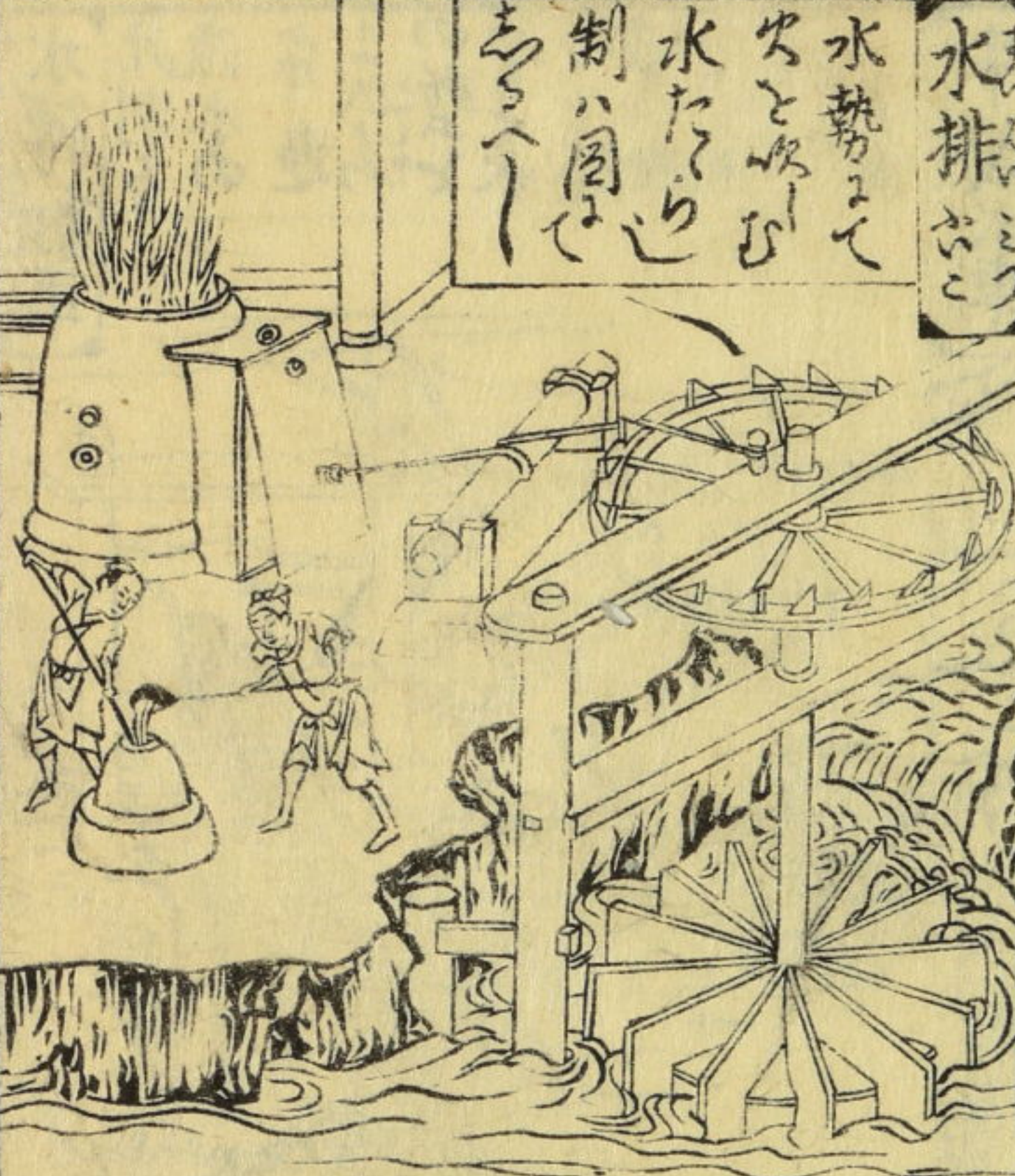
水打籾

此具水一
隨て用の
麵を篩て
人力の及
ばざる
様巧下の
水能と
同



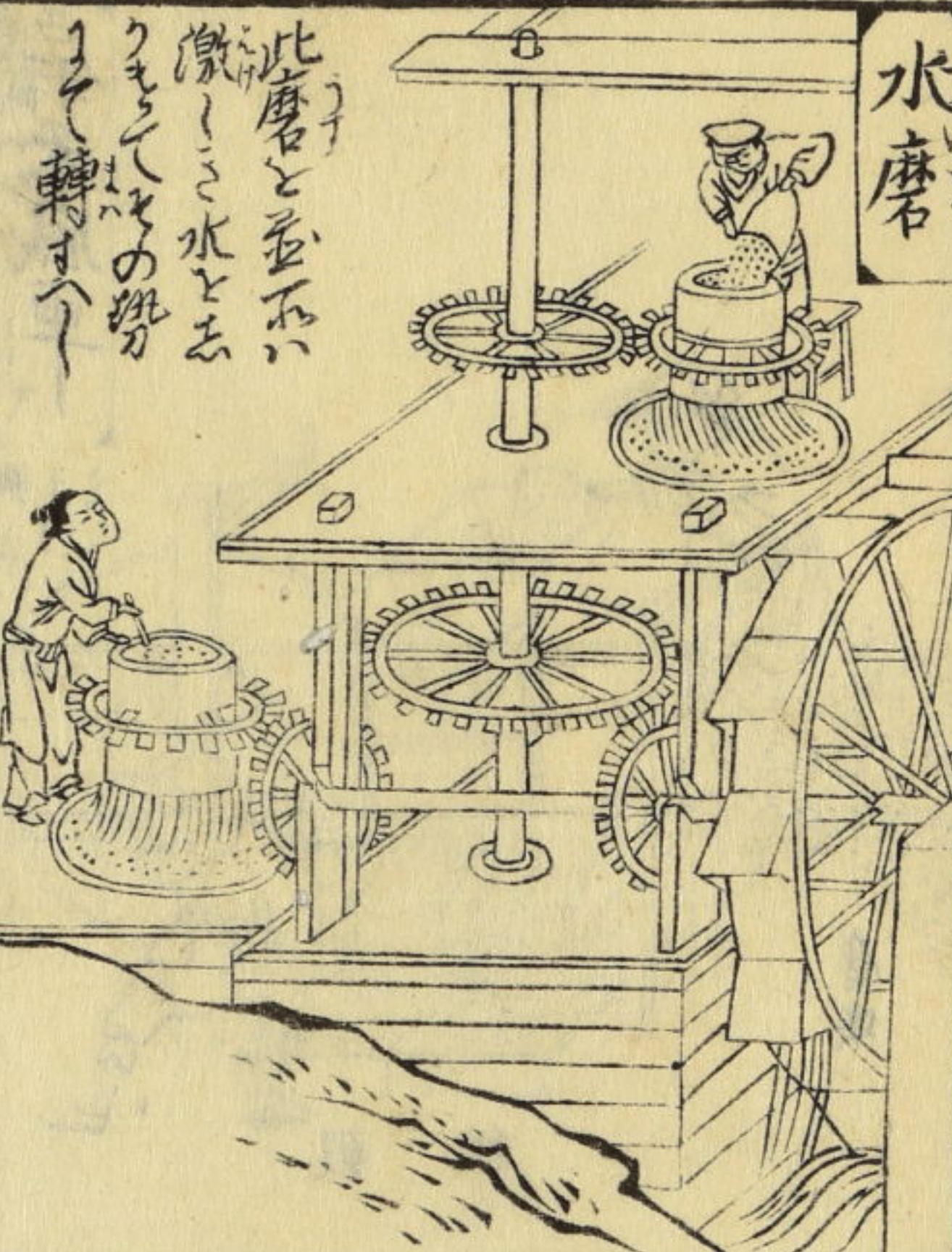
水排

水勢よて
火と吹ひ
水たらし
制ハ固は
あへし



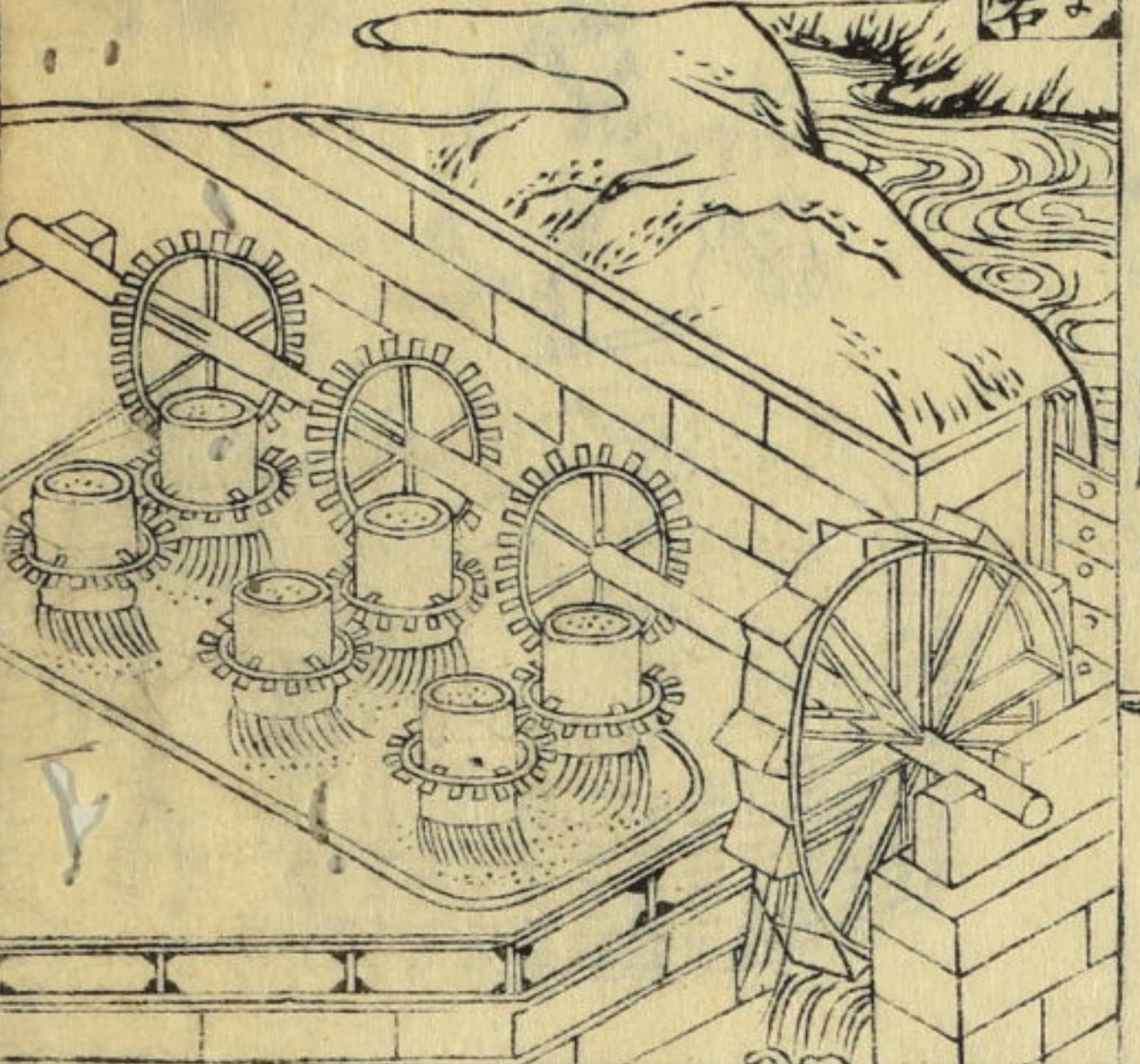
水磨

此磨と並に
激し水と去
りて此の勢
よて轉すへ



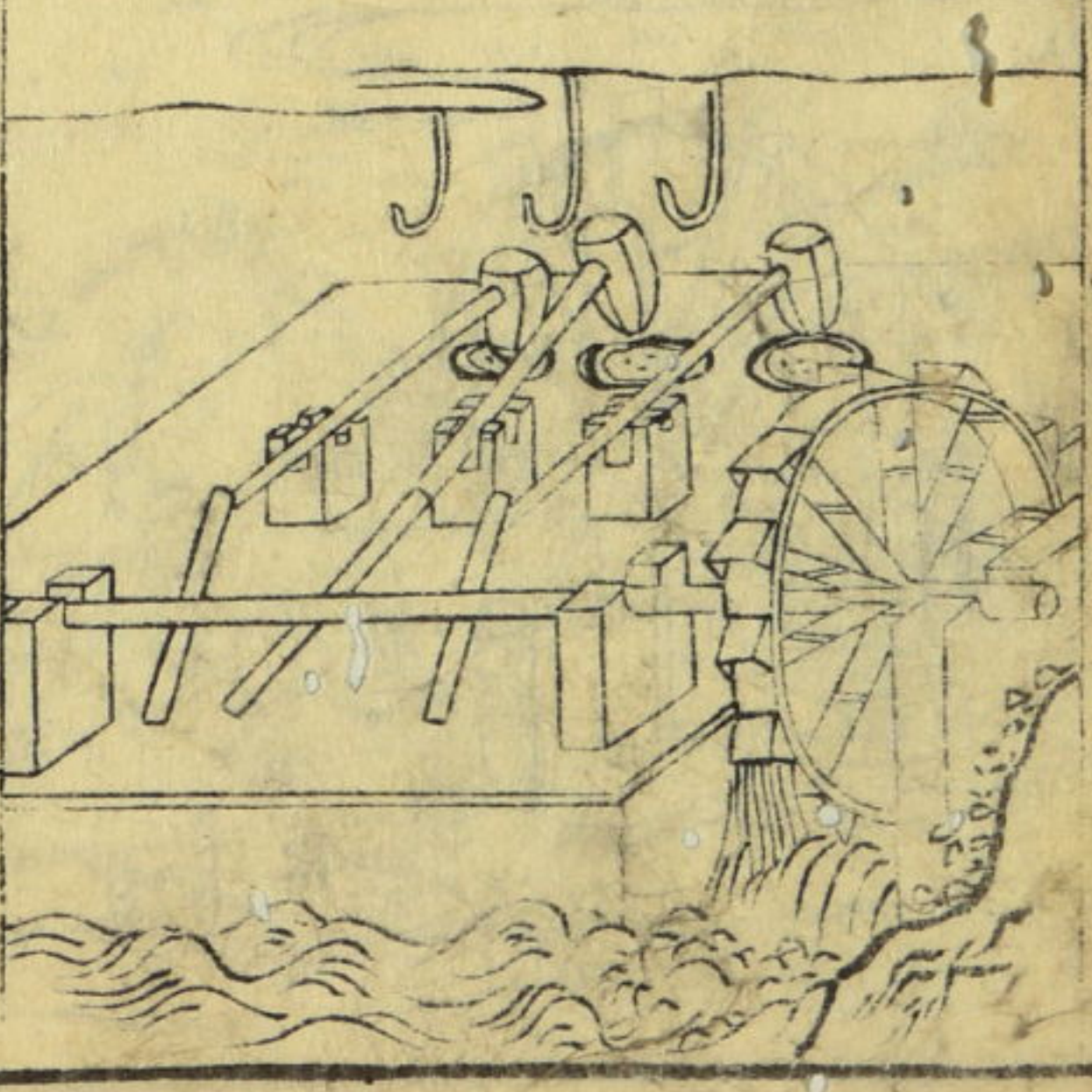
水轉連磨

此制陸轉
連磨と同
急流大水
1用故
輪軸を
合抱り
つるへし
輪のちり
尿の如

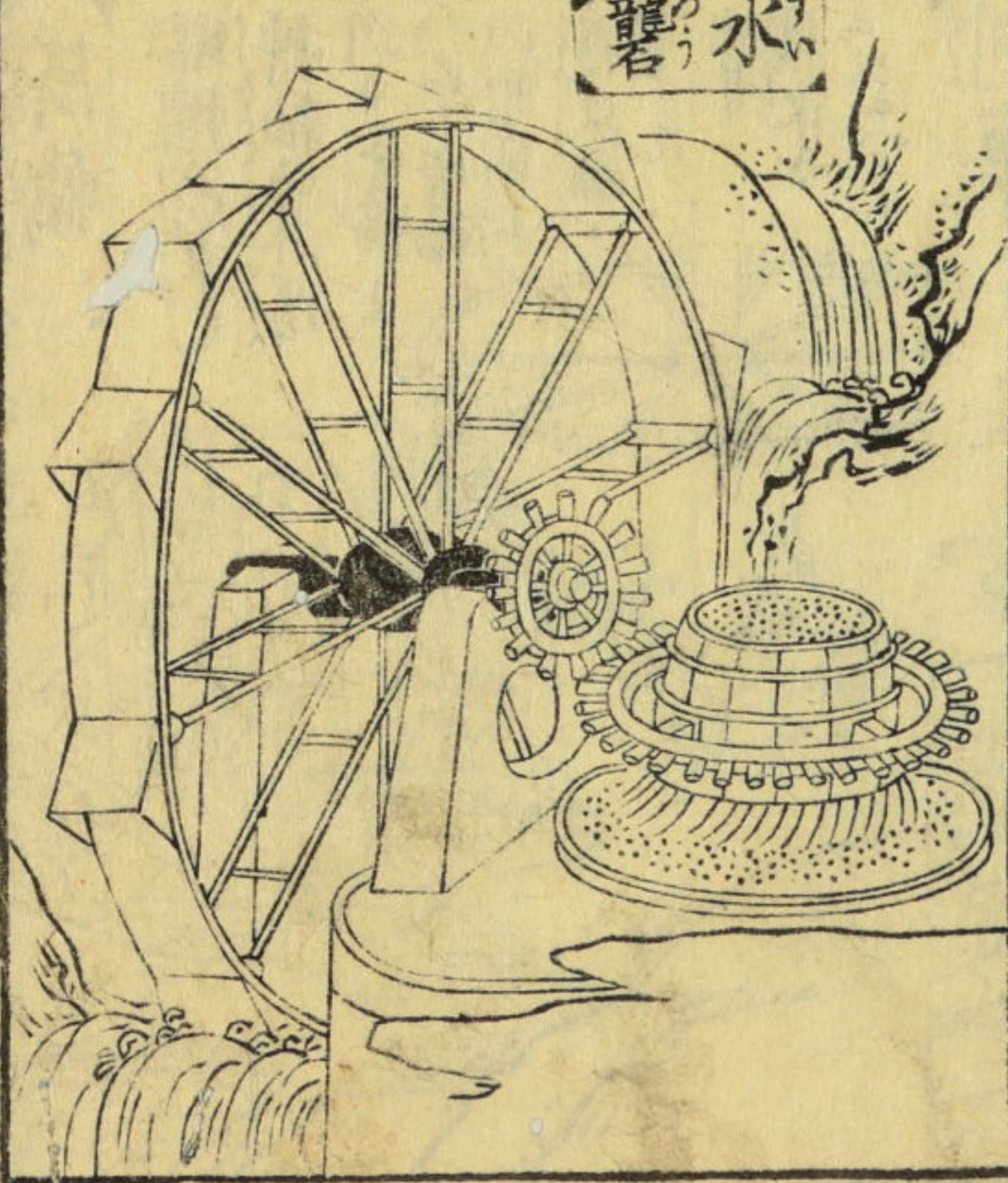


水碓

連棧碓と
よ水勢
よつす
かうす
晋の石崇
の家水碓三
十區あり
りて

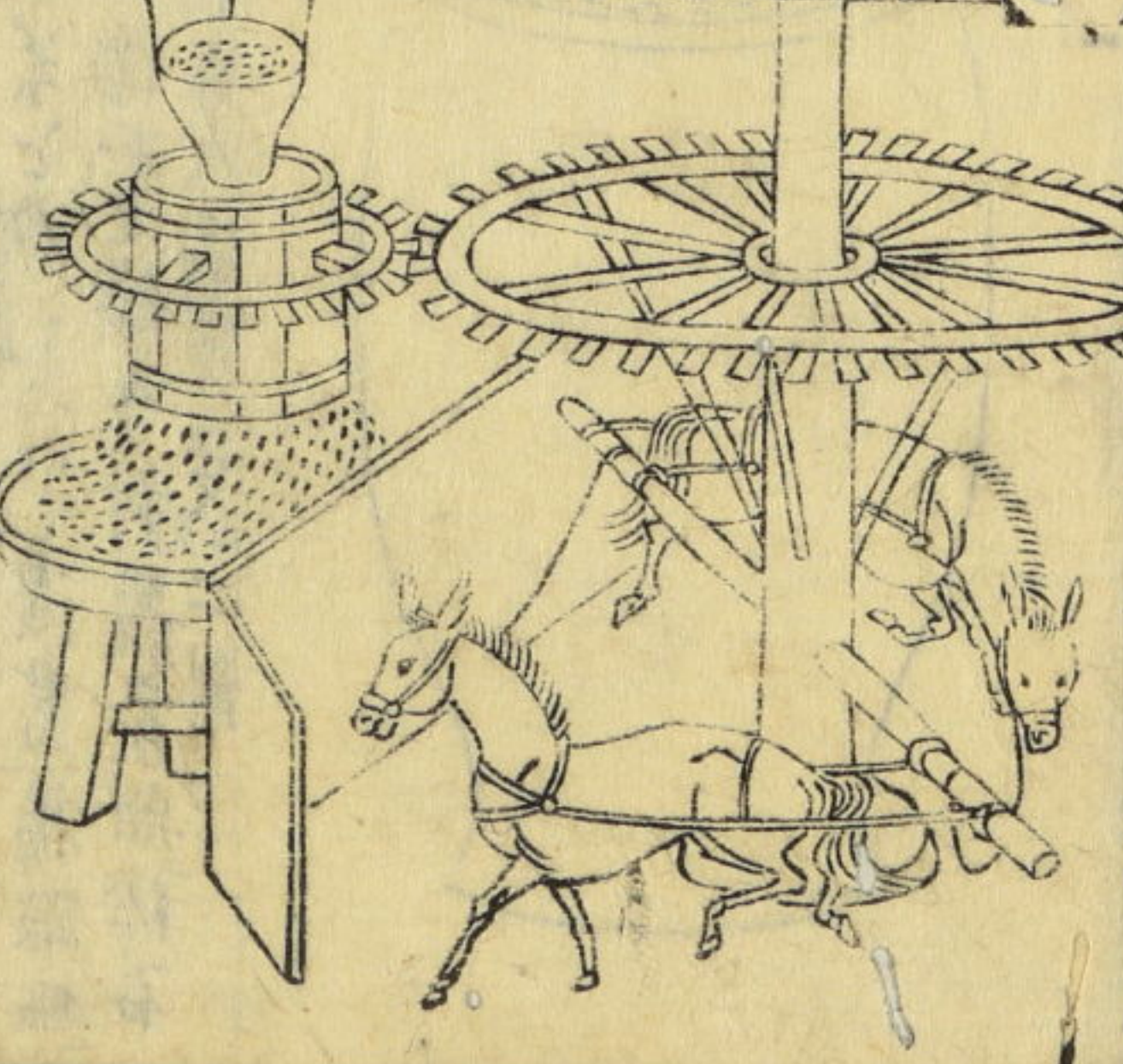


水碓



龍石圖

碓穀器
去器
竹を編
ひをり
馬と轉
たれん
力とつ
まぬ



石碾

石碾
つるへし
幹軸を
立て石碾
とつぬ
おほし
りて



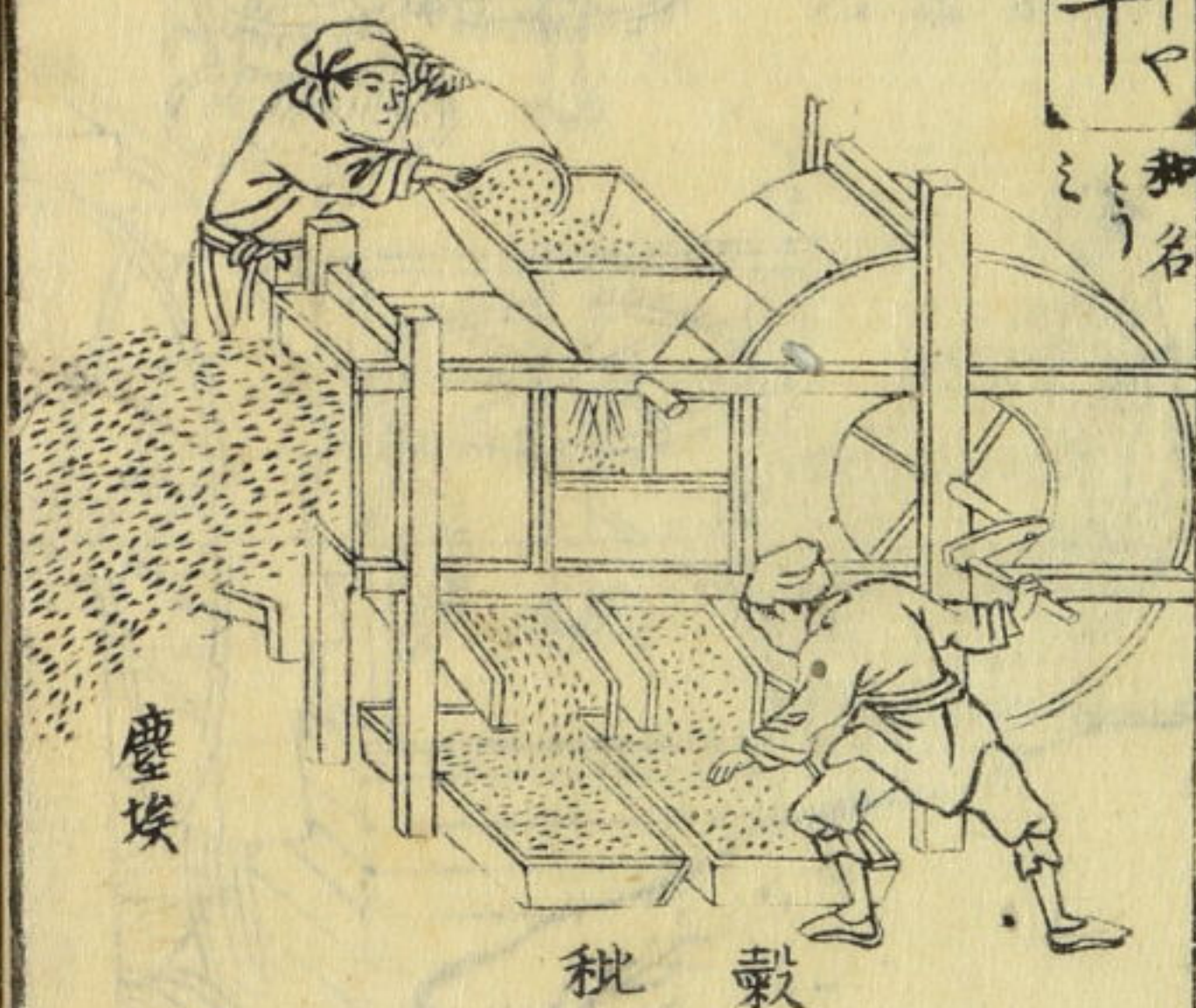
海青輓

此名ハ執鳥
の標比
ハ



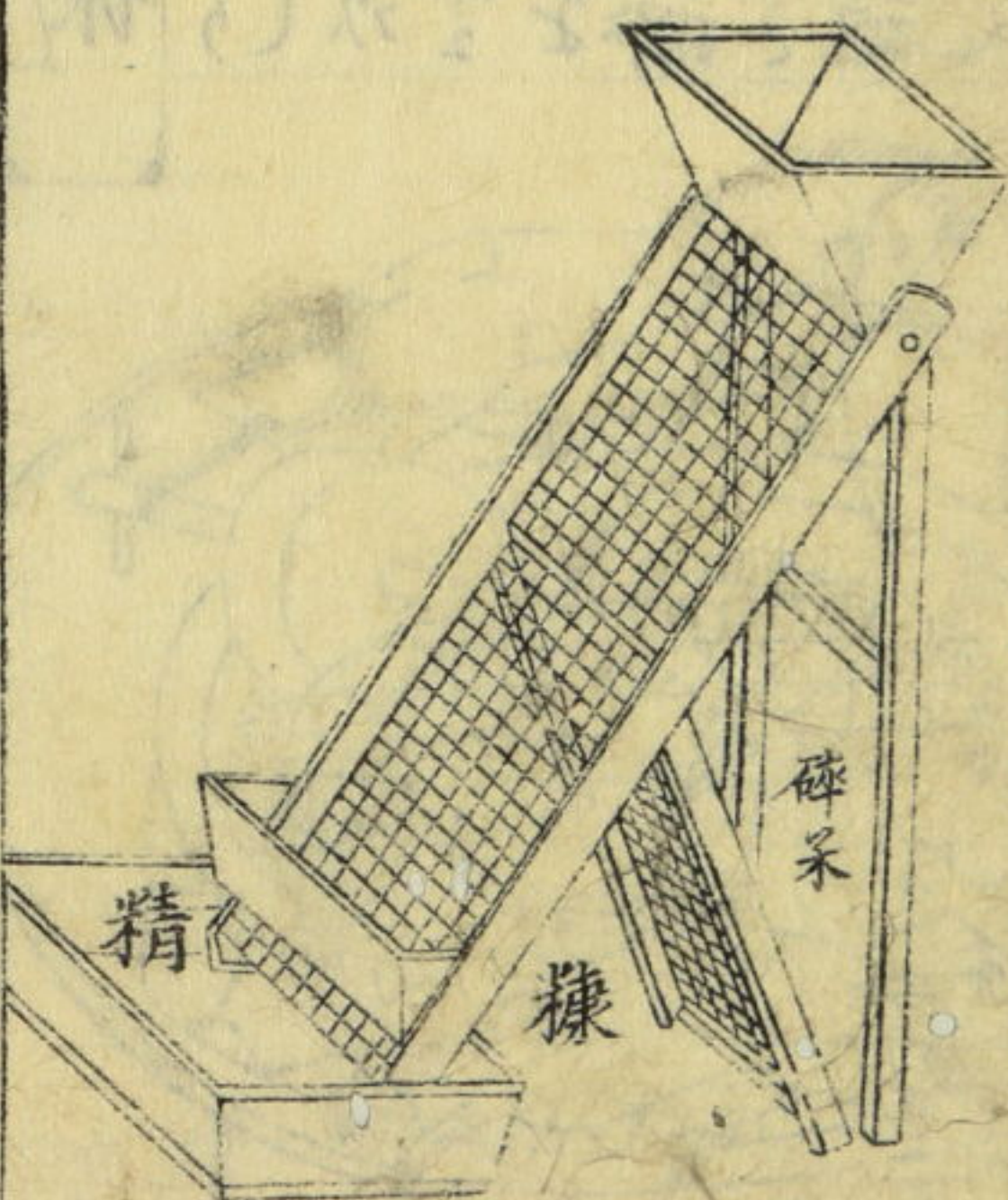
風車

和名



錫風飛

和名ハ...



倍
之儲一應劭曰存人名賢受二解



唐土訓蒙圖彙卷之十

器用
之四

衣服儀制珍寶

大裘



衮冕



驚冕



毳冕



冕玄夫大卿



冕衮公上



服之燕



弁爵



弁章



冕希



弁皮士



冕希孤



冕毳男子



冕鷩伯侯



端玄



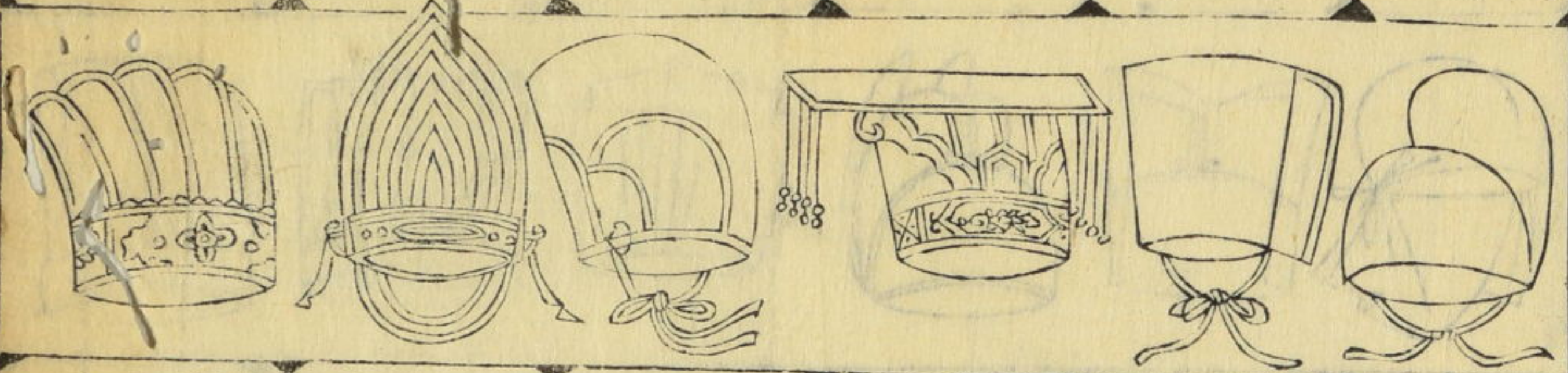
弁皮



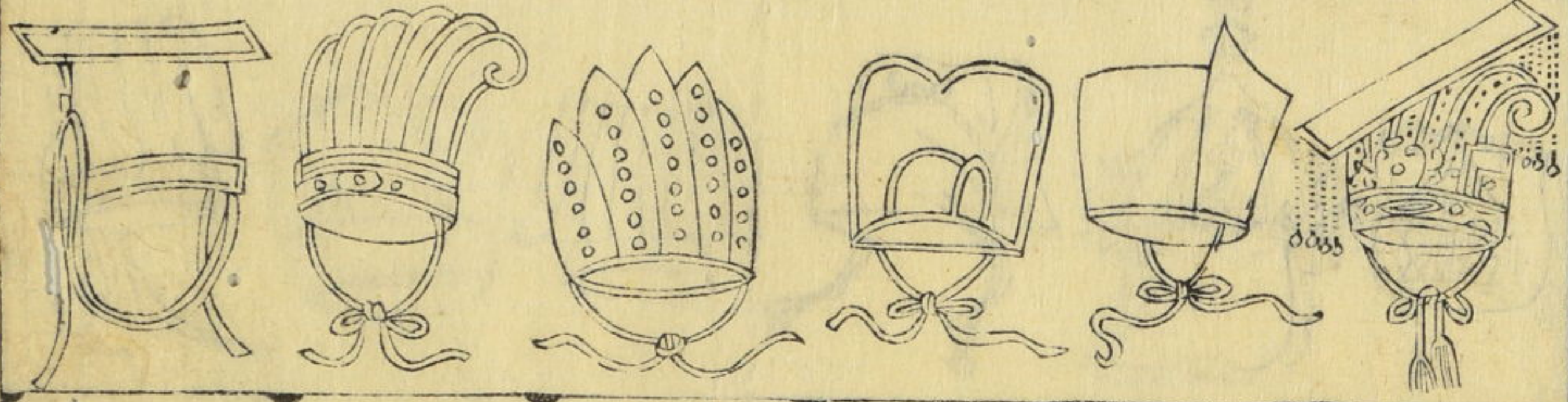
禮記卷之七

大司馬

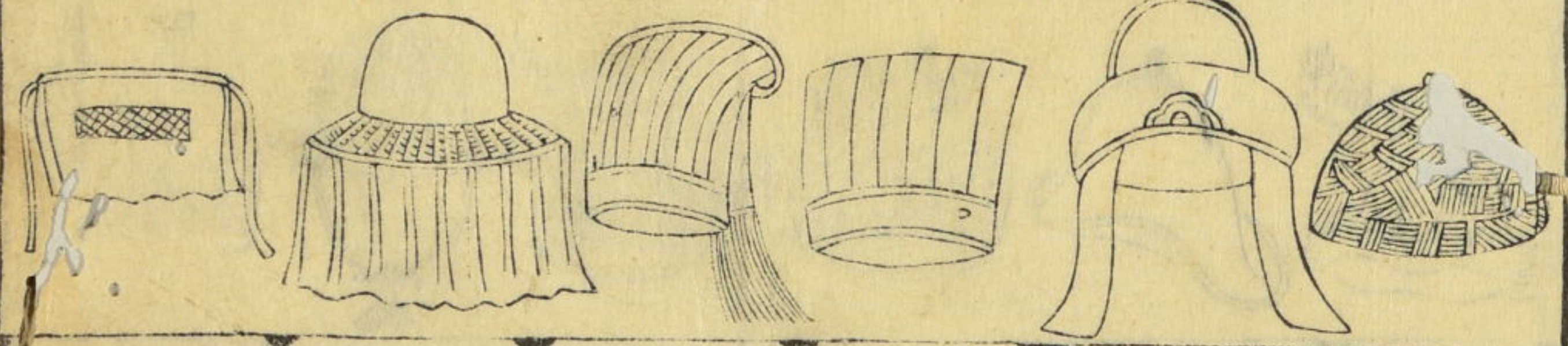
冠^{くわん}緇^し 弁^{べん}素^そ 冕^{まんと}麻^ま 冕^{まんと}周^{しゅう} 甫^ふ章^{しょう} 遊^{ゆう}母^ぼ



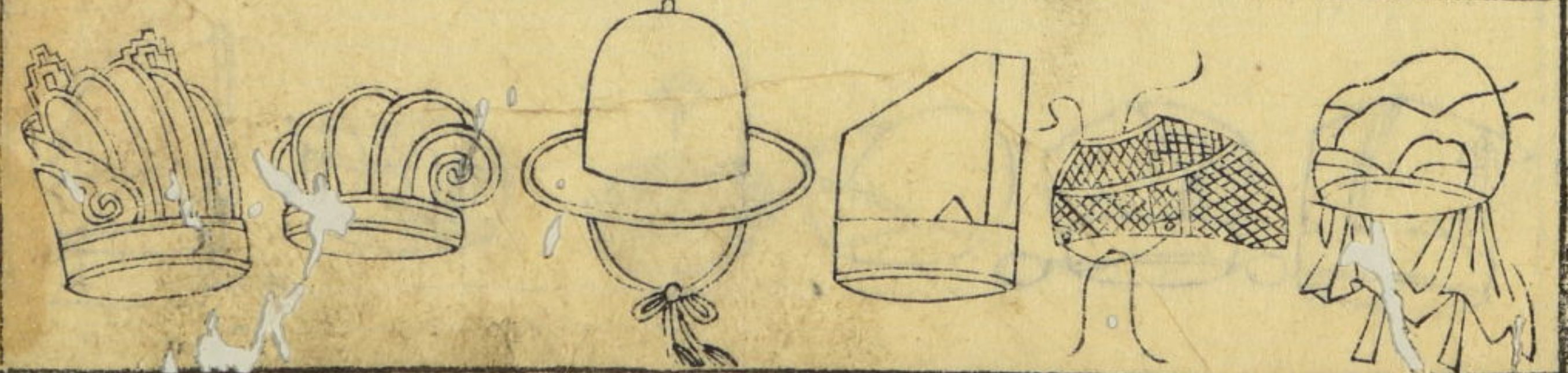
弁^{べん}雀^{せき} 弁^{べん}皮^ひ 撮^{さつ}緇^し 冠^{くわん}贖^{じゆん}介^{けい} 貌^{ぼう}委^い 冕^{まんと}漢^{かん}



衣^い面^{めん} 帽^{ぼう}唯^い 巾^{きん}萬^{まん}福^{ふく} 冠^{くわん}纁^{しゆん}玉^{ぎよく} 冠^{くわん}皮^ひ 笠^{かさ}臺^{たい}



冠^{くわん}清^{せい}忠^{ちゆう} 帽^{ぼう}葛^か諸^{しよ} 帽^{ぼう}大^{だい} 巾^{きん}儒^{じゆ} 帽^{ぼう}緇^し 帽^{ぼう}幅^{ふく}



服^{ふく}之^し 客^{かく}王^{わう}及^{かく} 白^{はく}衣^い展^{てん} 祭^{さい}先^{せん}王^{わう} 色^{しき}黒^{くろ} 衣^い禪^{ぜん} 服^{ふく}之^し 色^{しき}青^{せい} 狄^{てき} 揄^{じゆ}



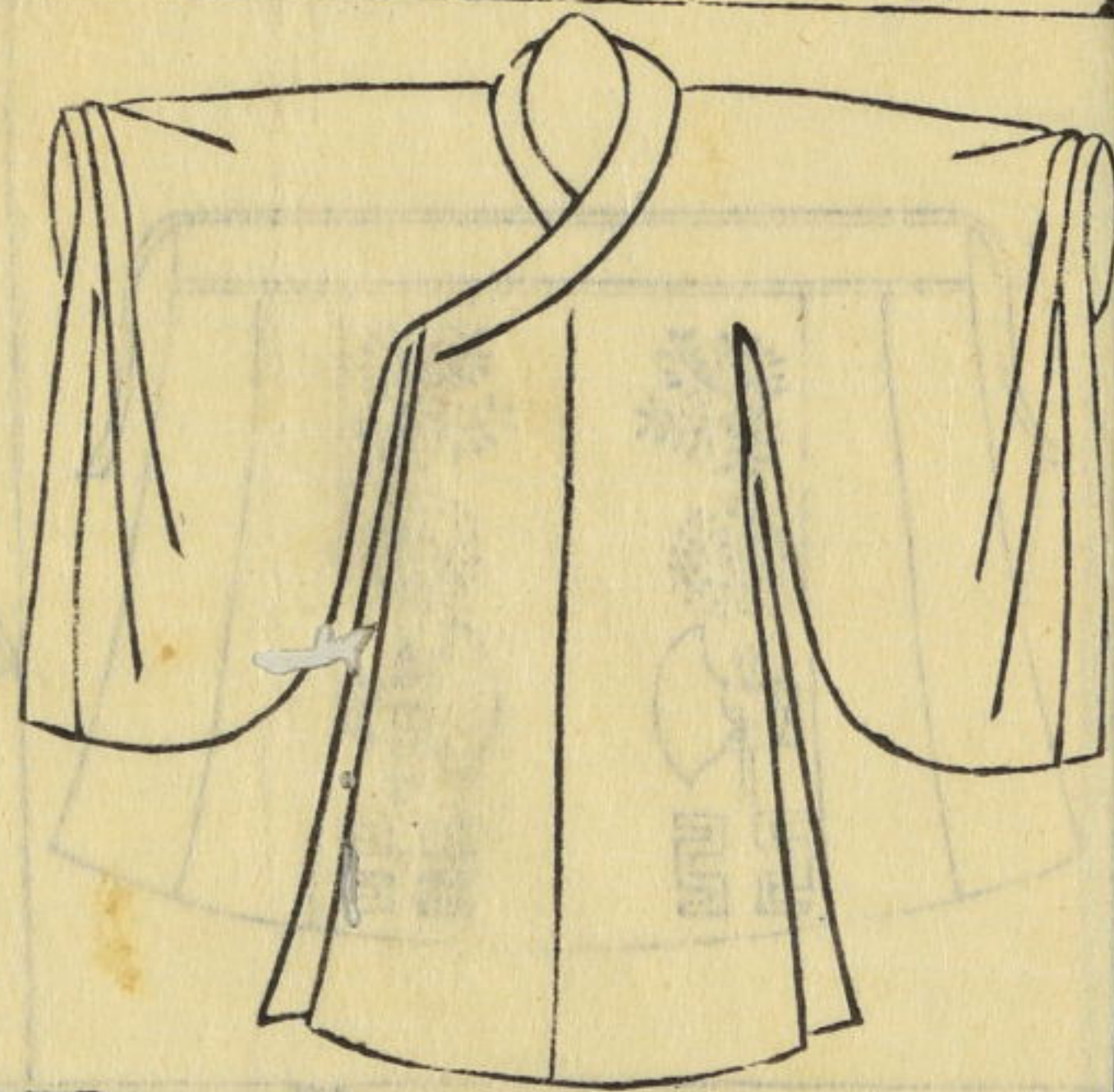
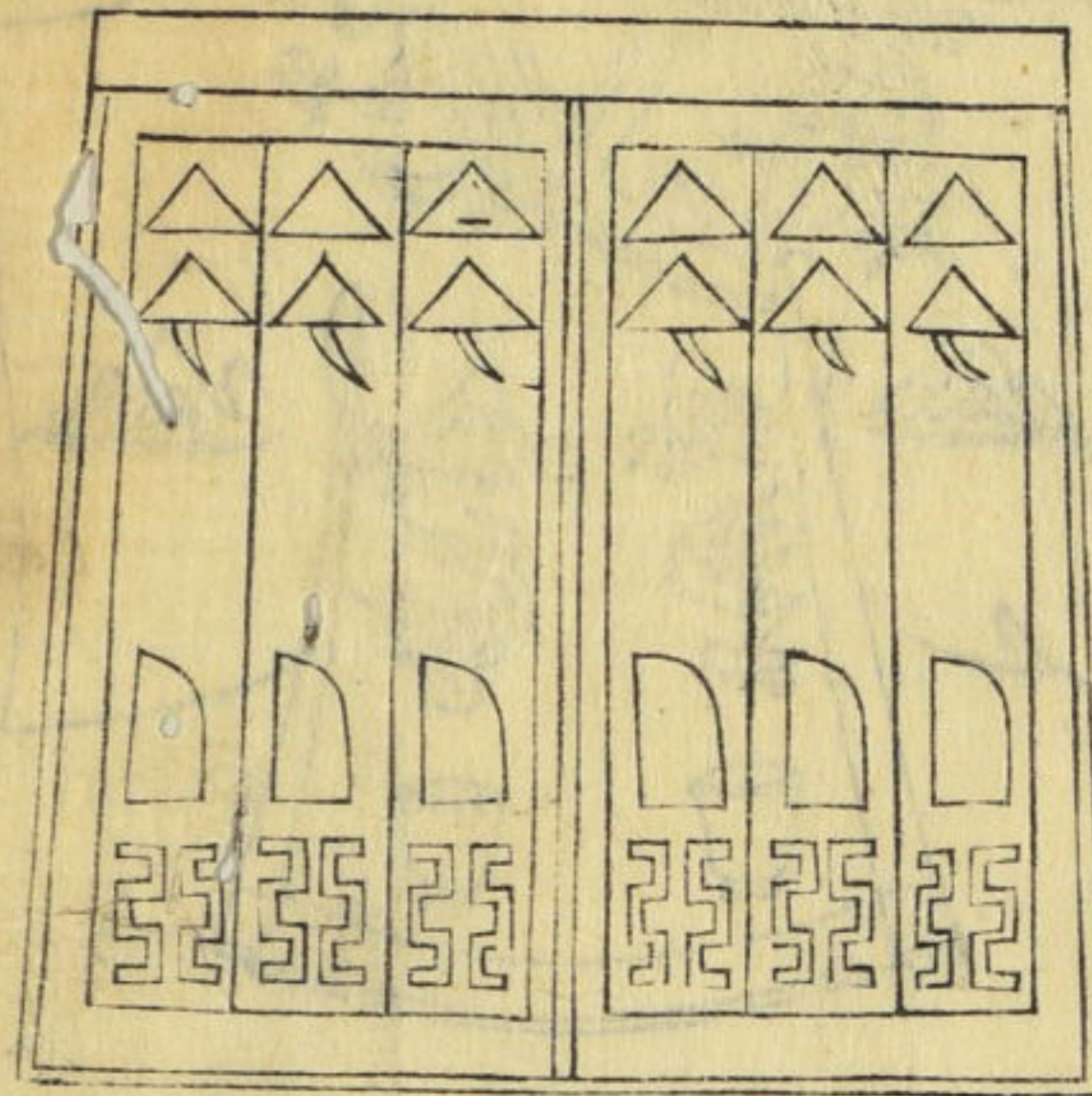
服^{ふく}之^し 主^{しゆ}黒^{くろ}衣^い祿^{ろく} 後^ご之^し 色^{しき}黄^{わう} 衣^い鞠^{きよく} 後^ご之^し 色^{しき}赤^{せき} 狄^{てき} 關^{かん}



唐書卷一百一十五

裳の下の体

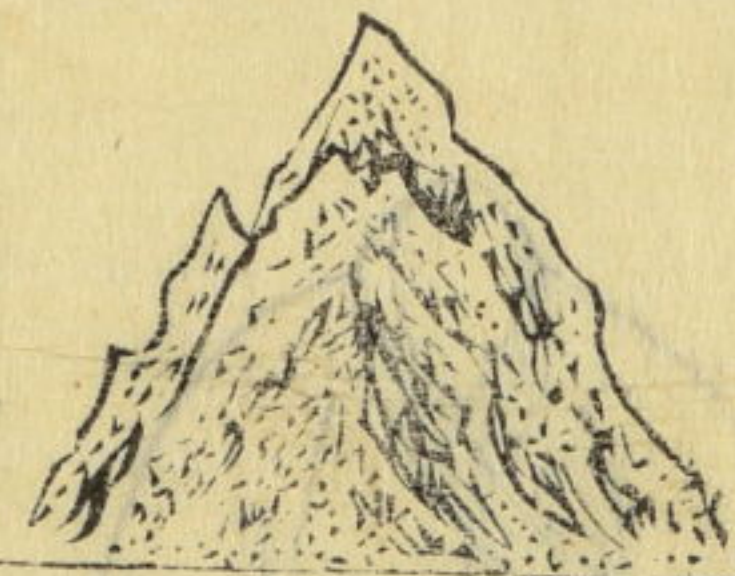
衣の下の裳



章 二 十 書 虞



宗彝



山



日



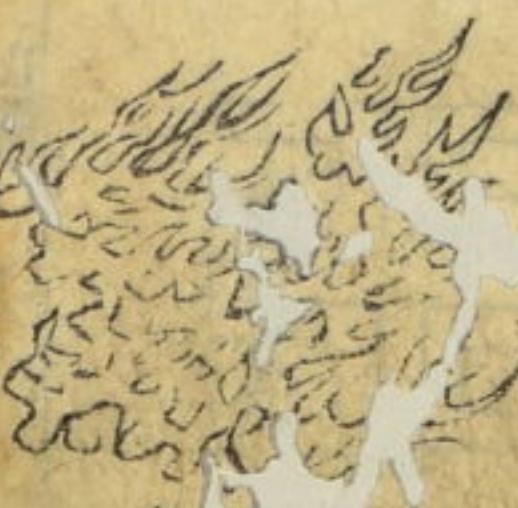
藻



龍



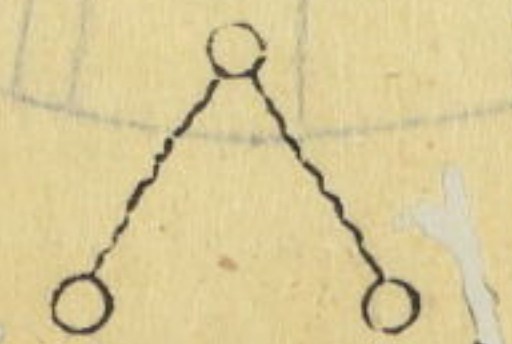
月



火

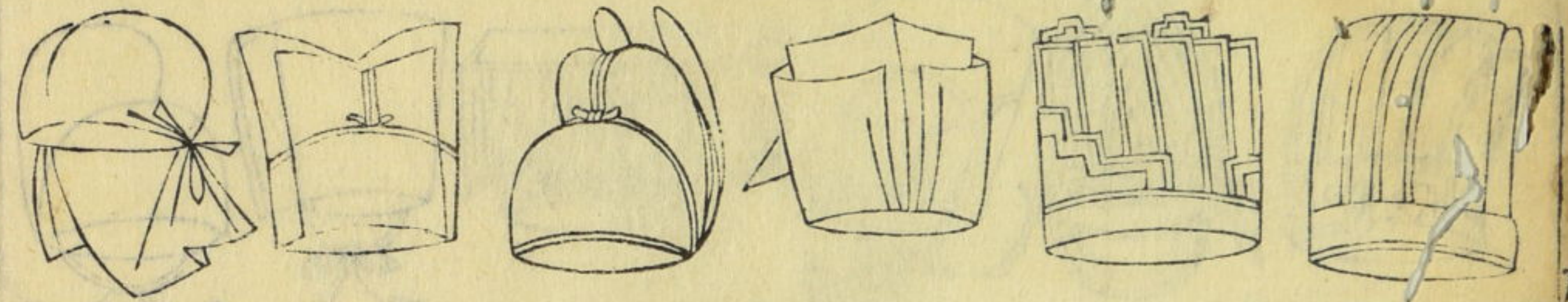


華虫

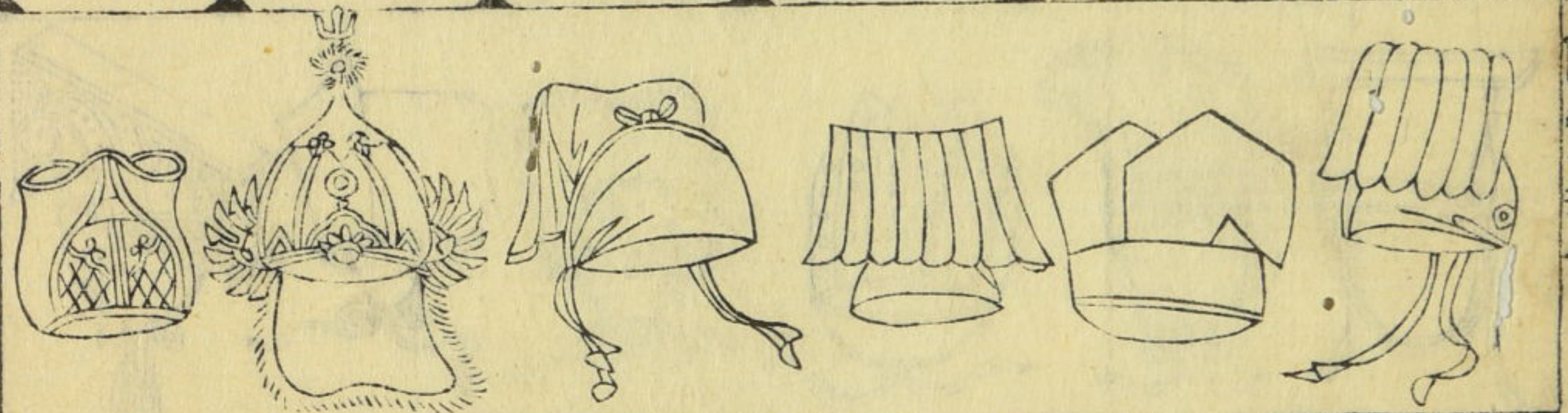


辰

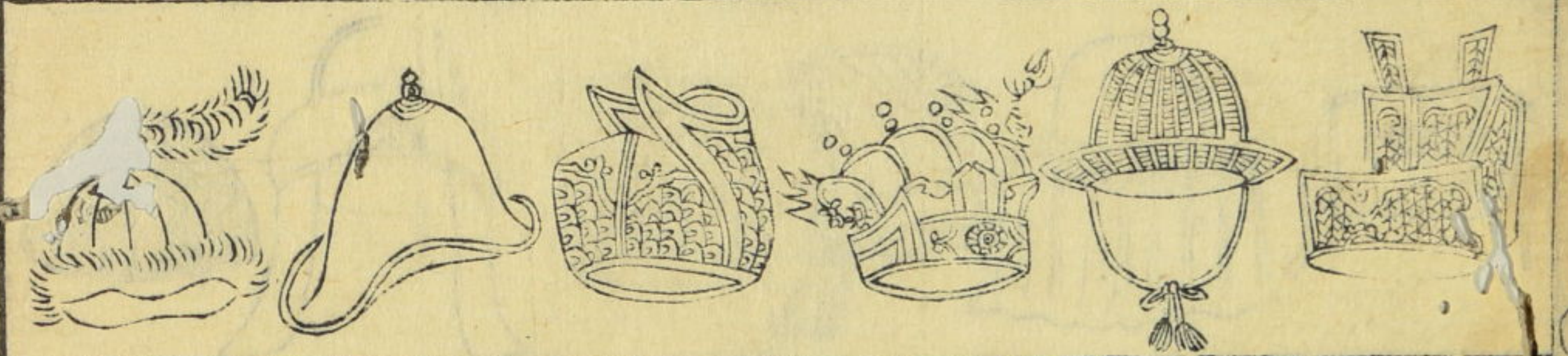
巾周四 巾之襖 帽紗 帽玻東 巾之雲 巾之五治



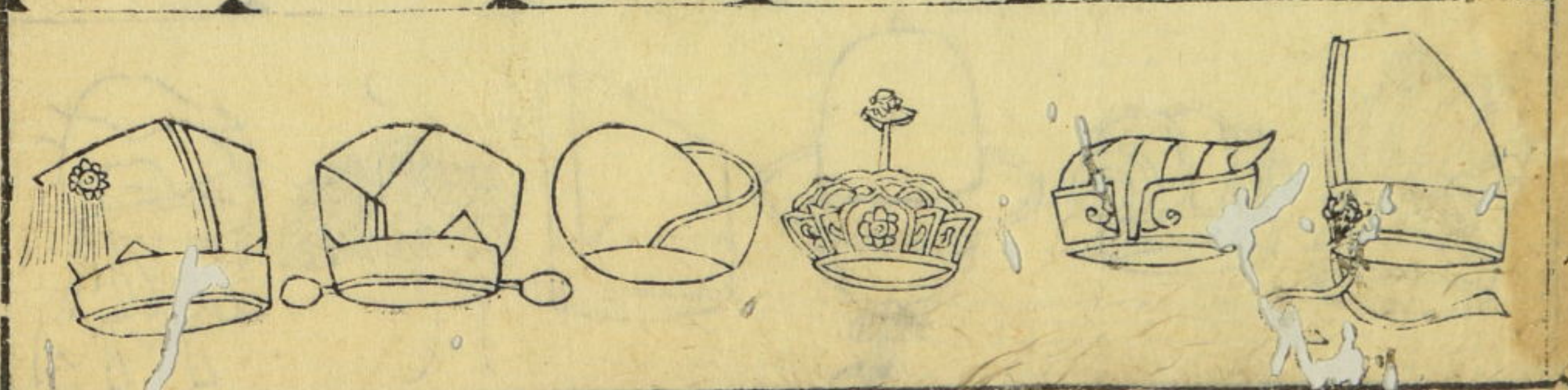
盆鬘 盆翅鳳 巾之結 巾之將 巾之人老 巾之陽綫



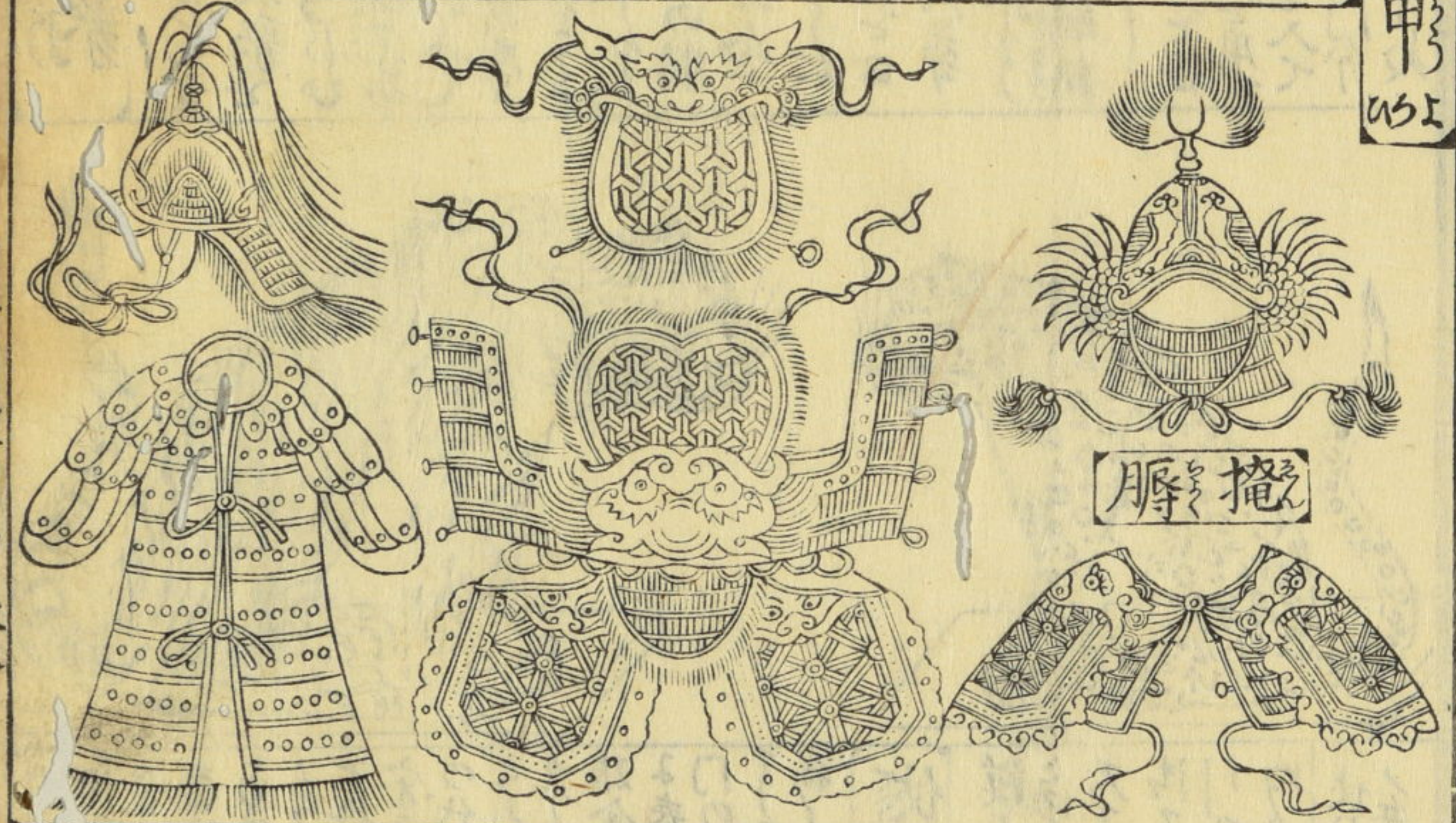
帽之鞞 笠之檀 帽之山三 冠之髮束 帽之縹纒 巾之貂金



帽之隸皂 巾之吏 帽之蓉英 帽之僧 冠之道 巾之雷



人形 頭 鑿 鬚 項 甲 身 兵 盔 甲 式



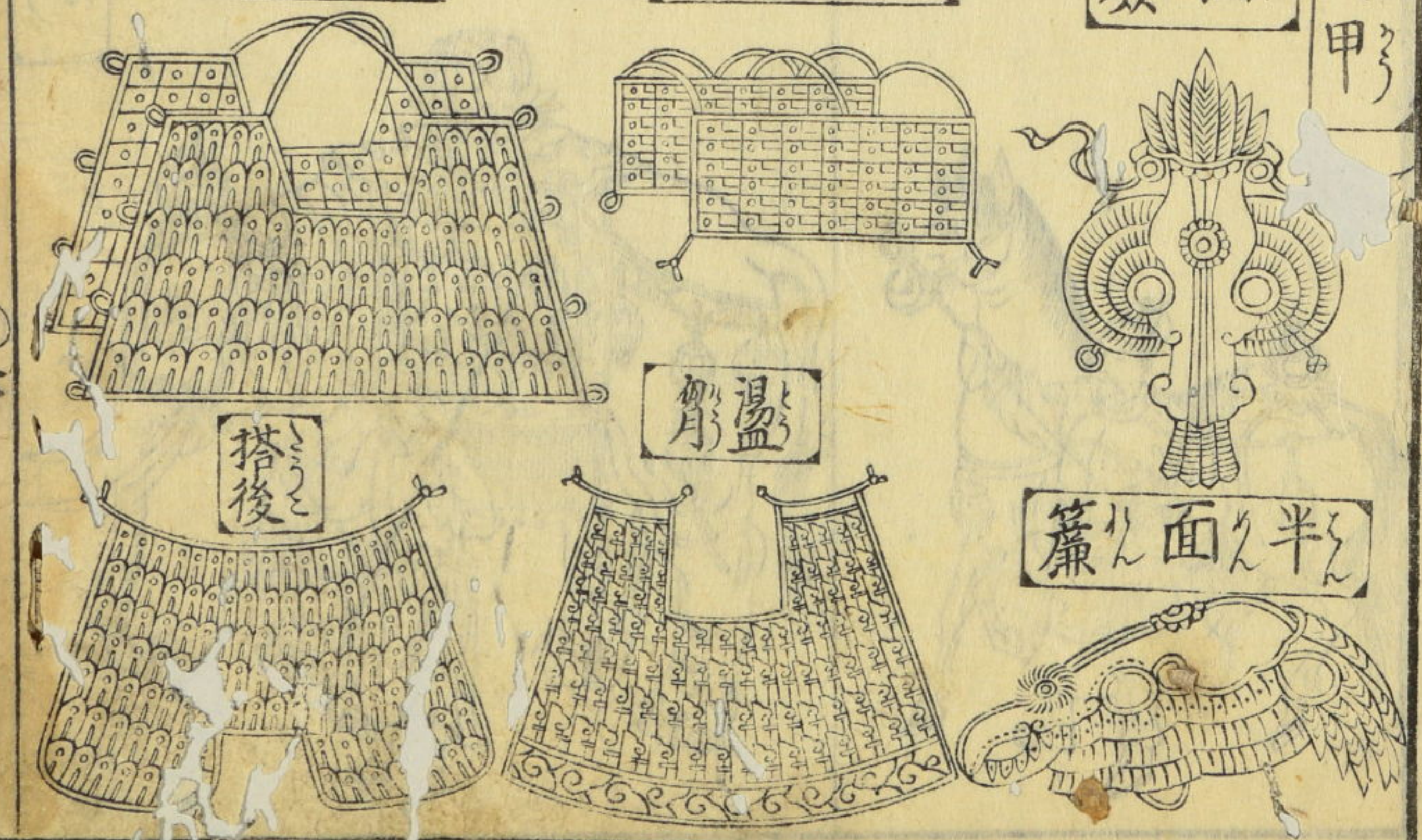
人形
甲

項 鬚

馬 身 甲

雞 項

馬 面 簾 甲

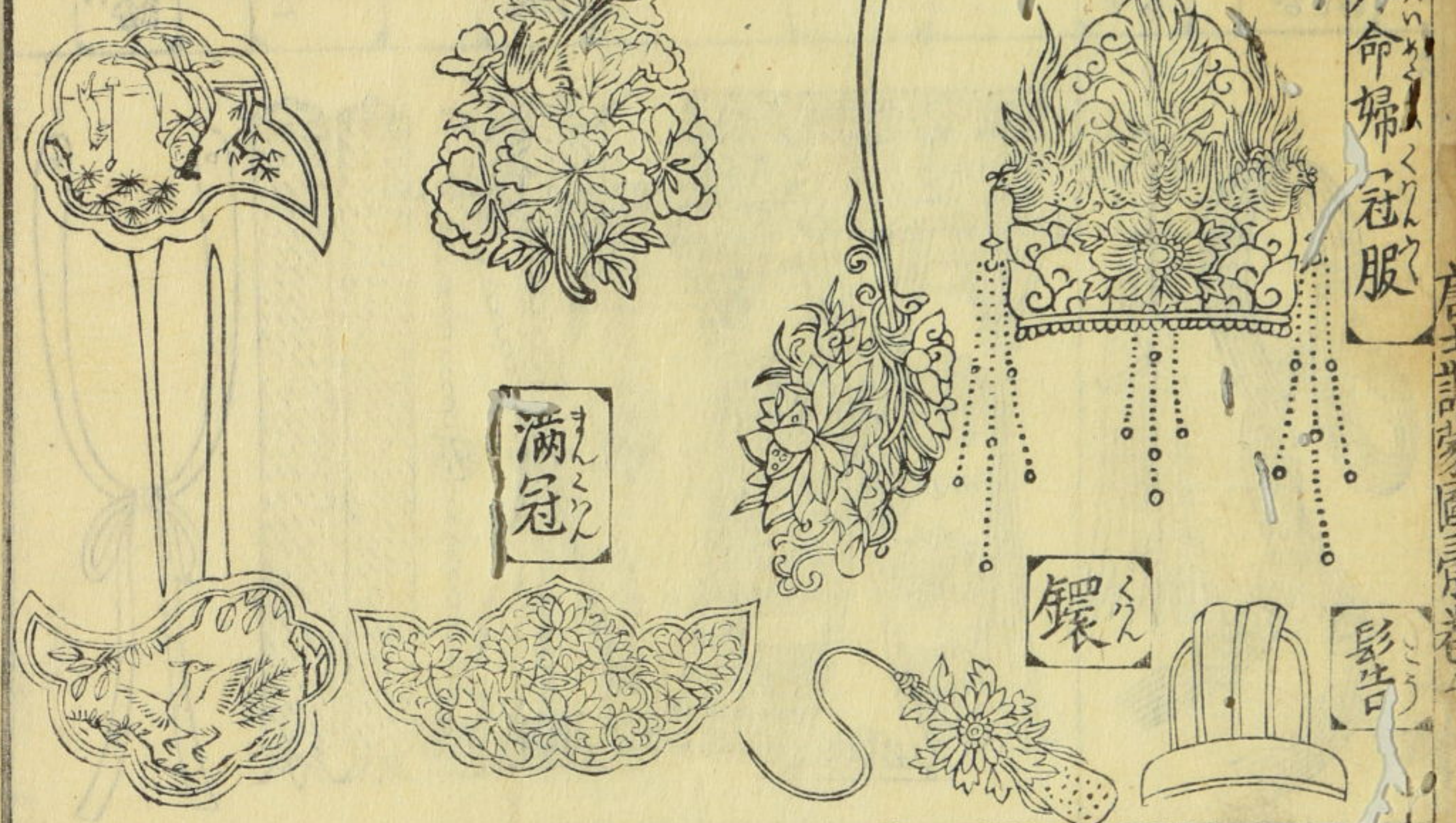


盤 形

搭 後

半 面 簾

兩 博 髻 花 面 釵 冠 內 外 命 婦 冠 服



滿 冠

釵

冠

道 衣

僧 衣

霞 帔

釧



指 環

壽 符

蓋ひ黄く



髦と鏢く儀ぎ



髦と戟き

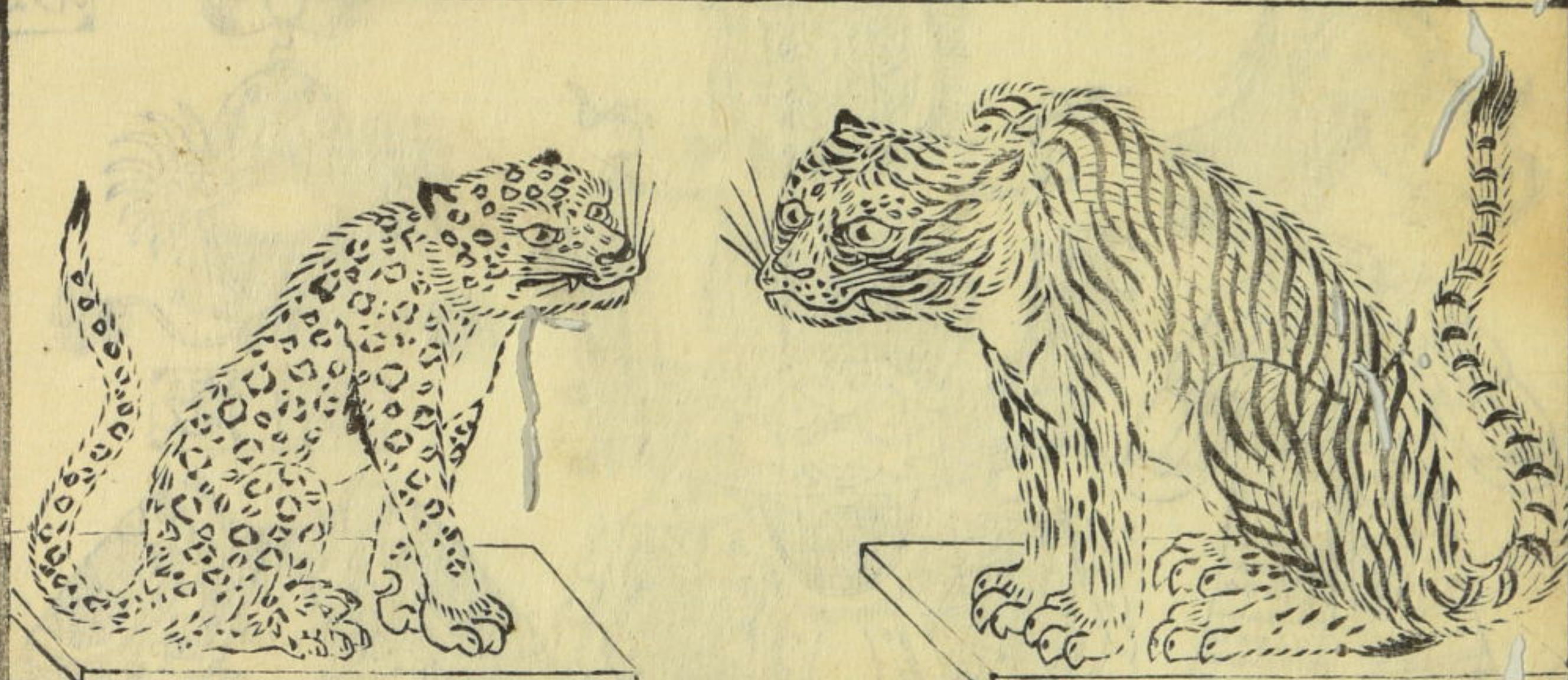


髦と戈が



天子の虎豹と
門虎豹と
しておぼし
そ殿の
おとこ
これと帝
乃居
とつり
秘羽の制
大に於今
あつたに
虎豹と日
精月華
門のか
つぬ明
も同
虎豹と各
園檻と用
これと入
奉天門
つた

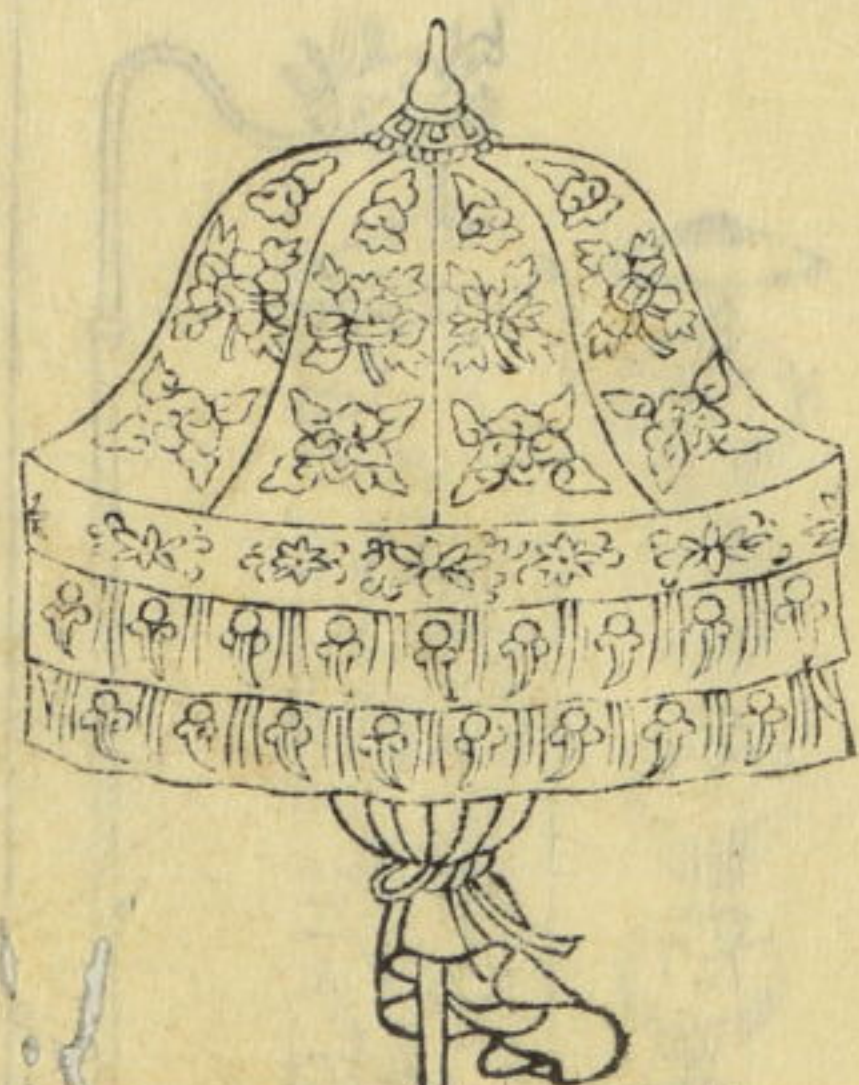
虎豹



扇あ雉し



蓋ひ華か

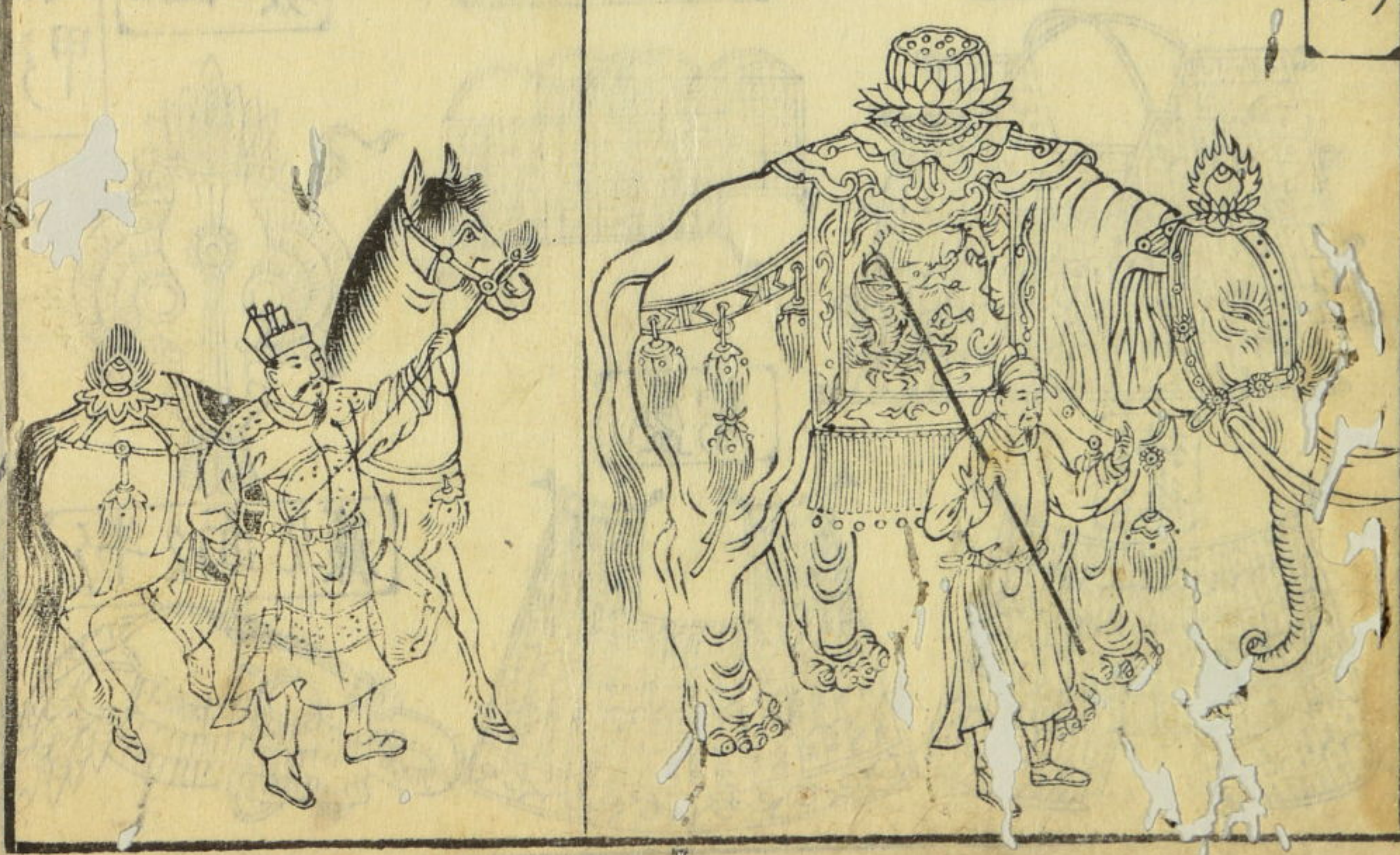


織お大お



晋の武
帝の
も
ら
それ
宋元明
の代
これ
う
羽舎
奉天
門の
つ
つ
依馬
漢
天子
の
つ
つ
兵衛

馬象



龍繪



雀朱



武武



大豹尾

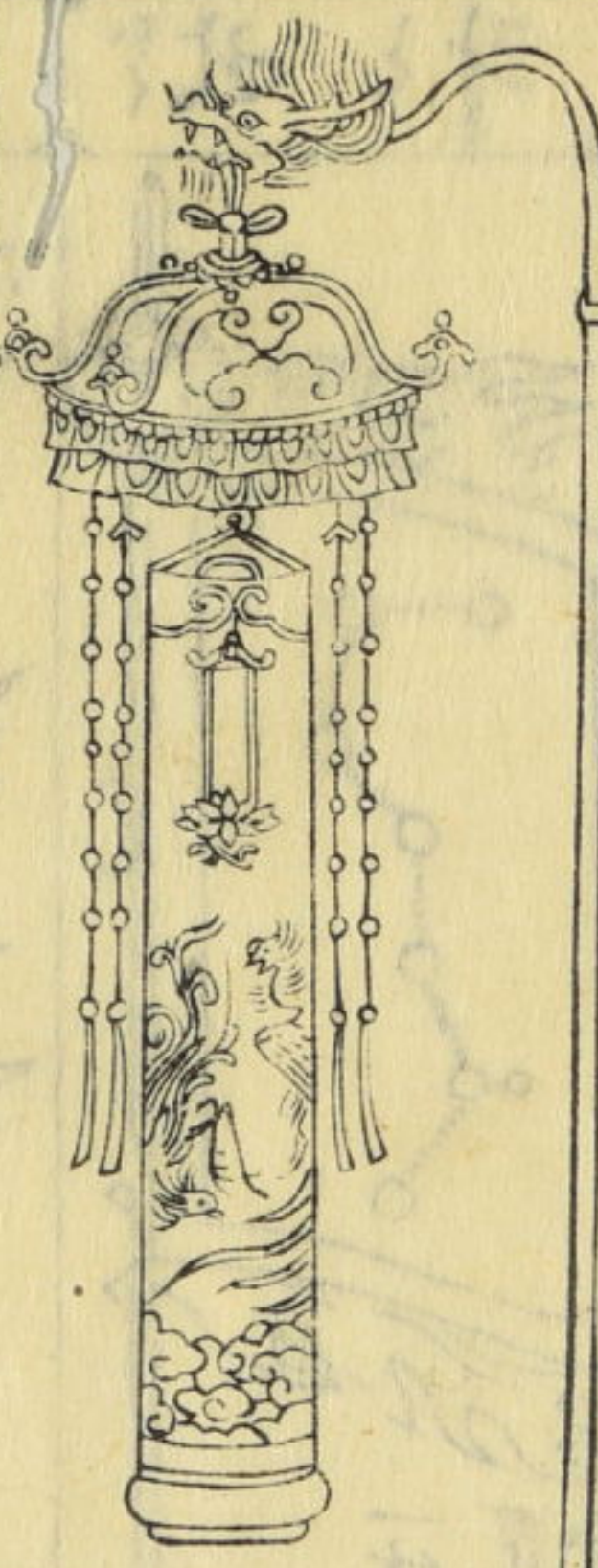


龍頭竿豹尾



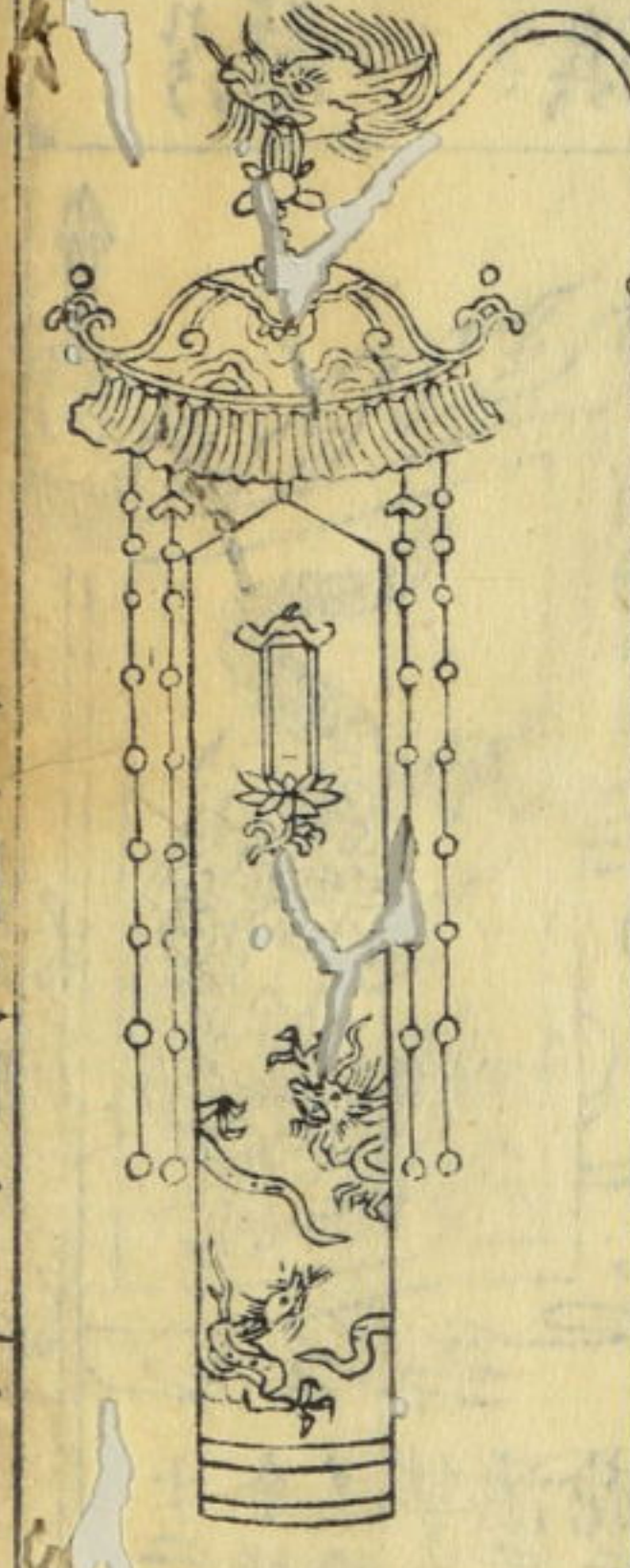
告止幡

御行止つゝハ此幡と云らん



傳教幡

御行速々令すりに此と用の



龍龍



白虎

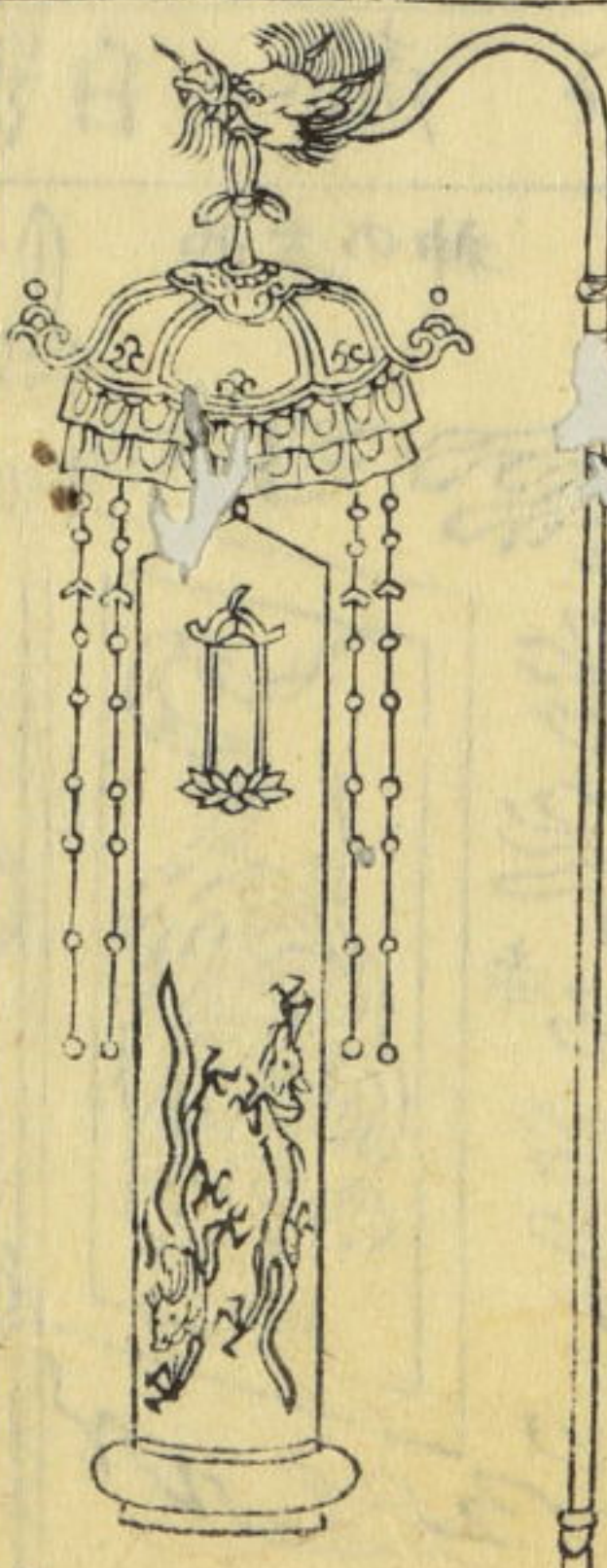


五明龍



信幡

信の幡と云つて信と

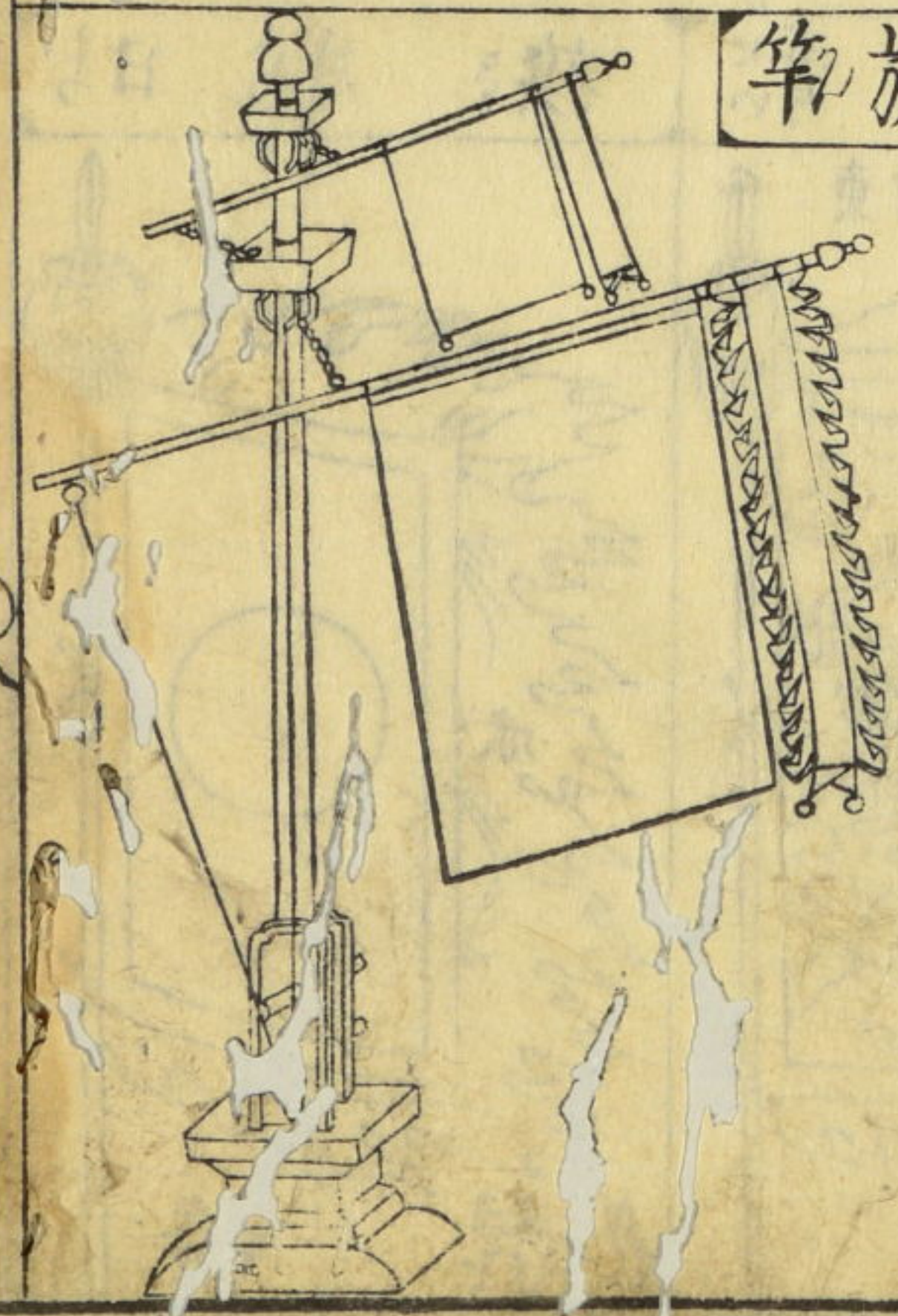


麾幡

二竿とて外花路と蓋



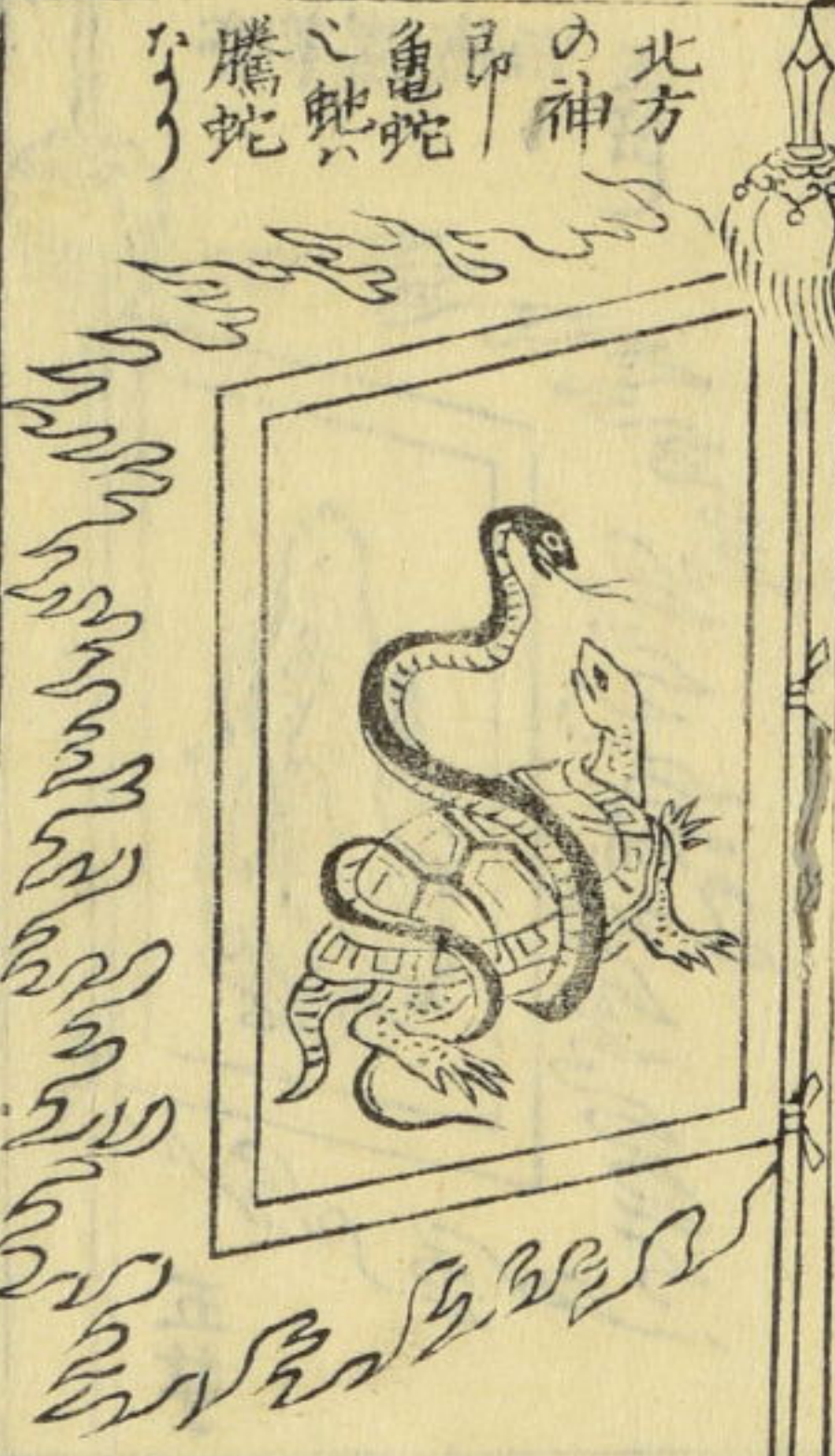
旗竿



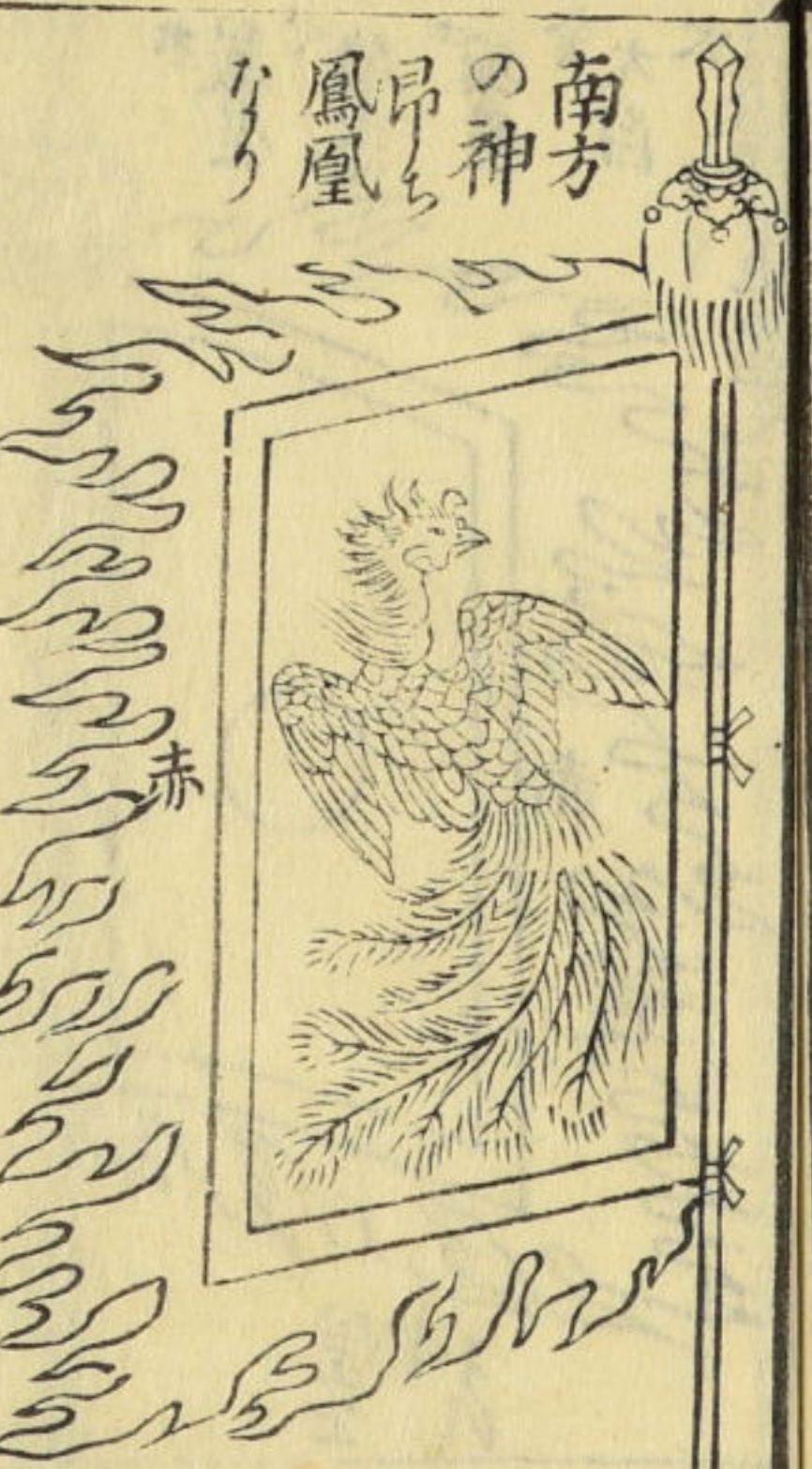
旗 雲



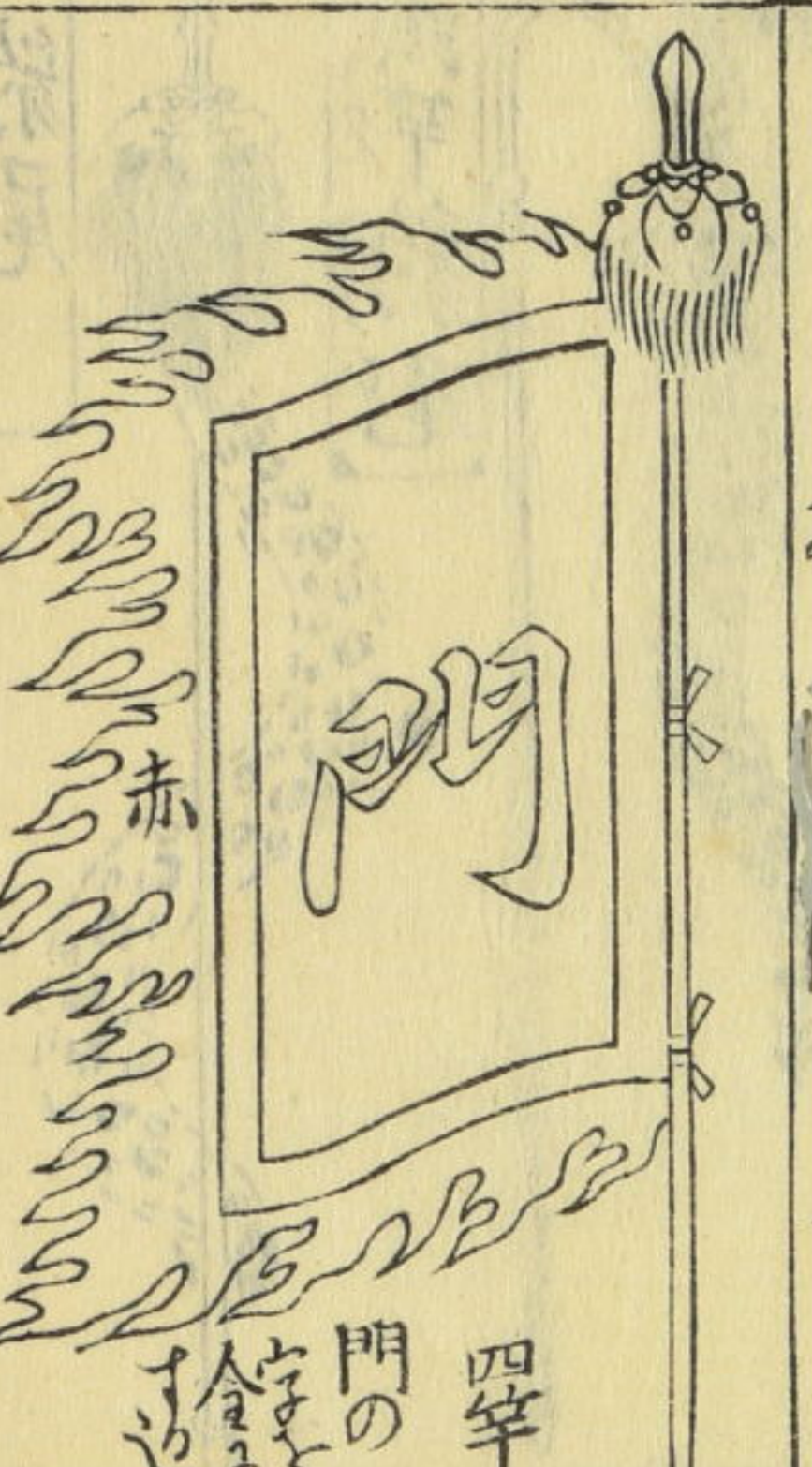
旗 武 玄



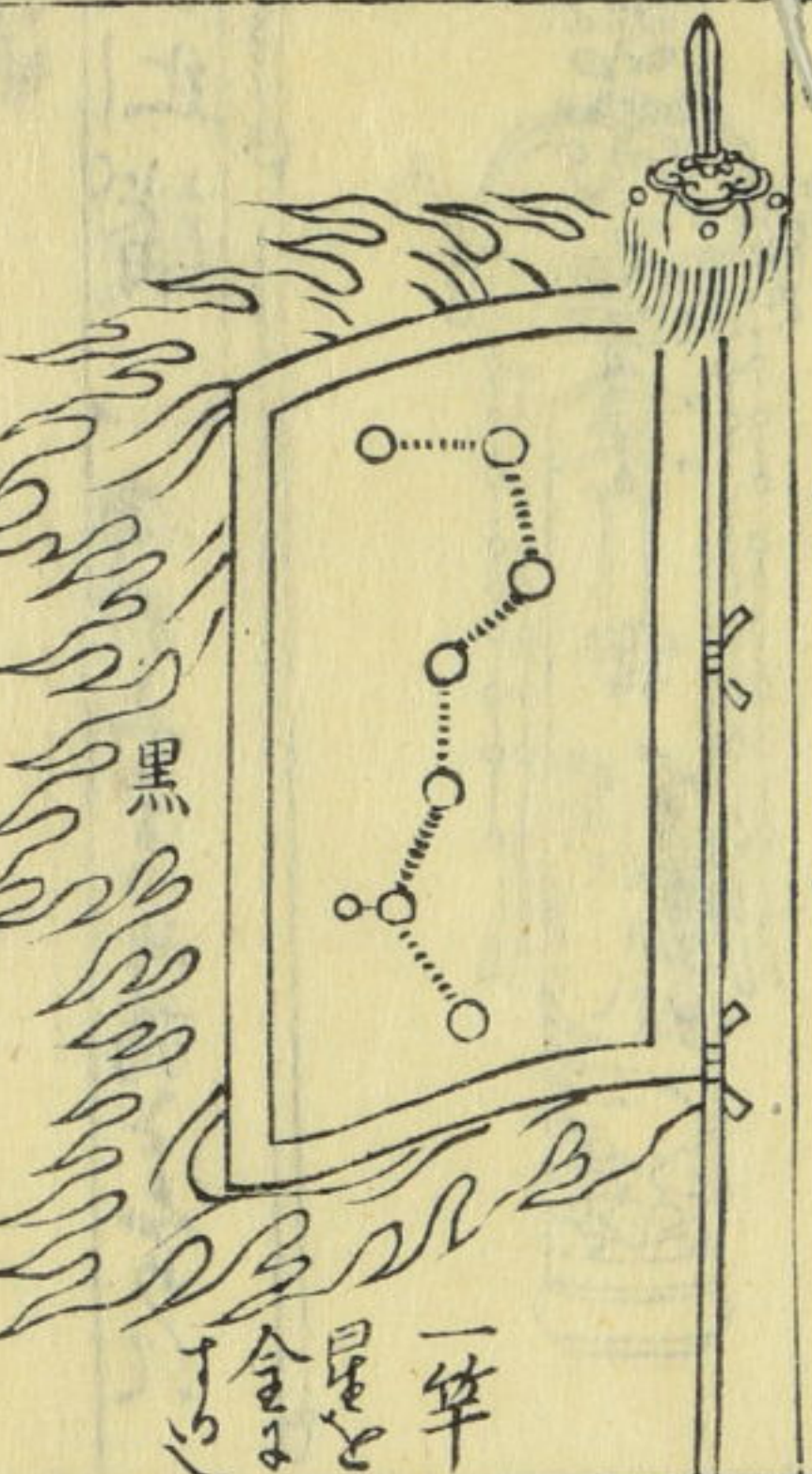
旗 雀 朱



旗 門



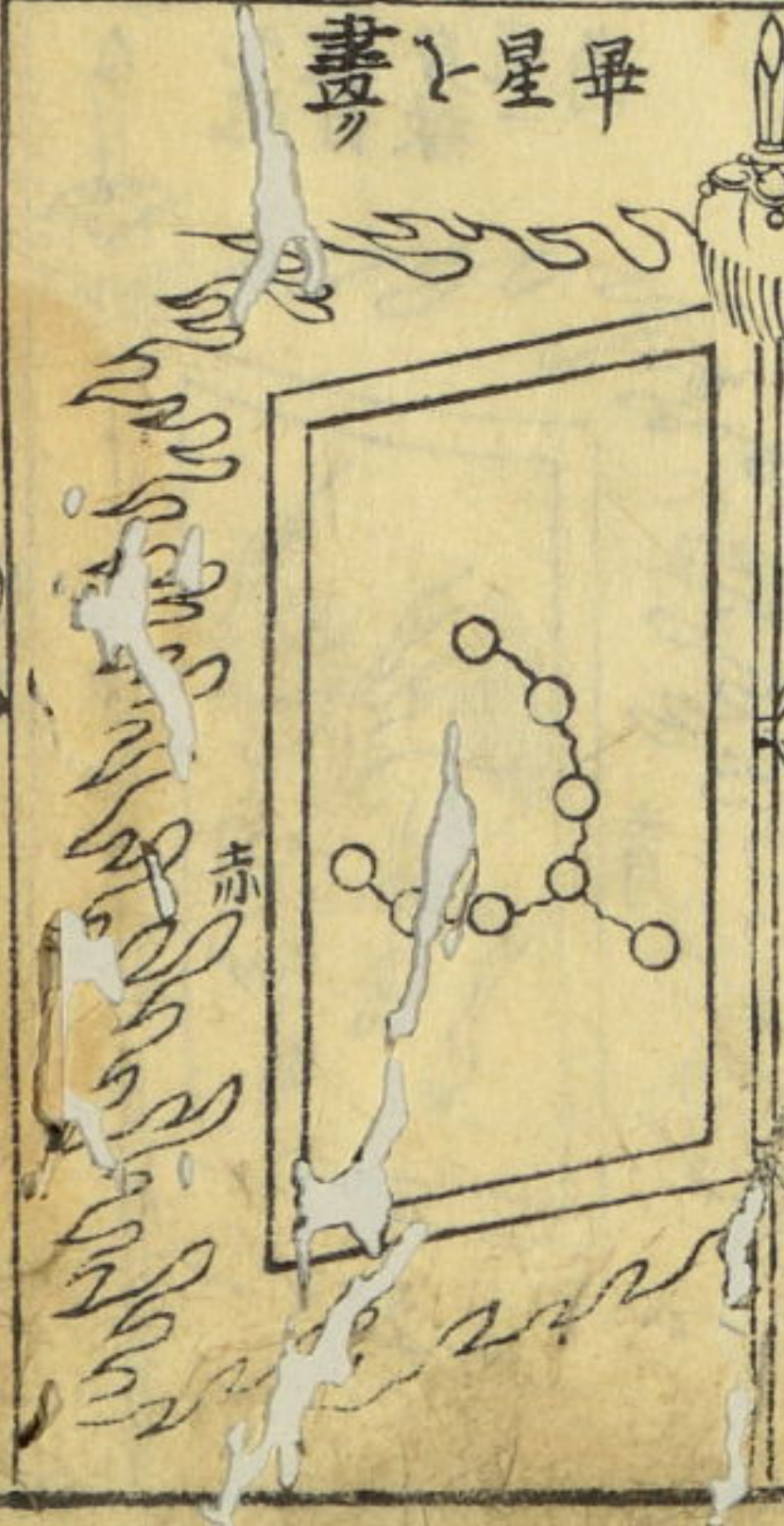
旗 斗 北



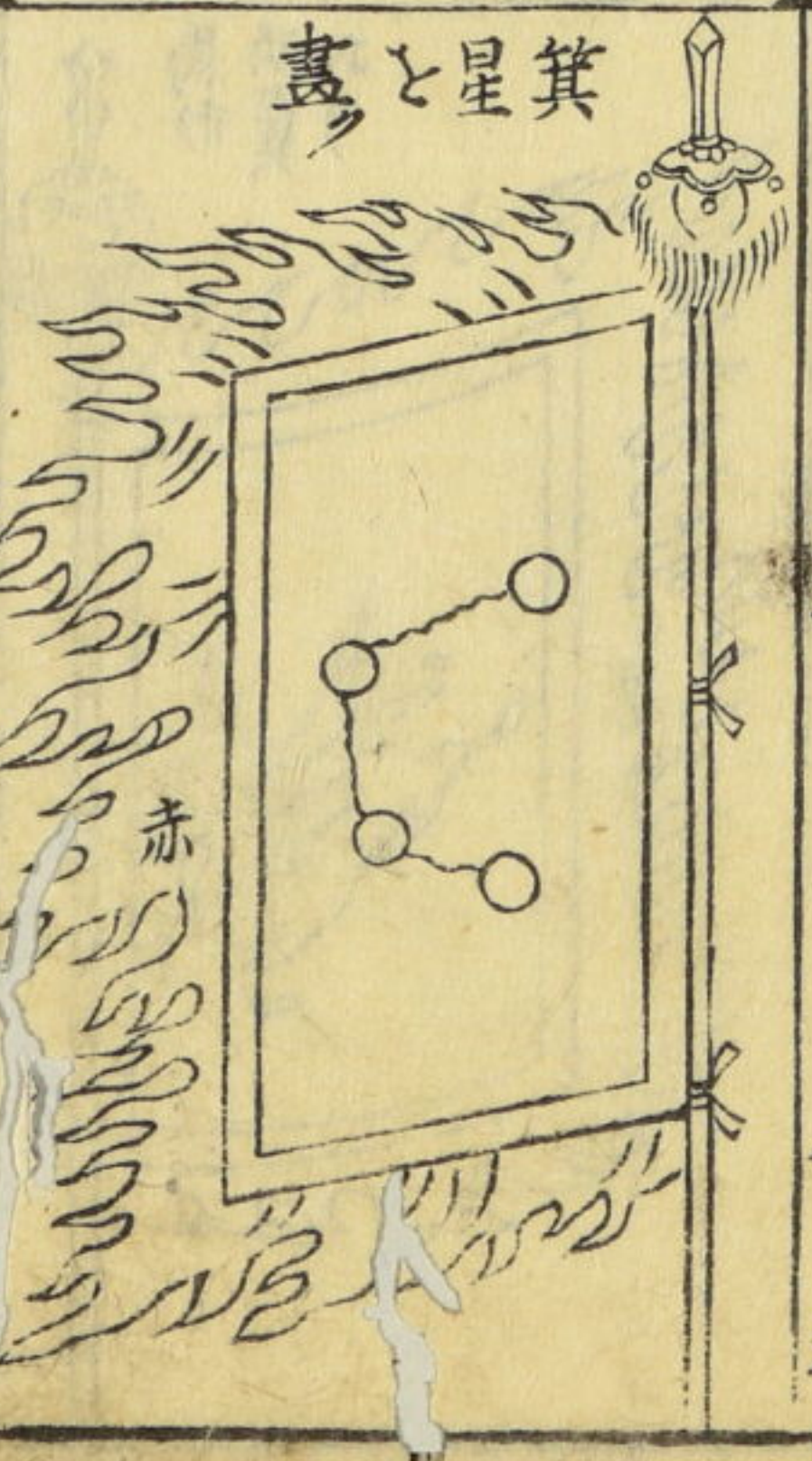
旗 龍



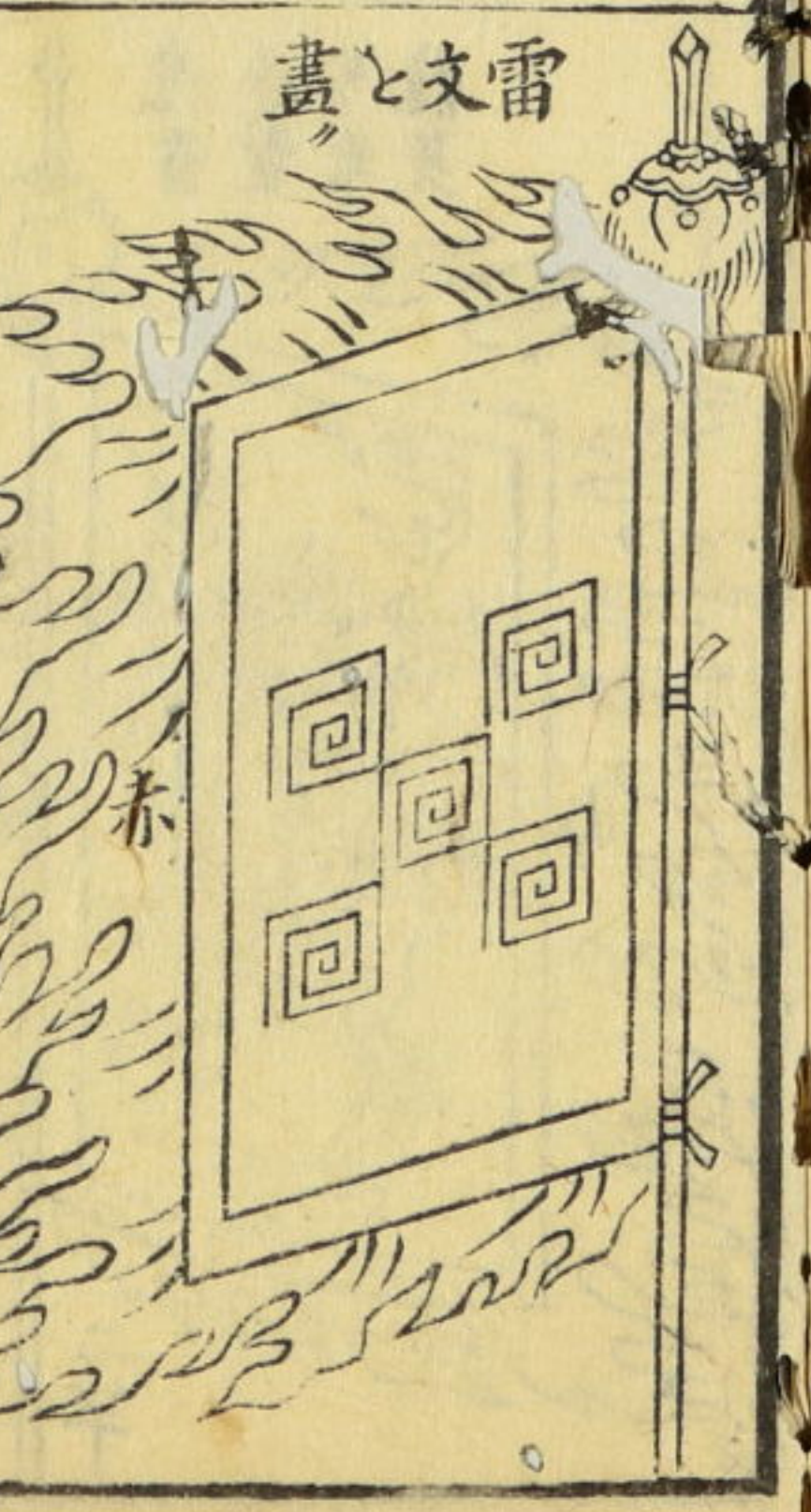
旗 雨



旗 風



旗 雷



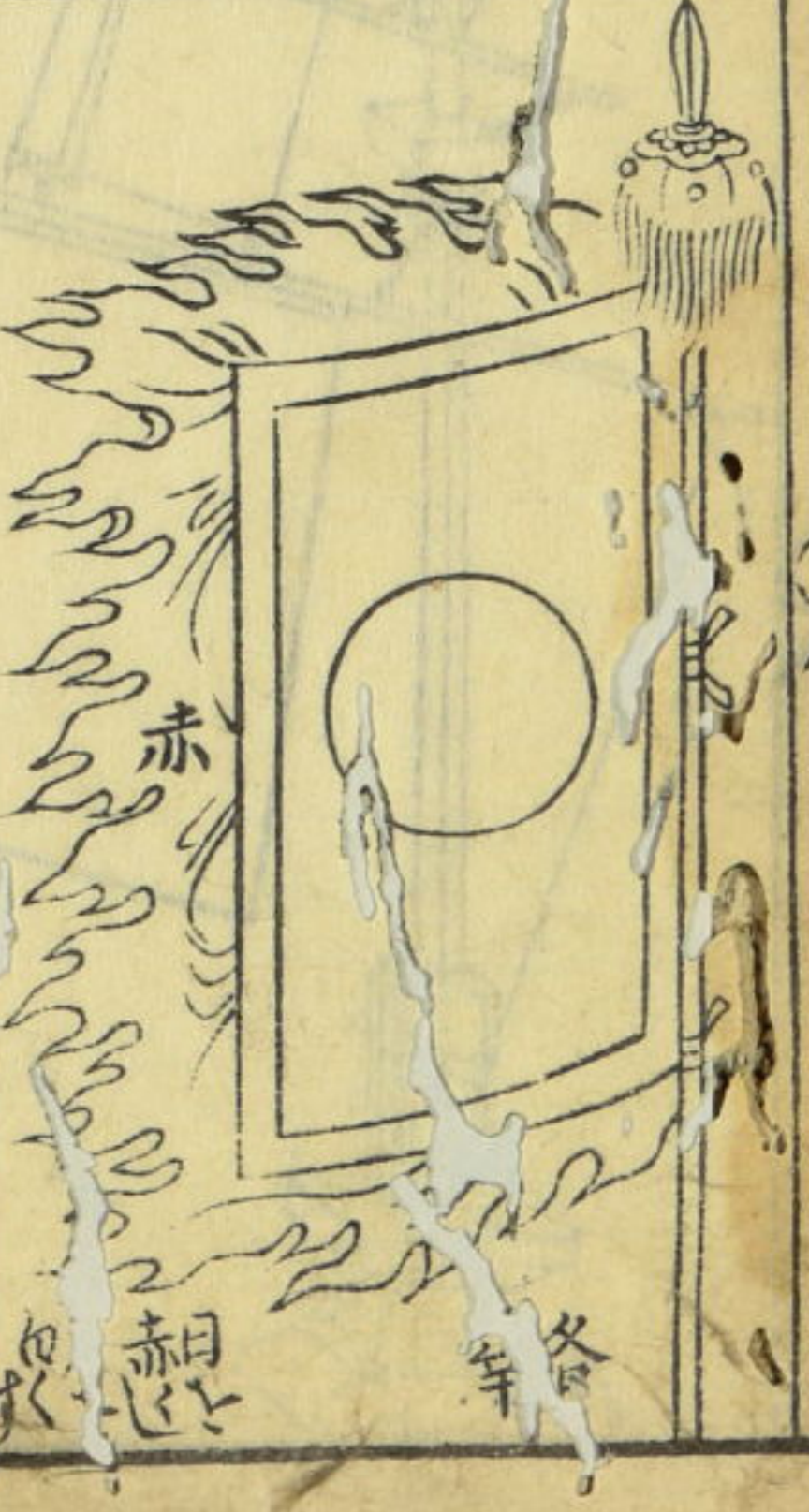
旗 虎 白



旗 龍 青



旗 月 日



北方の神
昂蛇
龜蛇
騰蛇

南方の神
昂鳳
鳳凰

門の翠
金字
過

斗の竿
金字
過

十二竿
金龍
竿繪
漆朱
漆ニメ
槍六
縷六
セリ

星畢
畫

星箕
畫

文雷
畫

西方の神

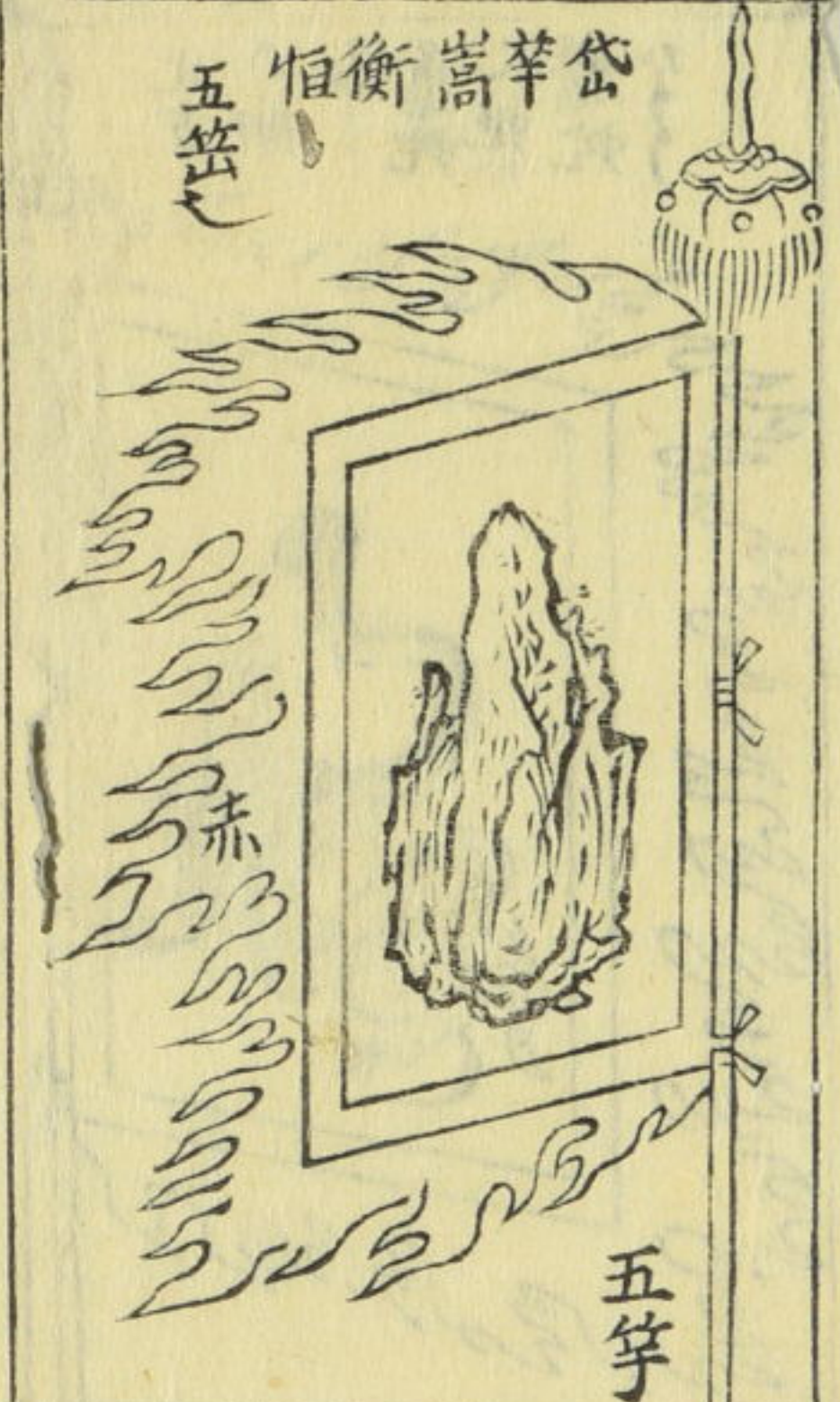
東方の神

赤
各

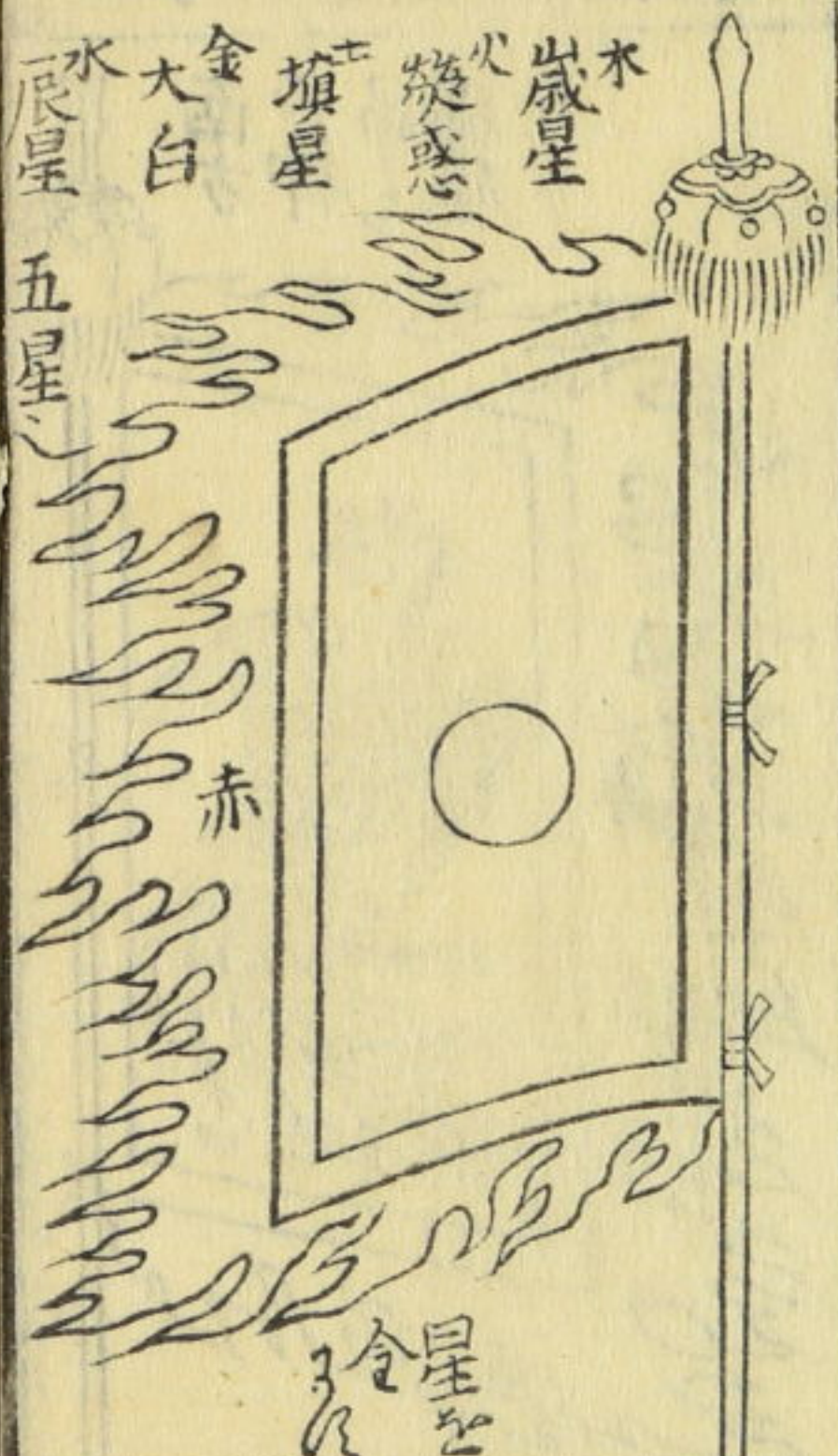
旗之瀆四



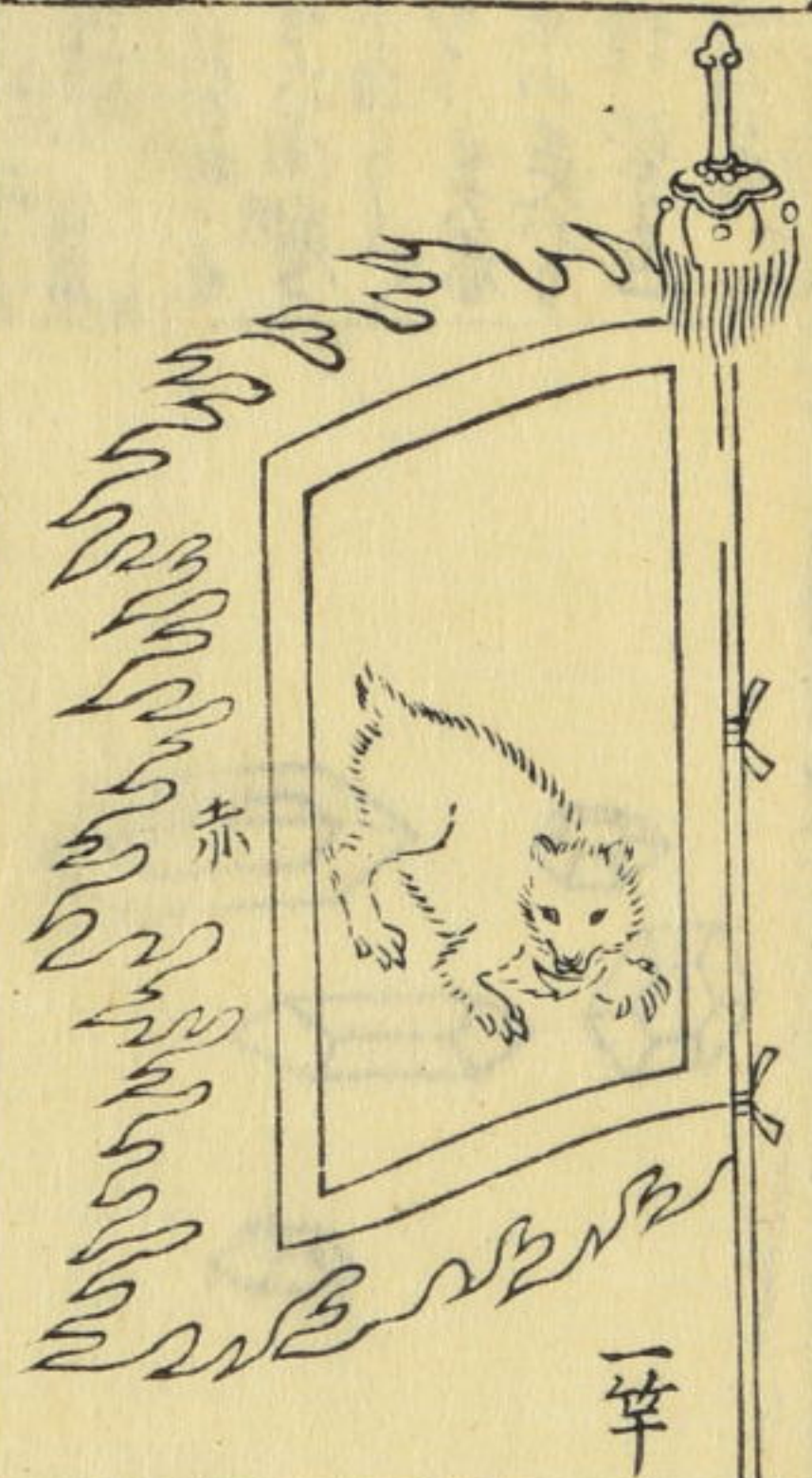
旗之嶽五



旗之星五



旗之熊



旗之羆



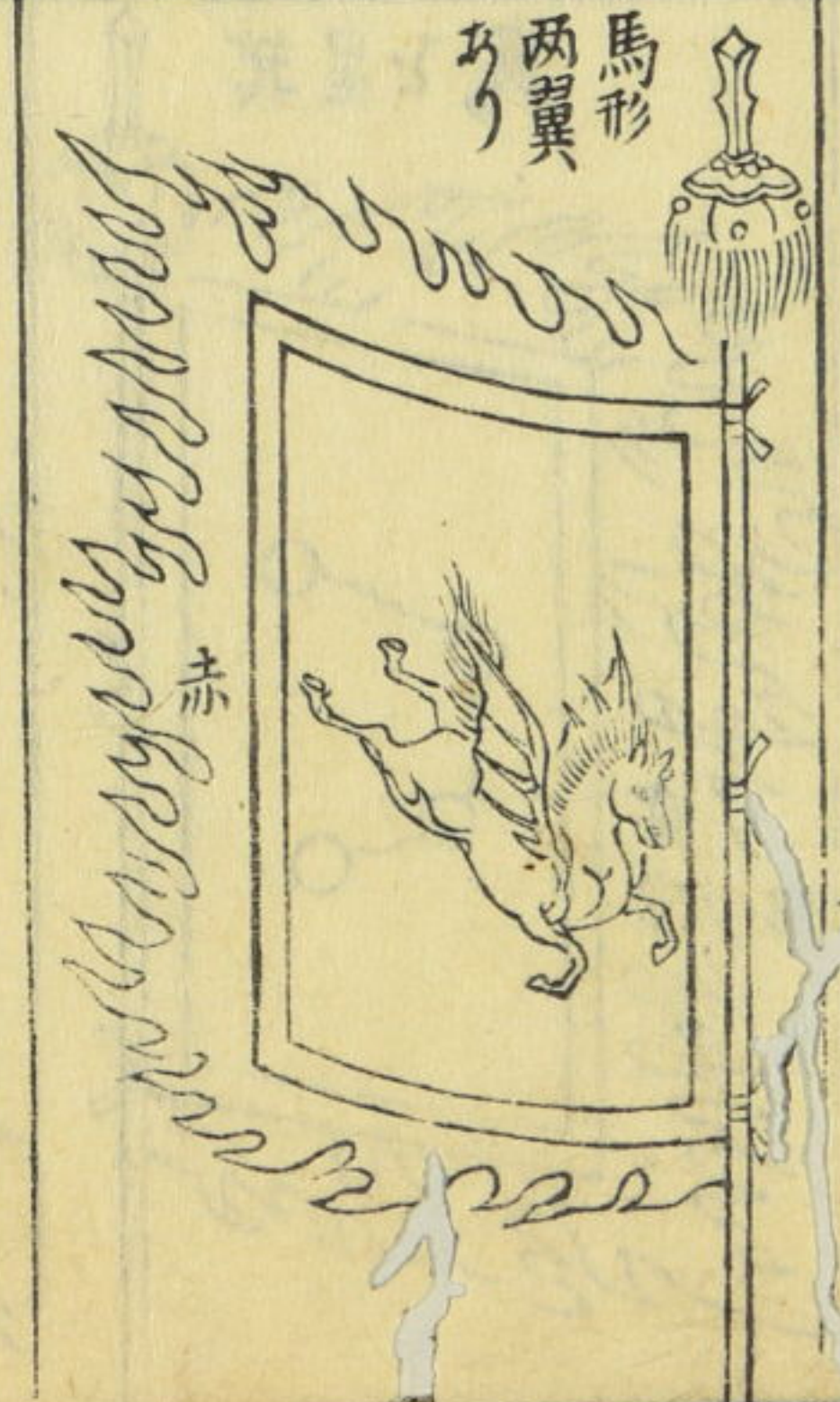
旗之鷩



旗之祿天



旗之馬天



旗之澤白



旗之麟



方相 禮頭 方相者防喪也自黃帝始俗號險道神周禮有方相氏大喪先置及墓入壙以戈擊四隅方良故葬家以方相先馳宋朝喪葬令有方相禮頭之別皆是其品所當用而世以四目為方相兩目為禮頭按漢世逐疫用禮頭亦方相之比也

相方

有官者用之



珍寶

密陀僧

波斯國出
形黃龍齒
2級てくく
是泥泥丸
乃威たり

菩薩石

峨眉山出
色紫白
月中はこれと
照ハ佛頂國
之のやくま
貨六校みて
乘のこく

白石英

大さ指の如く
三三寸六面削
くく白く
光あり黄赤
青黒の英や
又一種紫色
とふる英

無名石

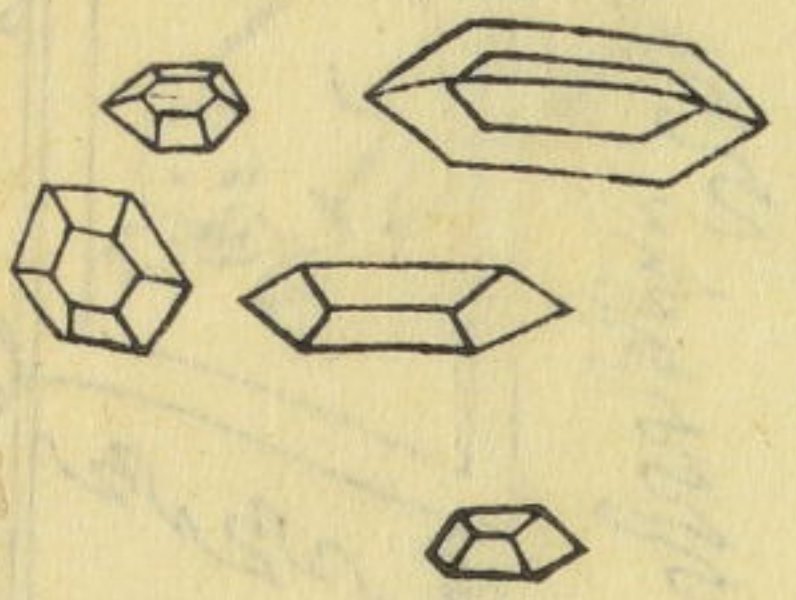
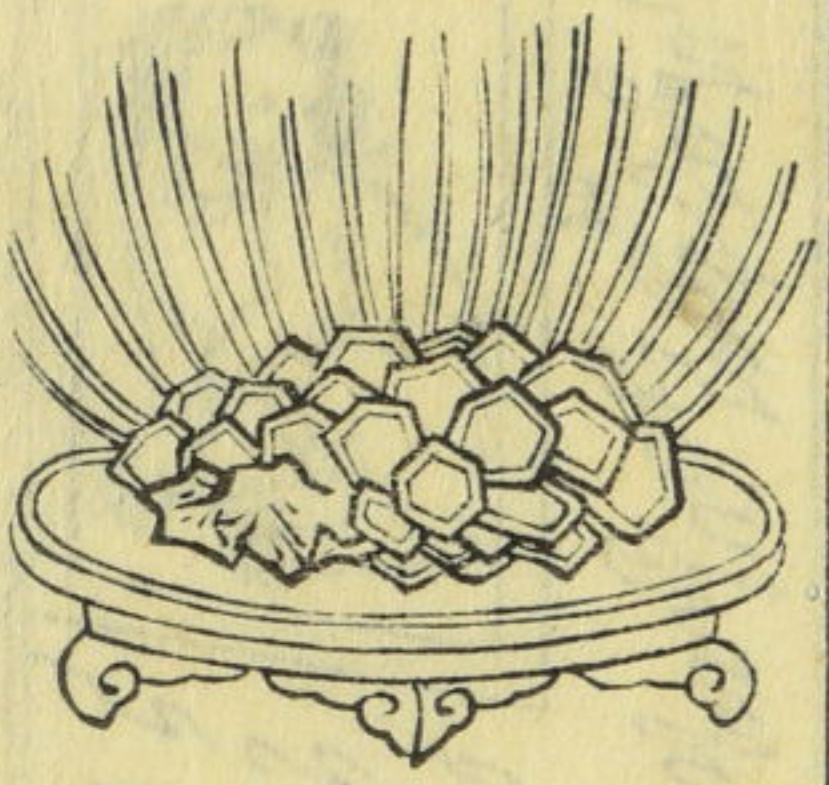
石とよま
状玉と炭
のくく黄
純と以鍊
○か邦はあ
とのハこは
あなり

井泉石

饒陽郡又
出川田の
地と土腐穿
これとけ
方と短回

蜜栗子

無名異の
狀花のや
刺あり上
全線
あれと
色は



石膏

軟硬の
理石は石膏
の一種理の
よく硬し硬
ものし
長石の類

方解石

長石の類
はては
と以箇を
か石よあり
ものし
石膏の類

不灰木

色白く
形楕木の如
して焼
又一種膠
出つて葉
草のし
て焼
一葉は二三
寸と焼

石鍾乳

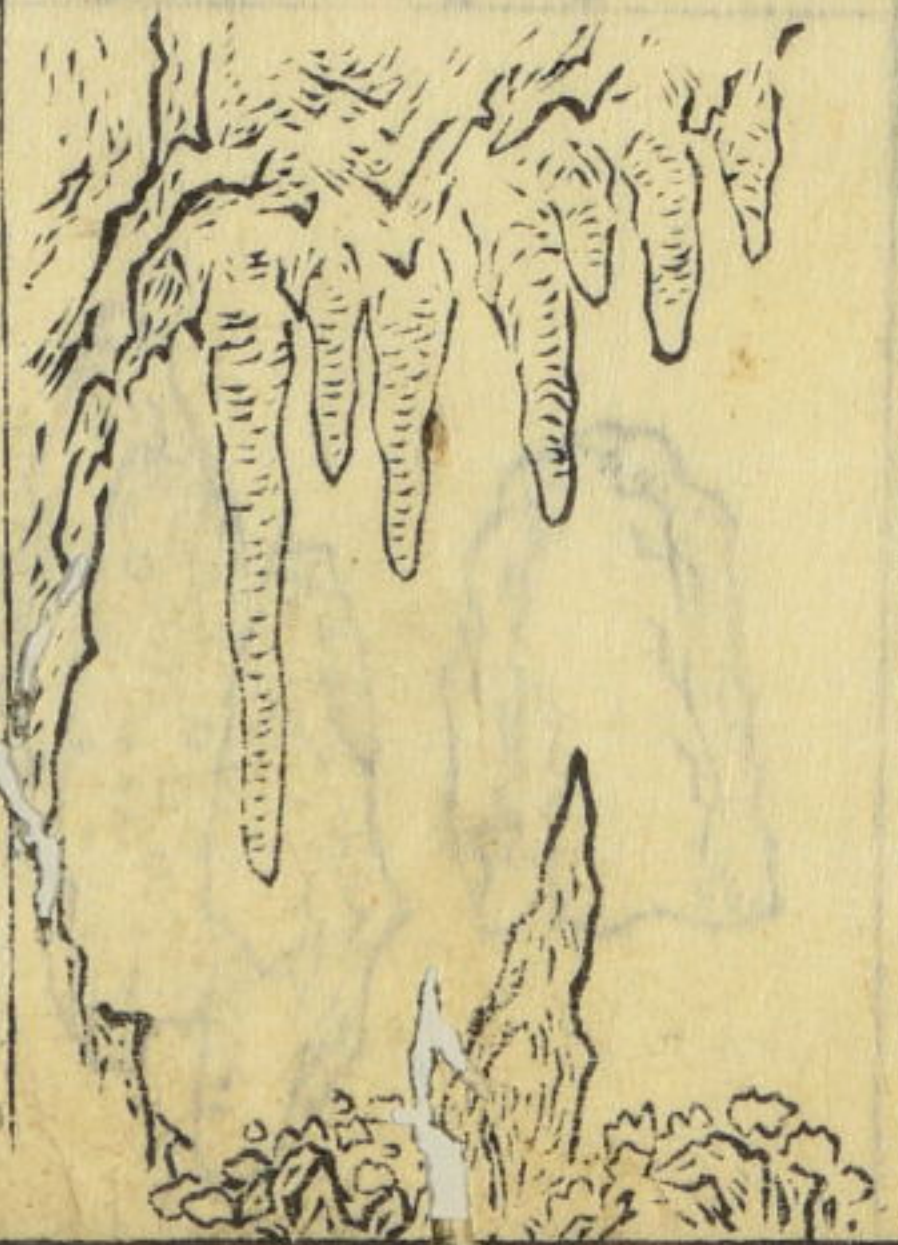
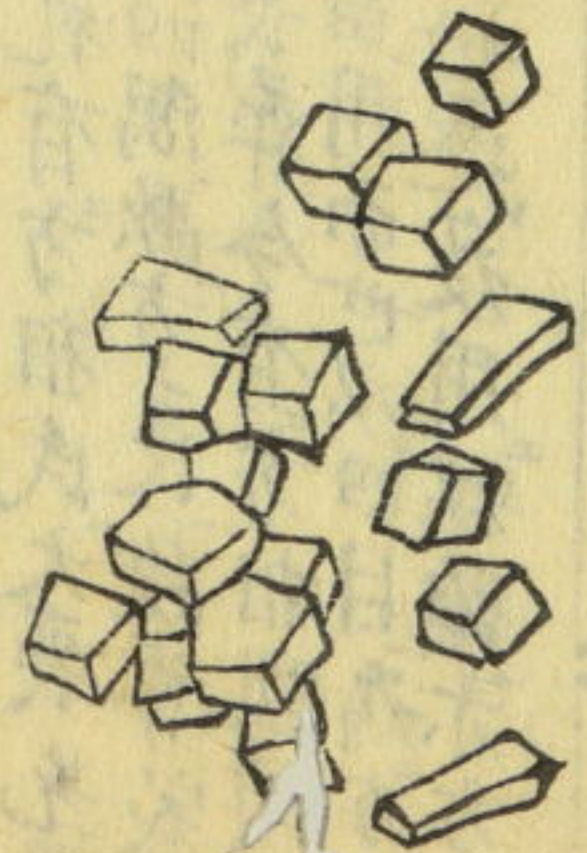
石の津液
あつて乳
とあり滴
石とけ
○か邦石
ま
こ

土殷藤

石の津液
あつて乳
とあり滴
石とけ
○か邦石
ま
こ

禹餘糧

形牛黄の
如く中
細糸あり
蒲黄の如
は
ま
あり



硝石

硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石
硝石の硝石



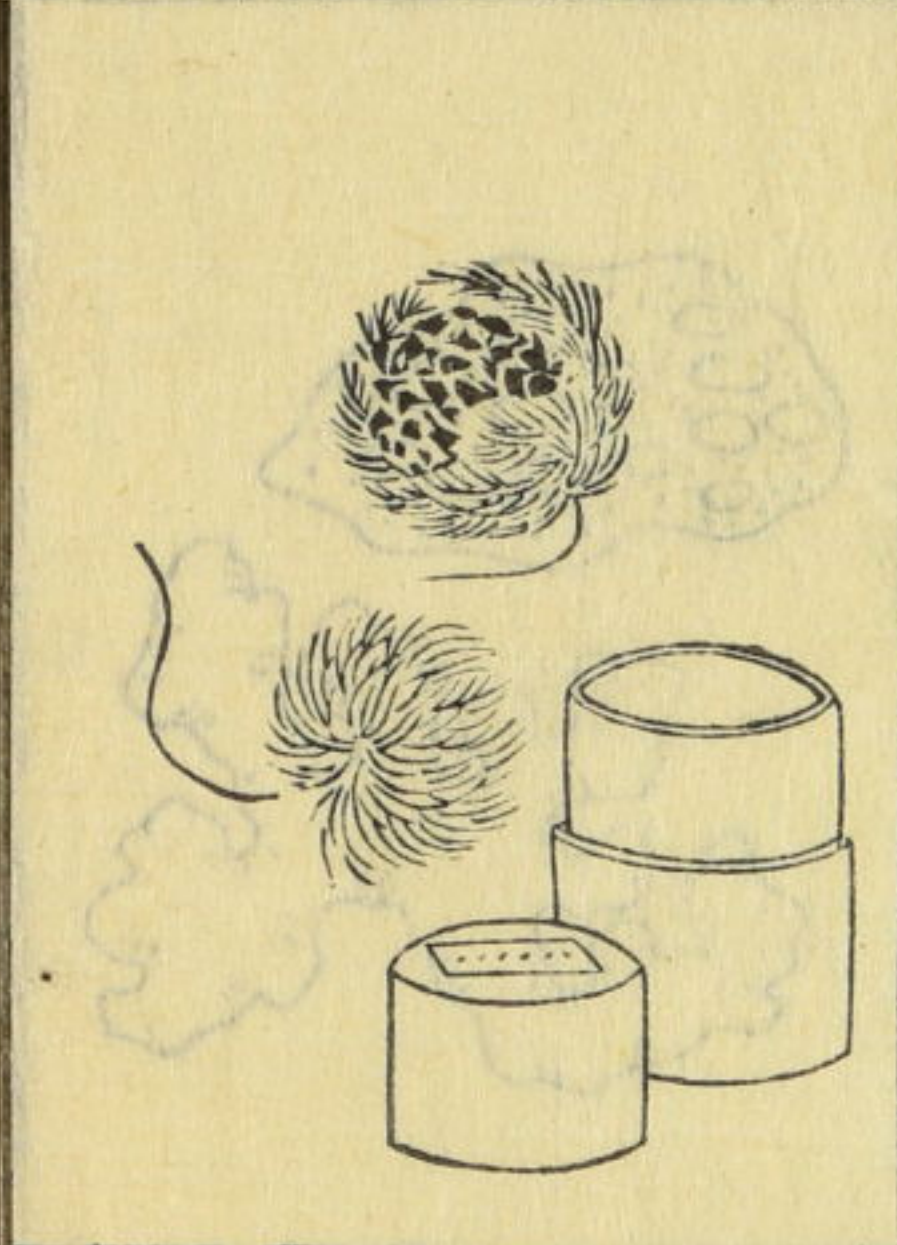
凝水石

凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石
凝水石の凝水石



當門子

當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子
當門子の當門子



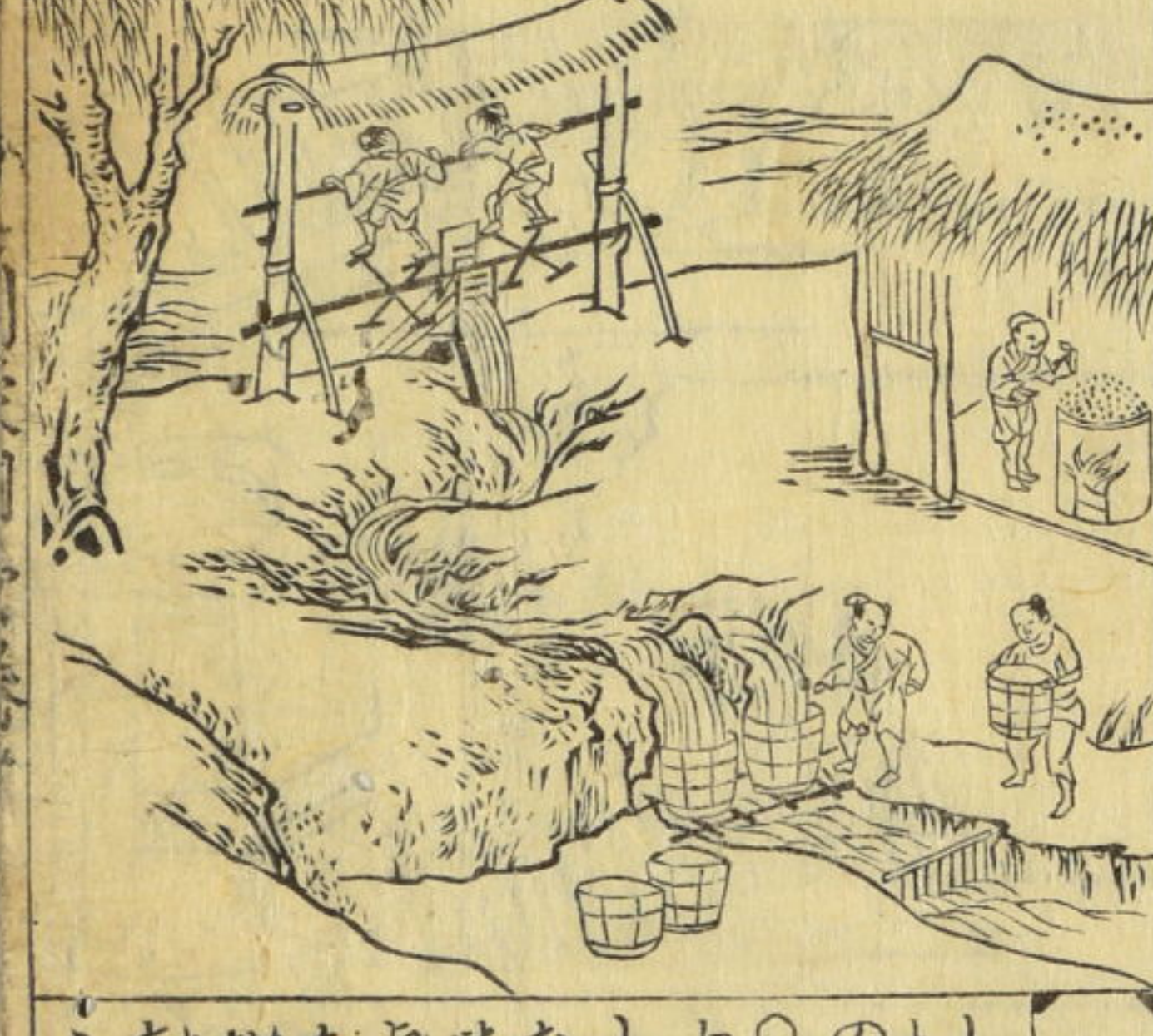
井塩

井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩
井塩の井塩



池塩

池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩
池塩の池塩



牛黄

牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄
牛黄の牛黄



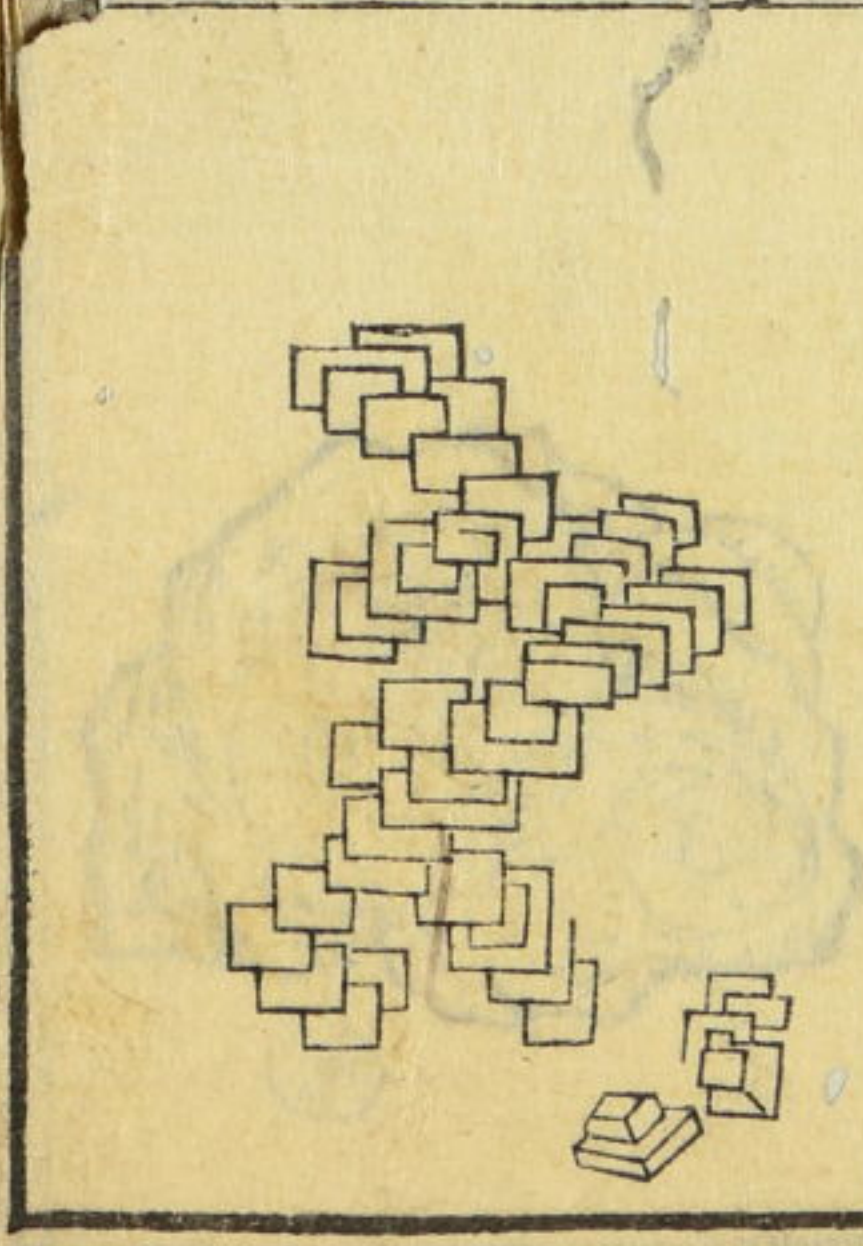
熊膽

熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽
熊膽の熊膽



戎鹽

戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽
戎鹽の戎鹽



石塩

石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩
石塩の石塩



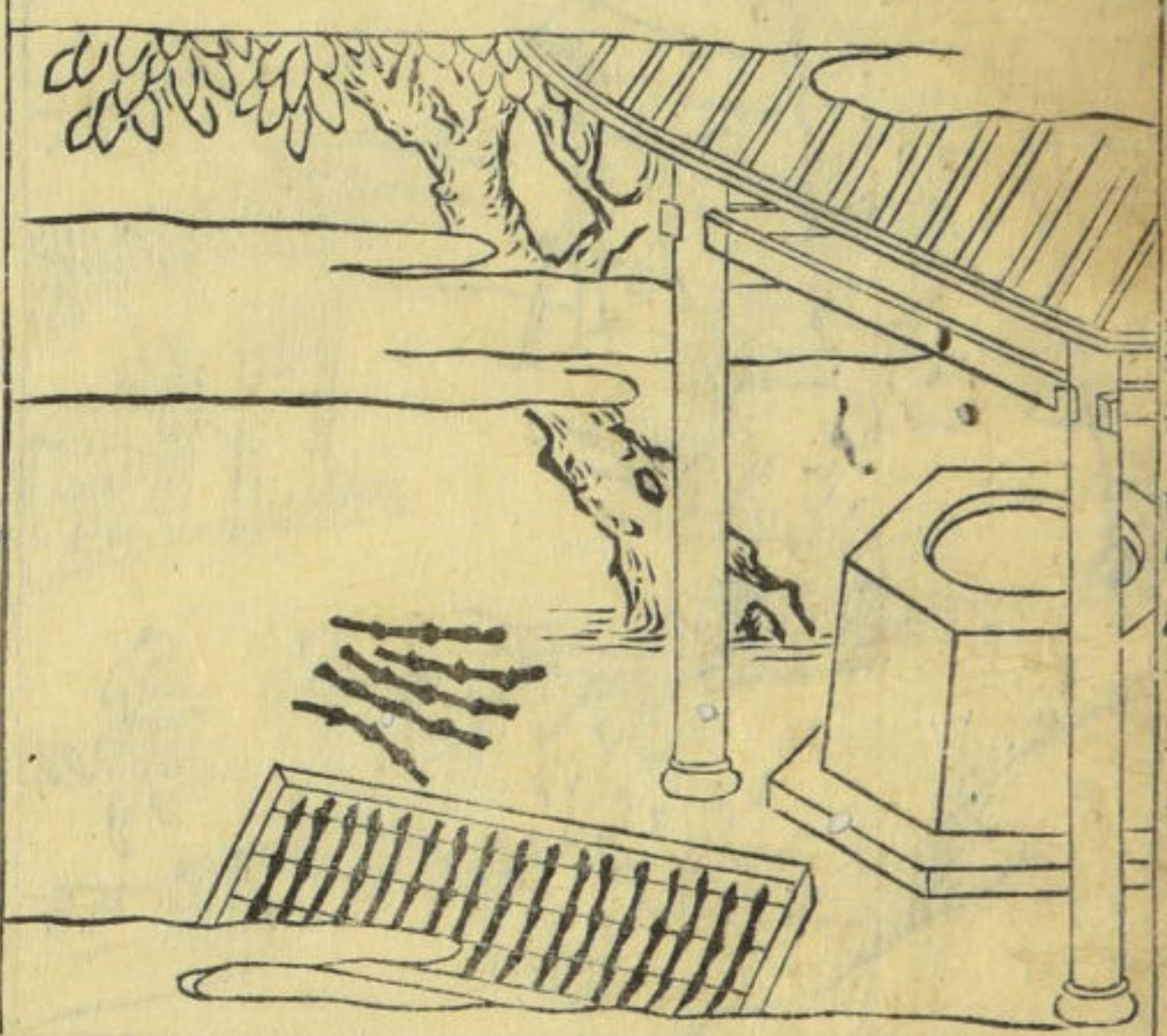
石炭

石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭
石炭の石炭



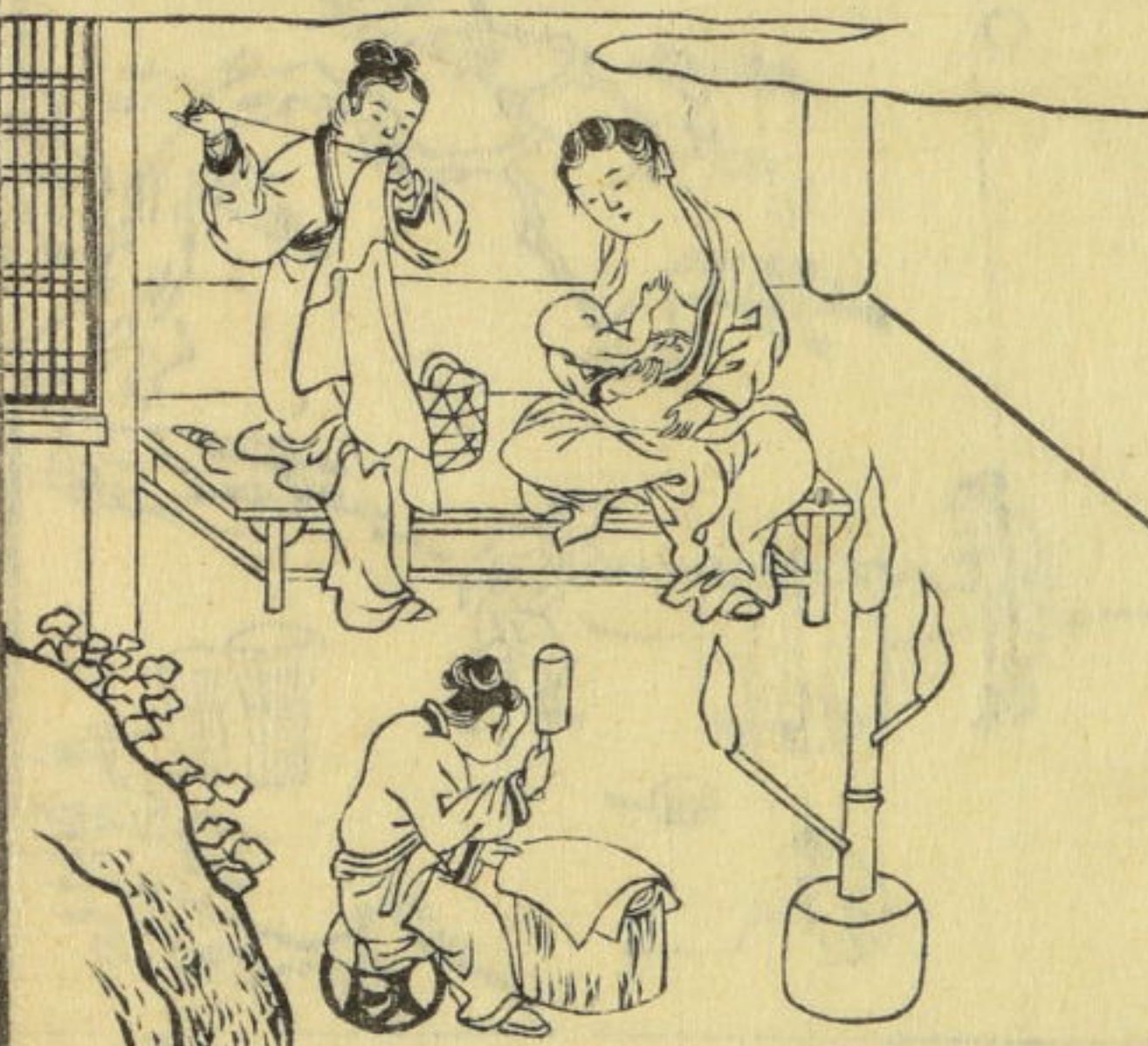
膠井

鄆州阿縣城北の井水と以て考すと真膠と稱す



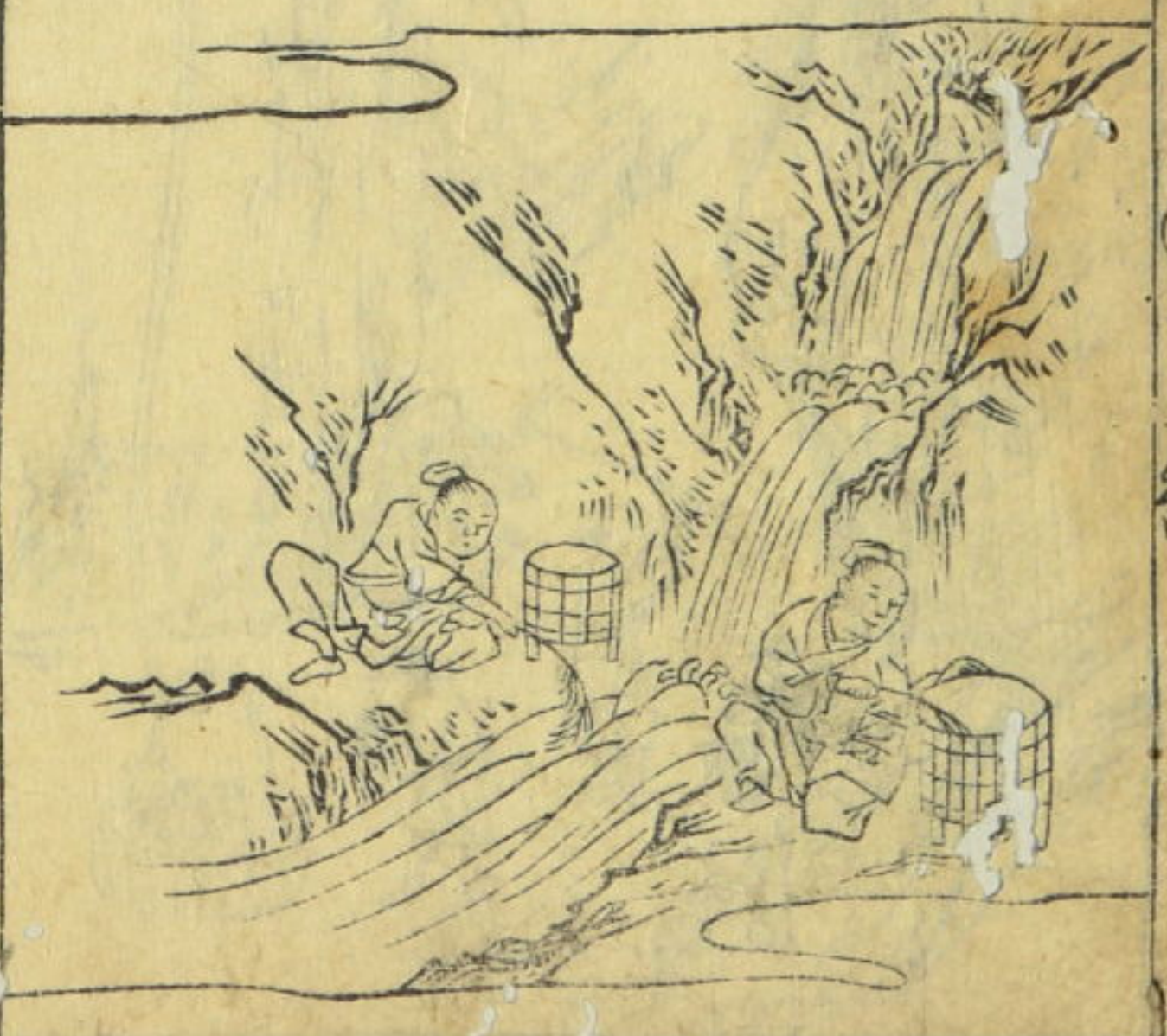
火井

蜀の岷山多し其のく和漢同○其物紙は多し一才一那法者村といふはわらとらよくは氏人の家の傍にあり竹とててま上一つは本は火とてつけ格ふれん下の火と別わらるゝの光をいへんと竹の切つてもやけと突は陰火こ下の泉の



油井

石徳津の油あり水とてまじりてとてし新より出の油は越後國に出る草水の健といふも泉より油泡乃やくまればとてはまきとて油を桶の底に穴を明て水と油とをラシタの云油とてなり



花紋石

南平縣子出る色あつて文あり山水禽魚の狀あり○其井は菊の石の形多し一或本紫のくちり或は青のくちり状さあつて皆は紋石の類なり



